

寒川町
子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査
結果報告書

令和 6 年 3 月
寒川町

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査対象者等	2
3 調査の実施方法と配付・回収状況	2
4 報告書を読むにあたって	3
第2章 調査対象者のプロフィール	5
1 居住地域	6
2 対象児童の年齢	6
3 子どもの人数	7
4 調査票の回答者	7
5 回答者の配偶関係	8
6 主な保育者	8
7 家族構成	9
8 世帯年収	9
9 居住形態	10
第3章 子育てを取り巻く環境	11
1 子育ての環境について	12
2 保護者の就労状況について	16
第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望	25
1 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	26
2 地域子育て支援事業の現状と今後の利用希望	52
3 土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	56
4 病気の際の対応について	61
5 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況について	70
第5章 育児休業制度の利用状況	87
1 育児休業制度の利用状況	88
2 その他	100
資料編 調査に使用したニーズ調査票	103

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本町では「子ども・子育て支援法」に基づき、全ての子どもや子育て家庭が健やかに成長することができる社会の実現を目指して、令和2年3月に「第2期寒川町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでいますが、本計画が令和2年度から6年度までの5か年計画であることから、令和7年度を始期とする第3期計画の策定を予定しています。

第3期計画策定にあたり、必要な情報を得るため、子育て家庭ニーズの動向分析等を行い、町の現状と今後の子ども・子育て支援における課題を整理することを目的としたアンケート形式によるニーズ調査を実施しました。

2 調査対象者等

調査対象者	就学前児童を持つ保護者
調査件数	1,804件
調査内容	家族状況、就労状況、日常的な幼稚園・保育施設等の利用、育児休業の取得状況等

3 調査の実施方法と配付・回収状況

(1) 調査時期と調査方法

調査時期: 令和5年11月～12月

調査方法: 郵送により調査票を配付、郵送・Web・回収箱により回収

(2) 調査票の配付・回収状況

調査票による配付・回収状況は以下のとおりです。

調査対象地区	配付数	回収数	回収率
町全域	1,804	704件	39.0%

4 報告書を読むにあたって

(1)年齢の定義

就学前児童の年齢定義はニーズ調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

年齢区分(学年齢)	該当する生年月
0歳児	2022年4月以降
1歳児	2021年4月～2022年3月
2歳児	2020年4月～2021年3月
3歳児	2019年4月～2020年3月
4歳児	2018年4月～2019年3月
5歳児	2017年4月～2018年3月

(注)調査期間【2023度】における年齢定義

(2)電算処理の注意点

調査結果の%表記については、小数第2位を四捨五入した値であるため、単数回答でも合計が必ずしも100%になるとは限りません。

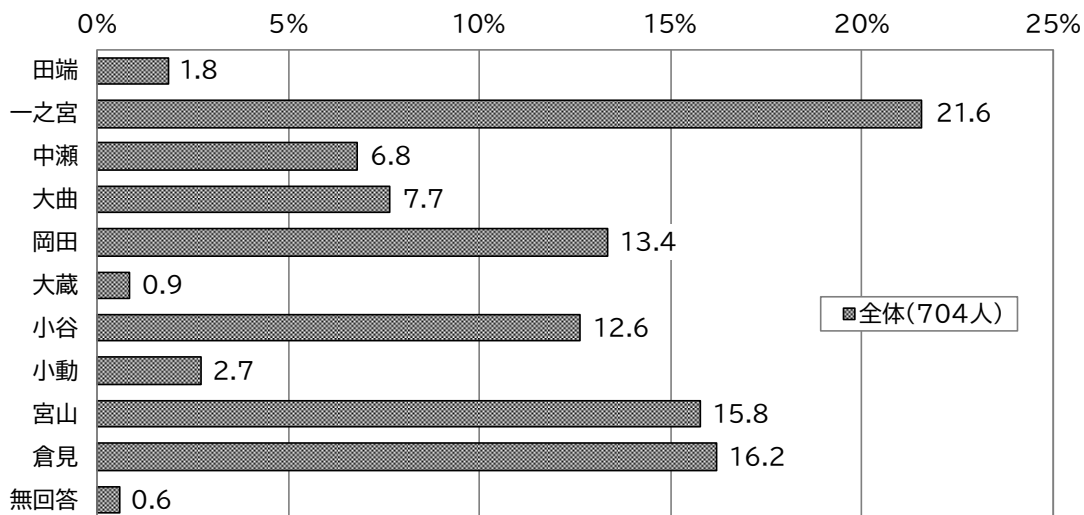
(3)その他

- ・複数回答の質問は、回答数を100%として各選択肢の%を算出しているため、合計は100%を超えています。
- ・図表中では、スペースの都合で選択肢名などを一部省略している場合があります。

第2章 調査対象者のプロフィール

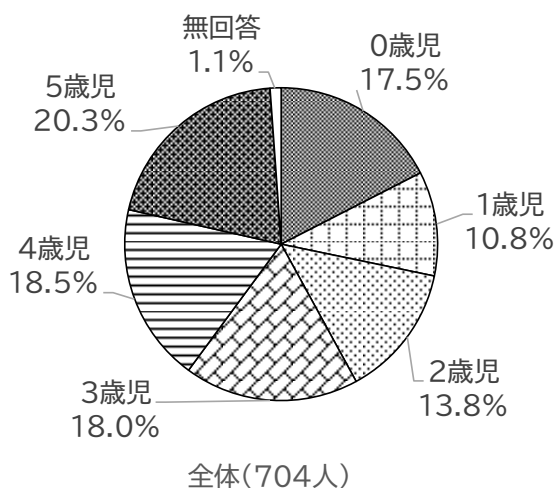
1 居住地区（問1）

回答者が居住している地区は、「一之宮」が 21.6%で最も高く、次いで「倉見」16.2%、「宮山」15.8%の順となっています。



2 対象児童の年齢（問2）

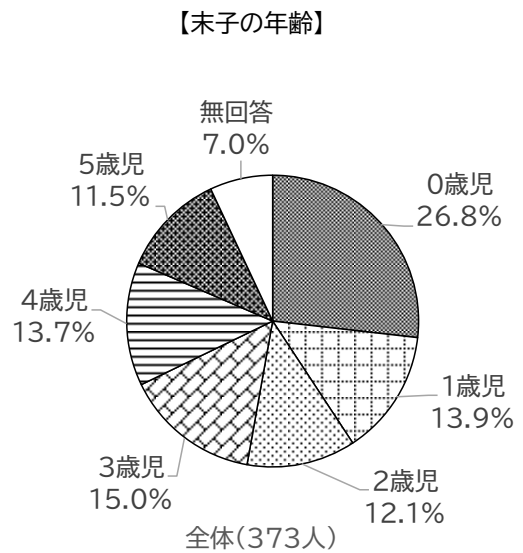
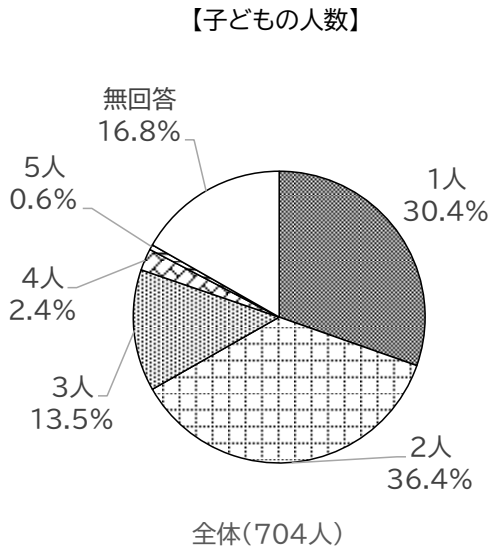
対象児童の年齢をみると、「5歳児」が 20.3%で最も多く、次いで「4歳児」(18.5%)、「3歳児」(18.0%)となっています。



3 子どもの人数（問3）

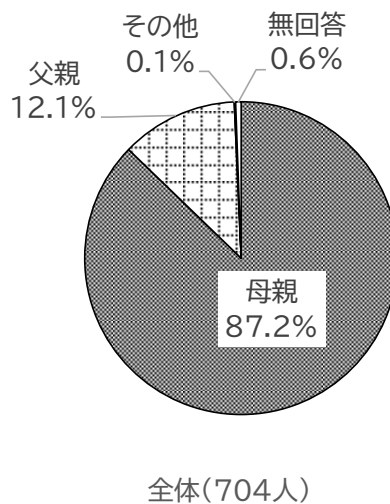
子どもの人数をみると、「2人」とした方が36.4%と最も多く、次いで「1人」(30.4%)、「3人」(13.5%)となっています。

末子の年齢は「0歳児」が26.8%となっています。



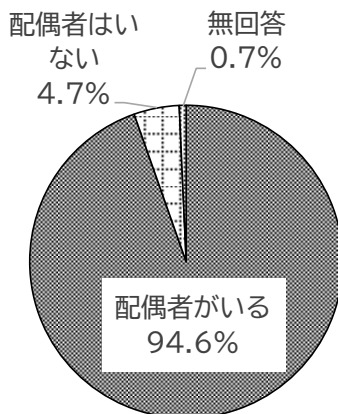
4 調査票の回答者（問4）

調査票の回答者をみると、「母親」が87.2%と8割以上になっており、「父親」は12.1%となっています。



5 回答者の配偶関係（問5）

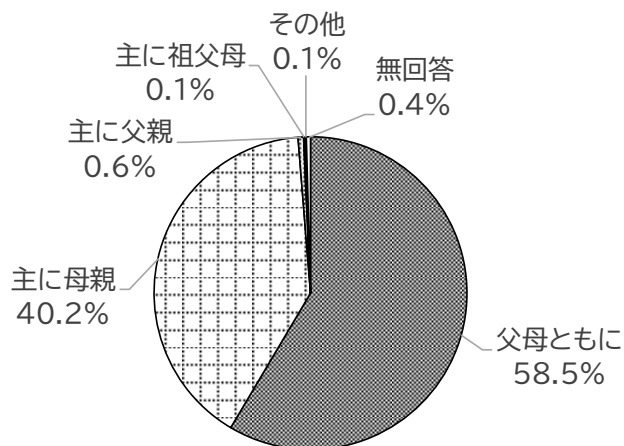
調査票の回答者の配偶関係をみると、「配偶者がいる」とした人が94.6%と9割以上を占めています。



全体(704人)

6 主な保育者（問6）

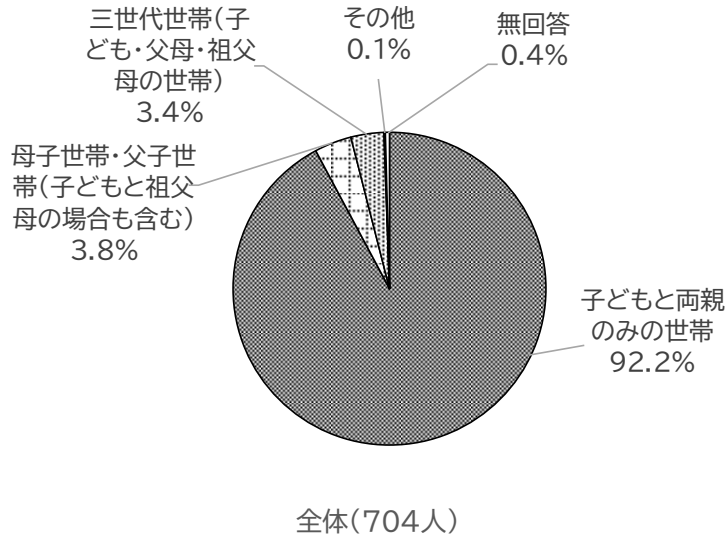
子育てを主に行っている人は、「父母ともに」(58.5%)が6割近くになっています。「主に母親」は40.2%となっています。



全体(704人)

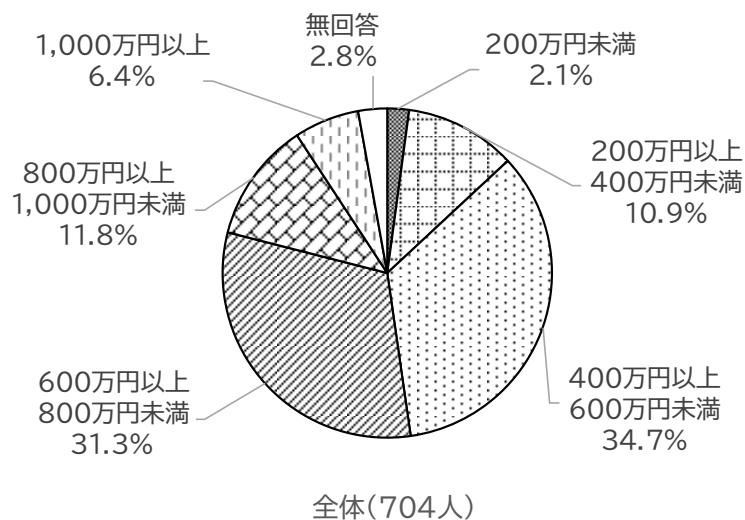
7 家族構成（問7）

家族構成は、「子どもと両親のみの世帯」が 92.2%、「母子世帯・父子世帯(子どもと祖父母の場合も含む)」が 3.8%、「三世代世帯(子ども・父母・祖父母の世帯)」が 3.4%となっています。



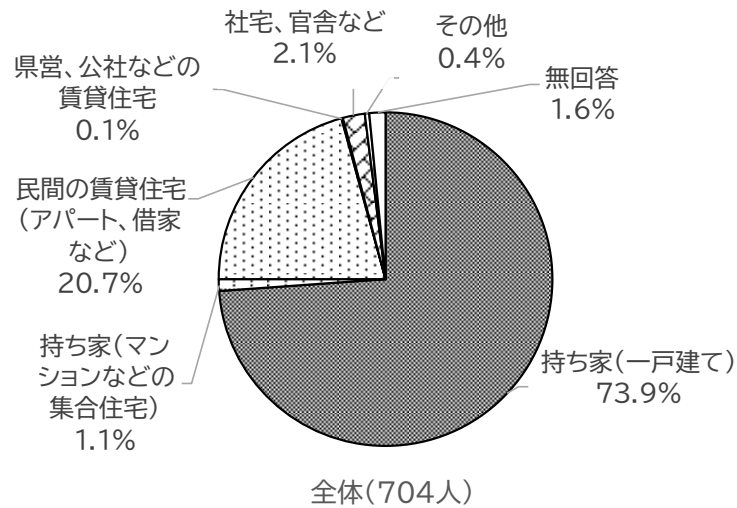
8 世帯年収（問8）

世帯の年収は、「400万円以上600万円未満」が 34.7%で最も多く、次いで「600万円以上800万円未満」が 31.3%、「800万円以上1,000万円未満」が 11.8%となっています。



9 居住形態（問9）

居住形態は、「持ち家（一戸建て）」が 73.9%と7割以上になっています。次いで「民間の賃貸住宅（アパート、借家など）」が 20.7%となっています。

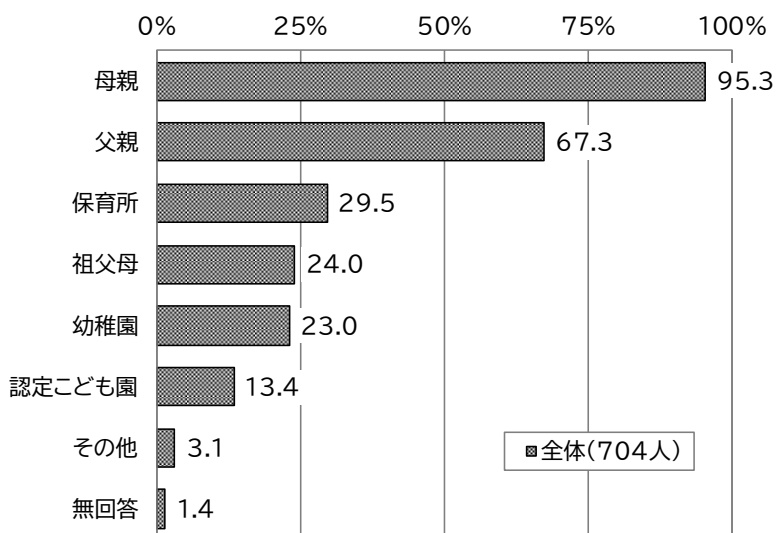


第3章 子育てを取り巻く環境

1 子育ての環境について

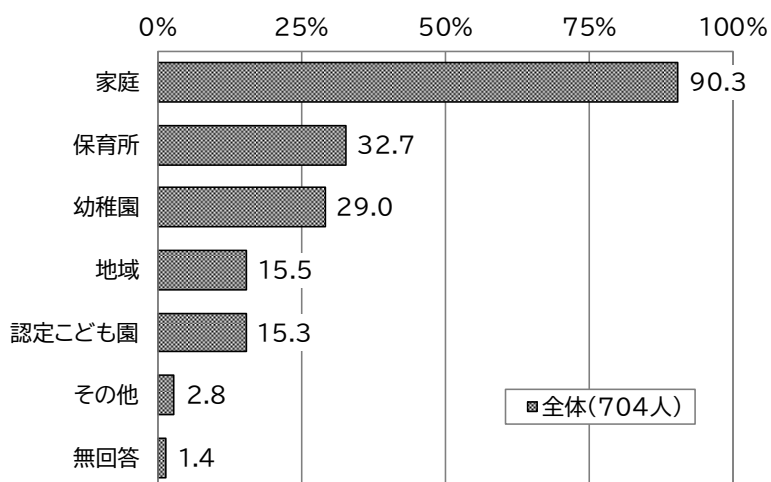
(1) 日常的に子育てに関わっている人（問10）

日常的に子育てに関わっているのは、「母親」が95.3%と9割以上になっています。次いで「父親」が67.3%、「保育所」が29.5%となっています。



(2) 子育てに影響を与える環境（問11）

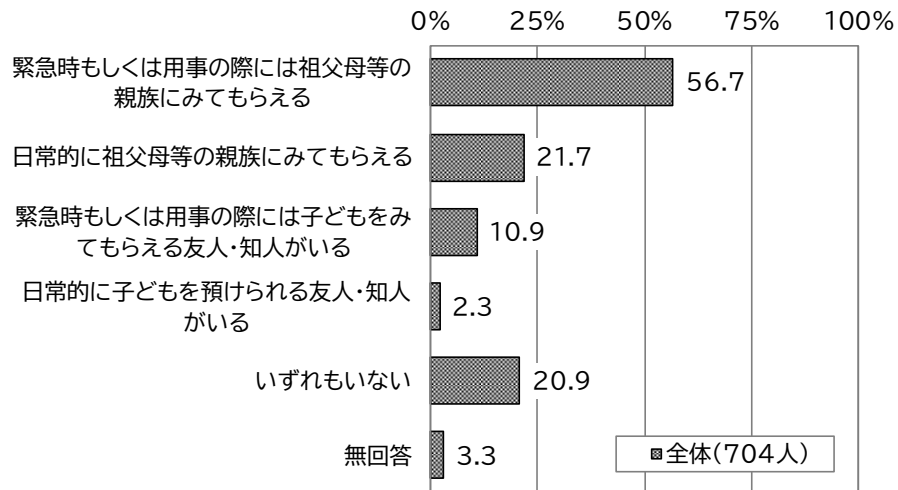
子育てに影響を与えると思う環境は、「家庭」が90.3%と多数を占めており、次いで「保育所」が32.7%、「幼稚園」が29.0%となっています。



(3) 子どもをみてもらえる親族・知人（問12）

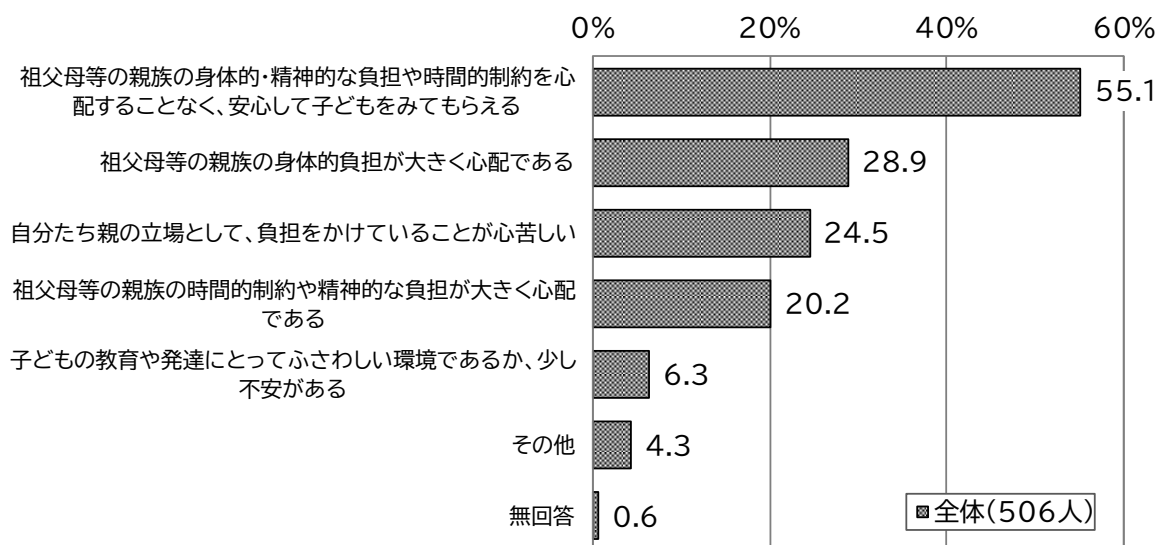
子どもをみてもらえる親族・知人の有無をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」との回答が56.7%と半数を超えています。次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が21.7%で続いています。

「いずれもない」との回答は20.9%となっています。



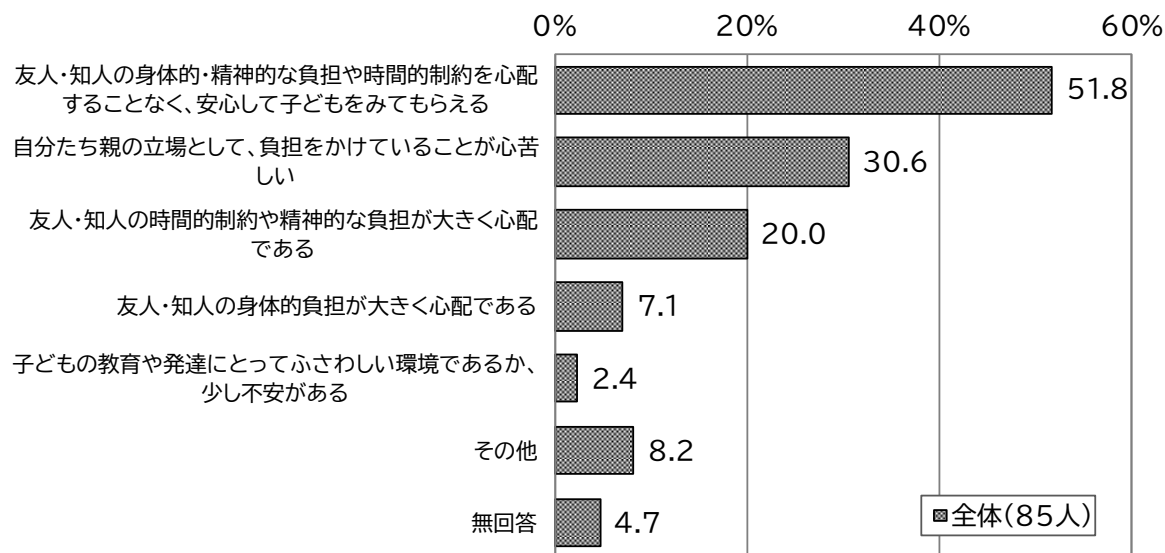
(4) 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え（問12-1）

祖父母等の親族に子どもをみてもらうことについては、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が55.1%で最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が28.9%で続いています。



(5) 友人・知人に子どもを預かってもらうことへの考え (問12-2)

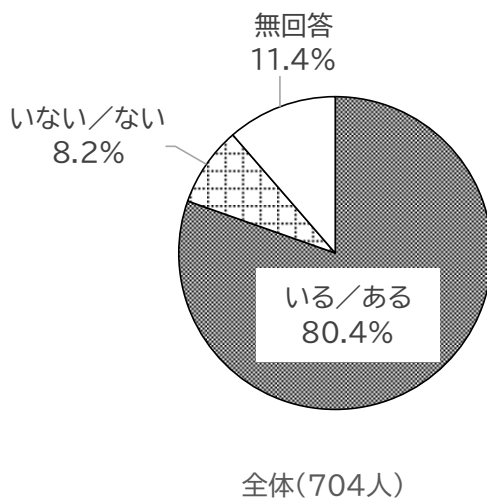
友人・知人に子どもを預かってもらうことについては、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 51.8%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 30.6%で続いています。



(6) 子育てを気軽に相談できる人・場所の有無 (問13)

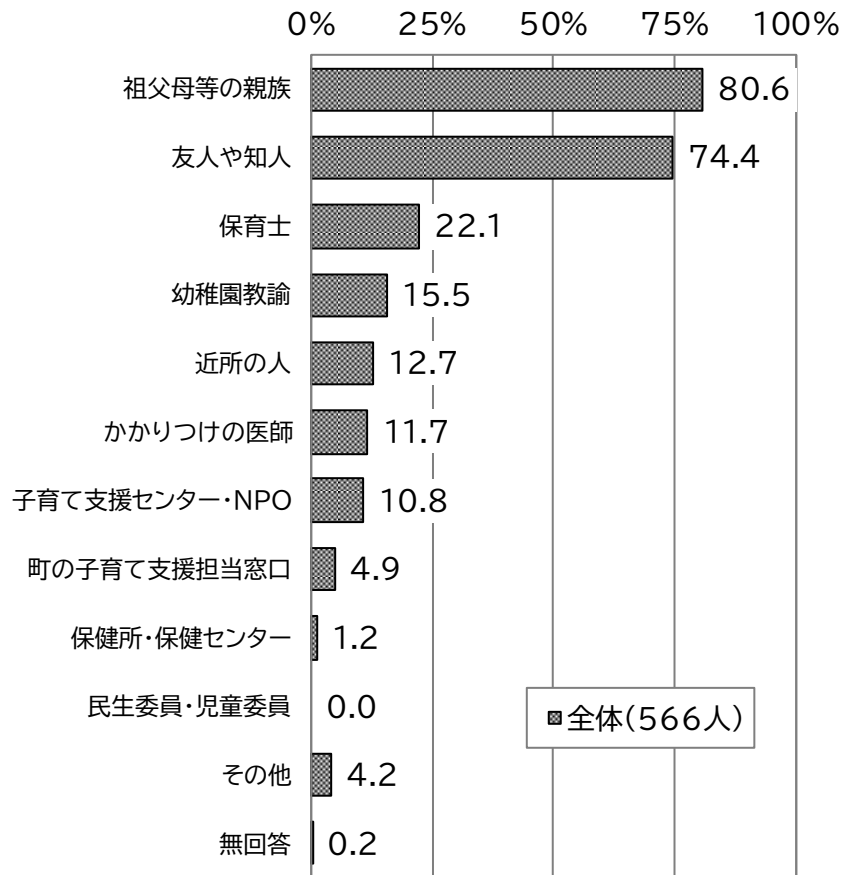
子育てについて気軽に相談できる人・場所については、「いる／ある」とした人が 80.4%と8割を占めています。

「いない／ない」は 8.2%となっています。



(7) 子育てを気軽に相談できる人・場所 (問13-1)

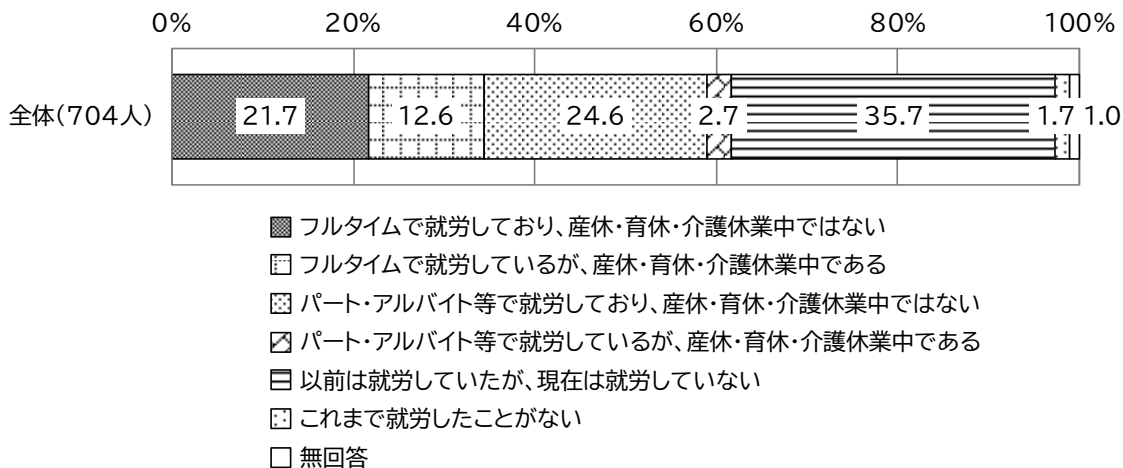
子育てについて気軽に相談できる具体的な人・場所については、「祖父母等の親族」が80.6%で最も多く、次いで「友人や知人」が74.4%、「保育士」が22.1%となっています。



2 保護者の就労状況について

(1) 母親の現在の就労状況（問15（1））

母親の現在の就労状況をみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(35.7%)が最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(24.6%)、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(21.7%)となっています。



※「フルタイム」は1週5日程度・1日8時間程度の就労、「パート・アルバイト等」は「フルタイム」以外の就労。

【年齢別】

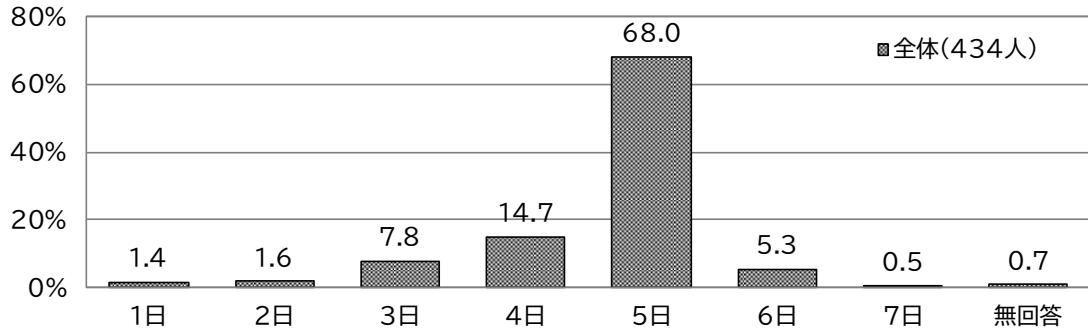
子どもの年齢別にみると、“2歳児以下”では「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」がやや多くなっています。

	合計	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	704人	21.7%	12.6%	24.6%	2.7%	35.7%	1.7%	1.0%
2歳児以下	296人	13.9%	24.0%	18.2%	3.7%	37.5%	1.7%	1.0%
3歳児以上	400人	27.8%	4.5%	29.0%	2.0%	34.3%	1.8%	0.8%

■現在就労している母親の就労日数(問 15(1)-1)、就労時間と出勤・帰宅時間(問 15(1)-2)

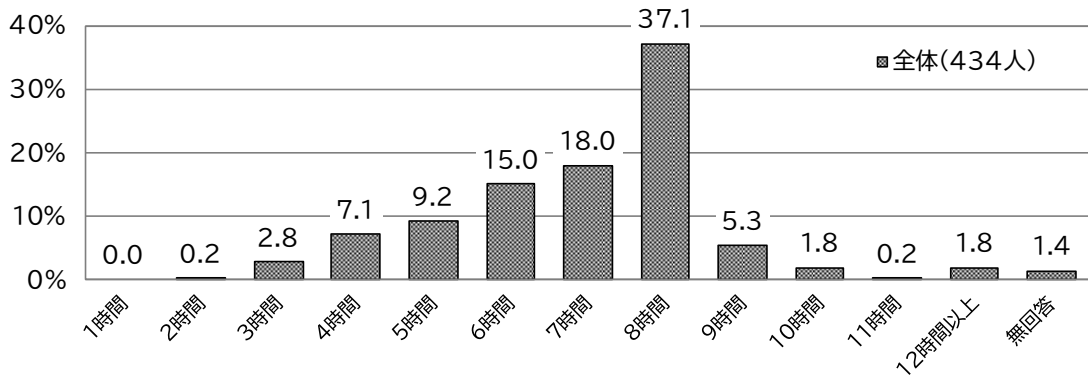
【就労日数】

母親の1週当たりの就労日数をみると、「5日」が68.0%と多数を占めています。



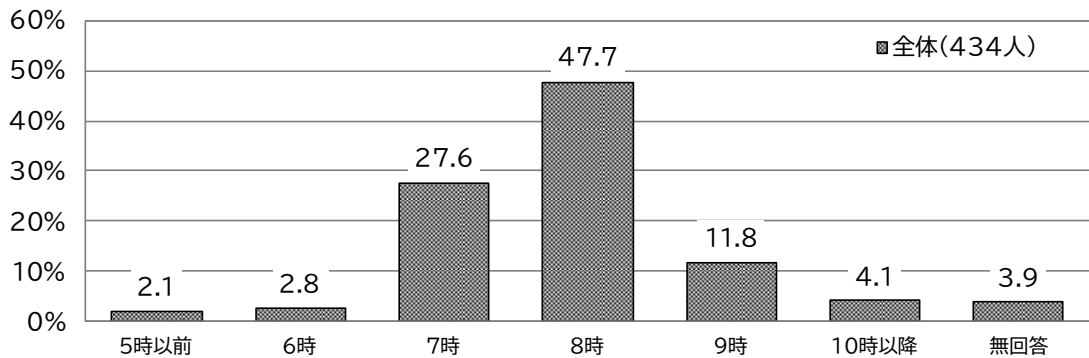
【就労時間】

母親の1日当たりの就労時間をみると、「8時間」が37.1%と最も多くを占めています。次いで「7時間」(18.0%)、「6時間」(15.0%)と続いています。



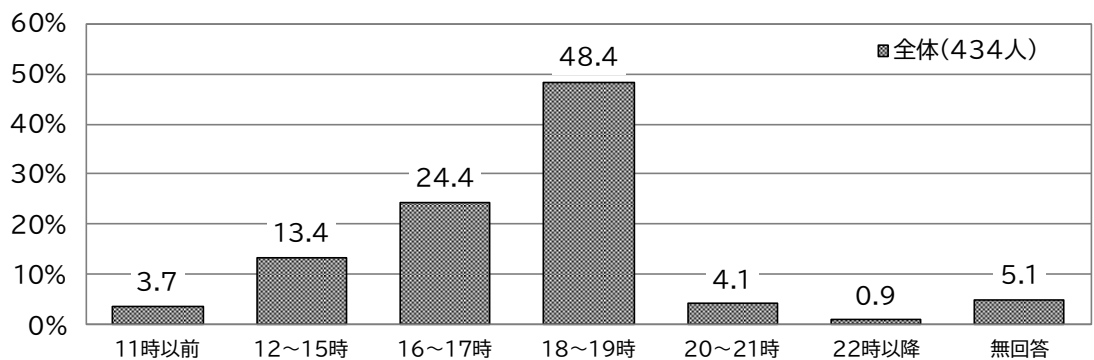
【出勤時間】

母親の出勤時間は「8時」が47.7%で最も多く、次いで「7時」(27.6%)となっています。



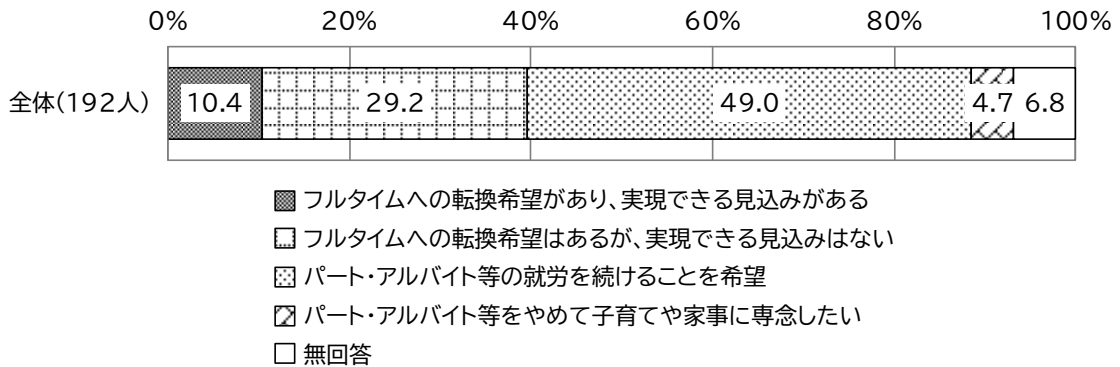
【帰宅時間】

母親の帰宅時間は「18～19時」(48.4%)が最も多くなっています。次いで「16～17時」(24.4%)、「12～15時」(13.4%)となっています。



■母親のパートタイムからフルタイムへの転換希望(問16(1))

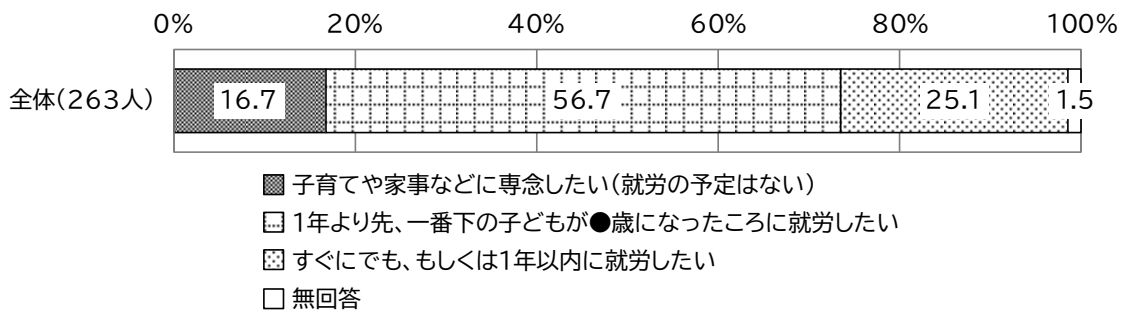
母親のパートタイムからフルタイムへの転換希望をみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」(49.0%)が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(29.2%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(10.4%)となっています。



※「フルタイム」は1週5日程度・1日8時間程度の就労、「パート・アルバイト等」は「フルタイム」以外の就労。

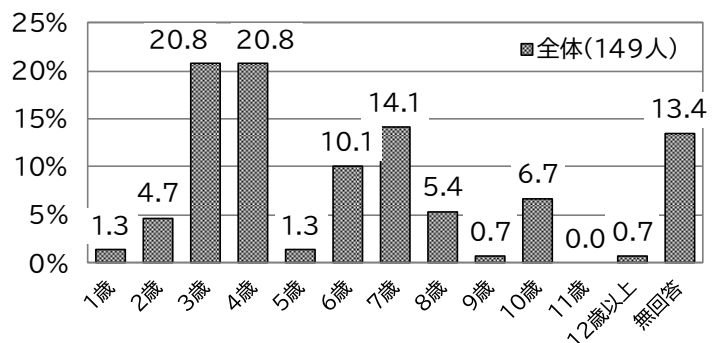
■就労していない母親の就労希望(問17(1))

就労していない母親の今後の就労希望をみると、「1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい」(56.7%)が最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(25.1%)となっています。



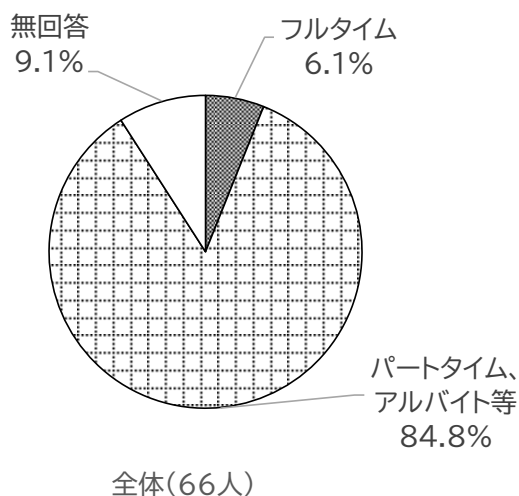
【就労希望時の末子の年齢】

就労希望時の末子の年齢としては、「3歳」と「4歳」がともに 20.8%で最も多く、次いで「7歳」(14.1%)となっています。



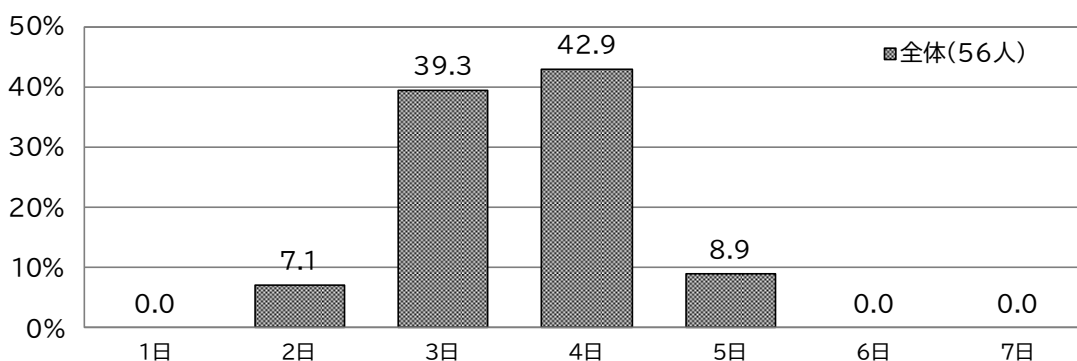
【就労していない母親の希望する就労形態】

就労していない母親の希望する就労形態としては、「パートタイム、アルバイト等」が 84.8%と 8割以上になっています。



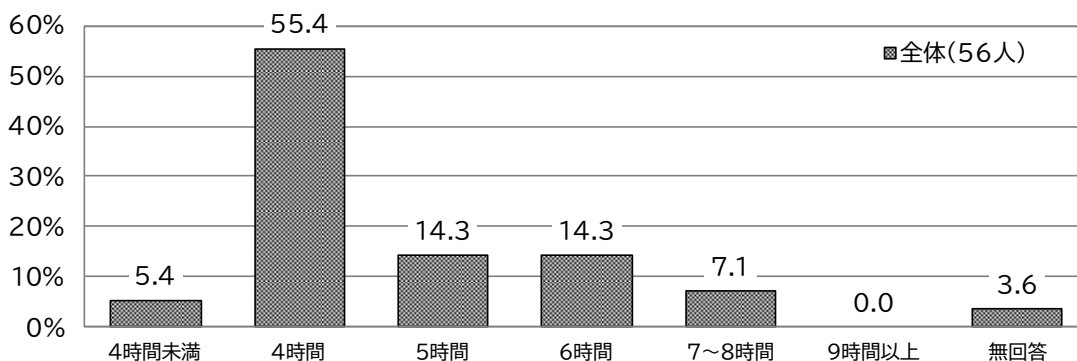
【就労していない母親の希望する1週間当たりのパート・アルバイト日数】

1週間当たりのパート・アルバイト日数としては、「4日」が 42.9%で最も多く、次いで「3日」(39.3%)となっています。



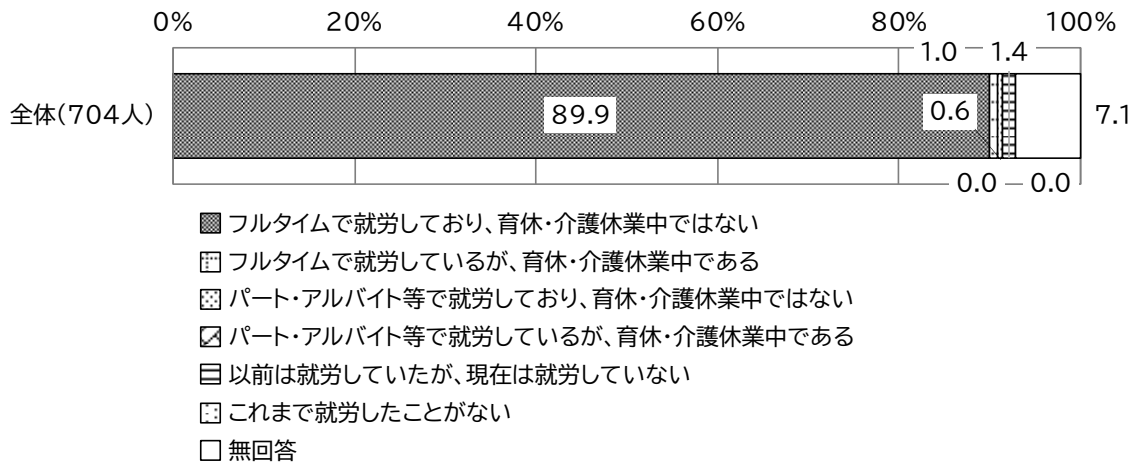
【就労していない母親の希望する1日当たりのパート・アルバイト時間】

1日当たりのパート・アルバイト時間としては、「4時間」が 55.4%で最も多く、次いで「5時間」と「6時間」がともに 14.3%になっています。



(2) 父親の現在の就労状況 (問15(2))

父親の現在の就労状況を見ると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が89.9%と多数を占めています。

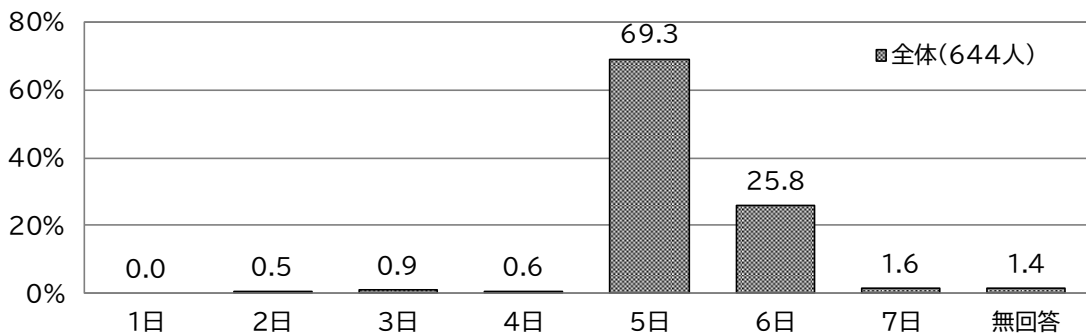


※「フルタイム」は1週5日程度・1日8時間程度の就労、「パート・アルバイト等」は「フルタイム」以外の就労。

■現在就労している父親の就労日数(問15(2)-1)、就労時間と出勤・帰宅時間(問15(2)-2)

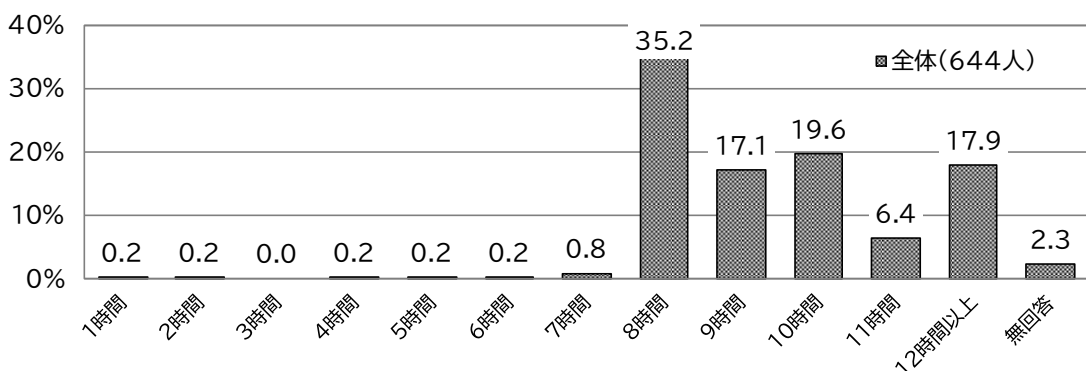
【就労日数】

父親の1週当たりの就労日数をみると、「5日」が69.3%で最も多く、次いで「6日」(25.8%)が多くなっています。



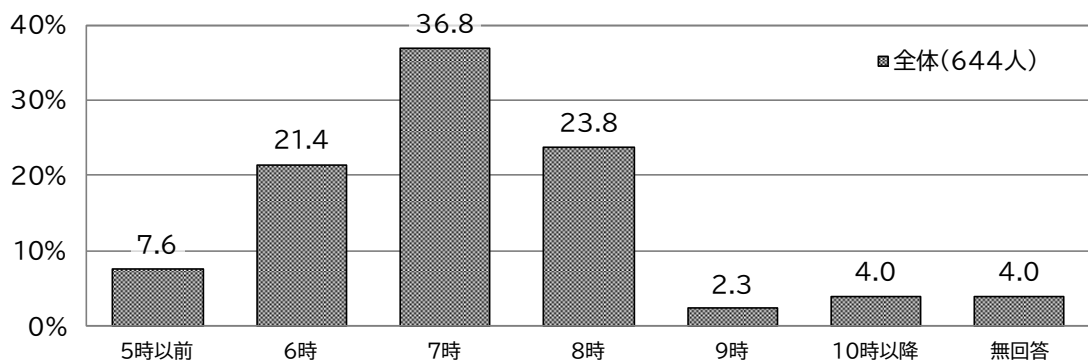
【就労時間】

父親の1日当たりの就労時間をみると、「8時間」が35.2%と最も多く、次いで「10時間」(19.6%)、「12時間以上」(17.9%)と続いています。



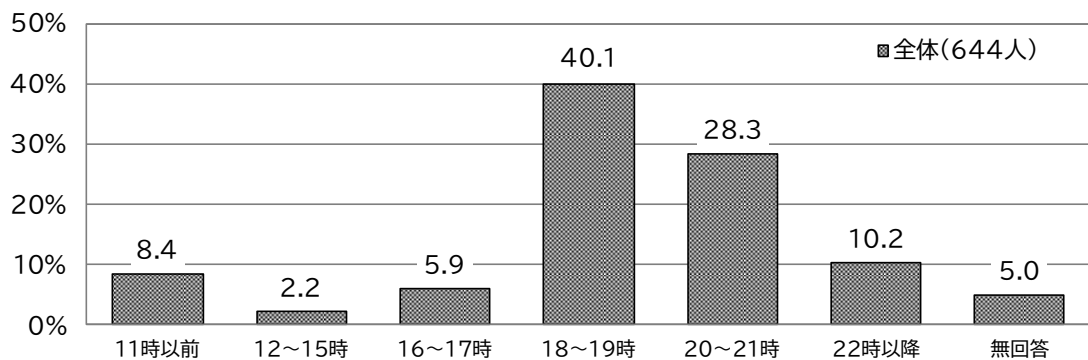
【出勤時間】

父親の出勤時間は「7時」が36.8%で最も多く、次いで「8時」(23.8%)となっています。

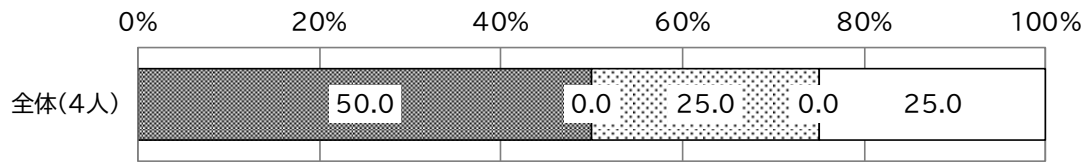


【帰宅時間】

父親の帰宅時間は「18～19時」(40.1%)が最も多くなっています。次いで「20～21時」(28.3%)、「22時以降」(10.2%)となっています。



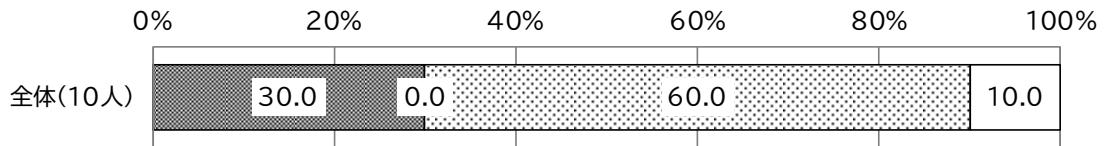
■父親のパートタイムからフルタイムへの転換希望(問16(2))



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ▨ パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- ▩ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

※「フルタイム」は1週5日程度・1日8時間程度の就労、「パート・アルバイト等」は「フルタイム」以外の就労。

■就労していない父親の就労希望(問17(2))

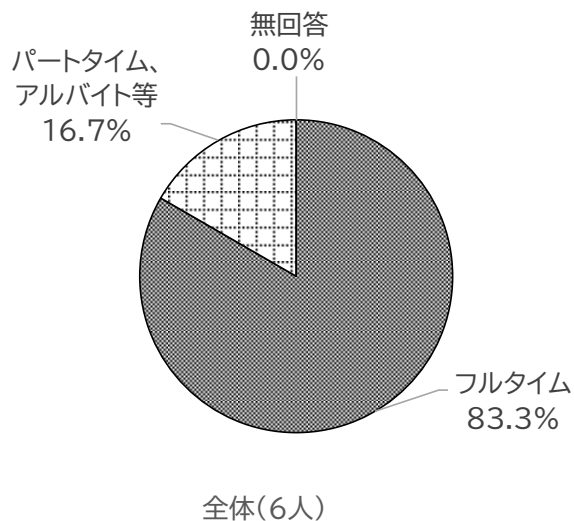


- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- ▨ 1年より先、一番下の子どもが●歳になったころに就労したい
- ▩ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

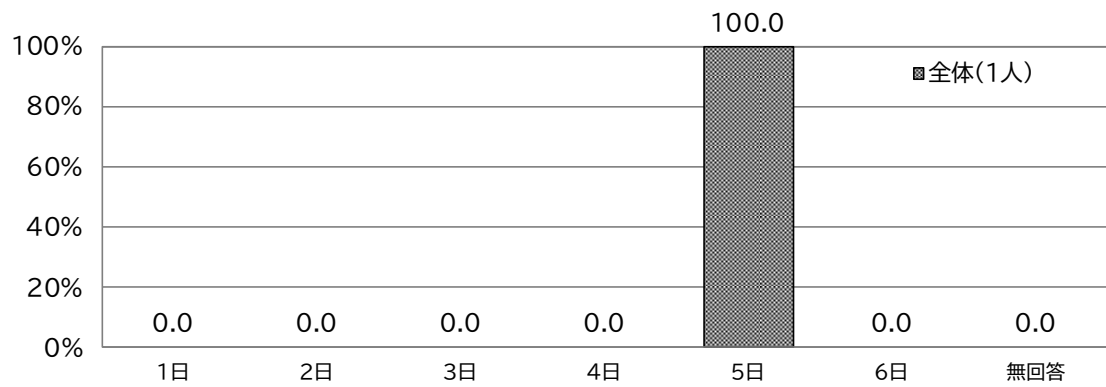
【就労希望時の末子の年齢】

※該当なし

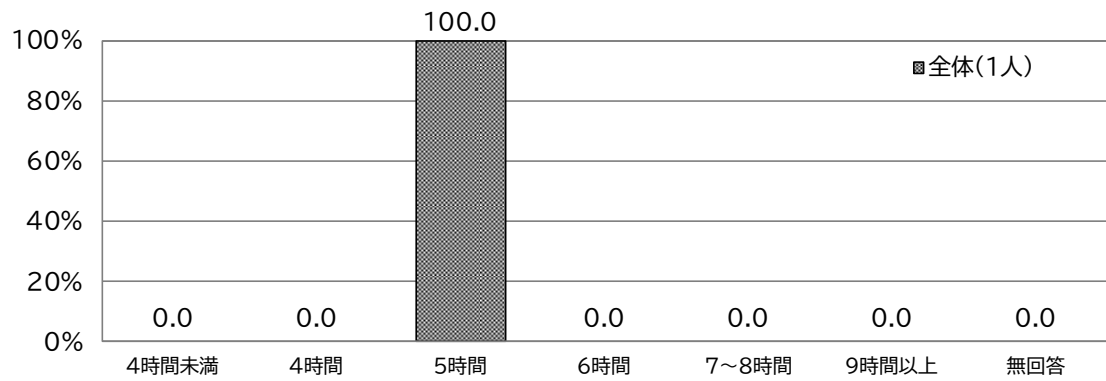
【就労していない父親の希望する就労形態】



【就労していない父親の希望する1週間当たりのパート・アルバイト日数】



【就労していない父親の希望する1日当たりのパート・アルバイト時間】



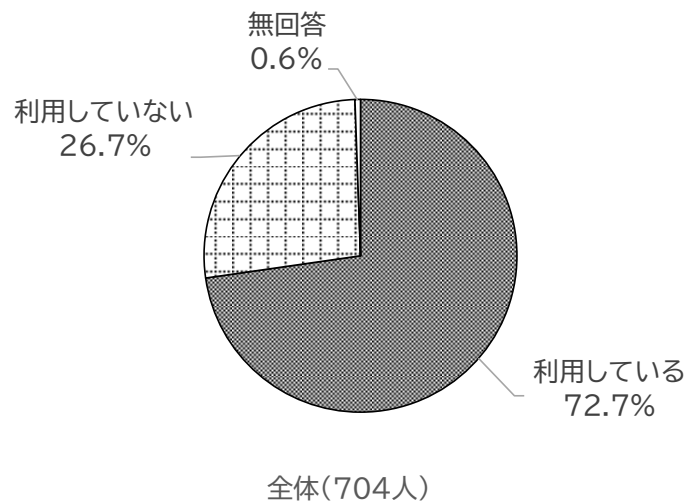
第4章 子育て支援サービスの現状と 今後の利用希望

1 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（問18）

① 全体

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況を見ると、「利用している」人が72.7%と7割以上になっています。



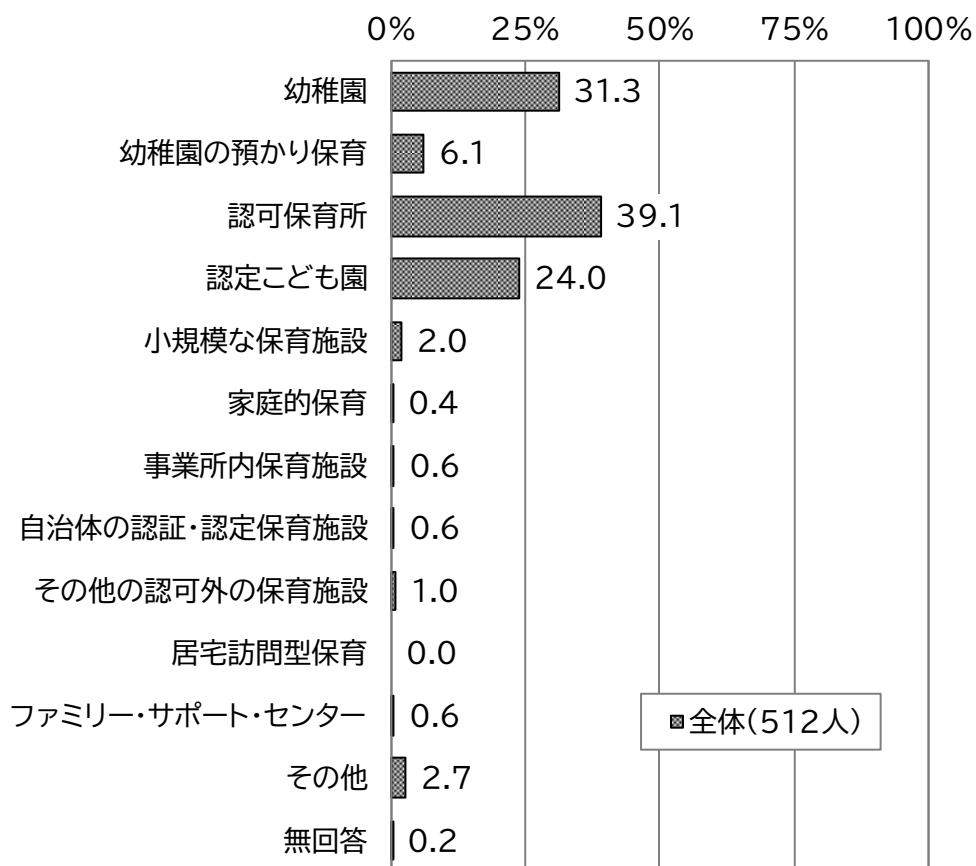
【年齢別】

子どもの年齢別にみると、“2歳児以下”では、「利用していない」が61.5%と6割以上になっています。また、“3歳児以上”では、「利用している」との回答が98.0%になっています。

	合計	利用している	利用していない	無回答
全体	704人	72.7%	26.7%	0.6%
2歳児以下	296人	38.5%	61.5%	0.0%
3歳児以上	400人	98.0%	1.0%	1.0%

■利用している平日の定期的な教育・保育事業(問18-1)

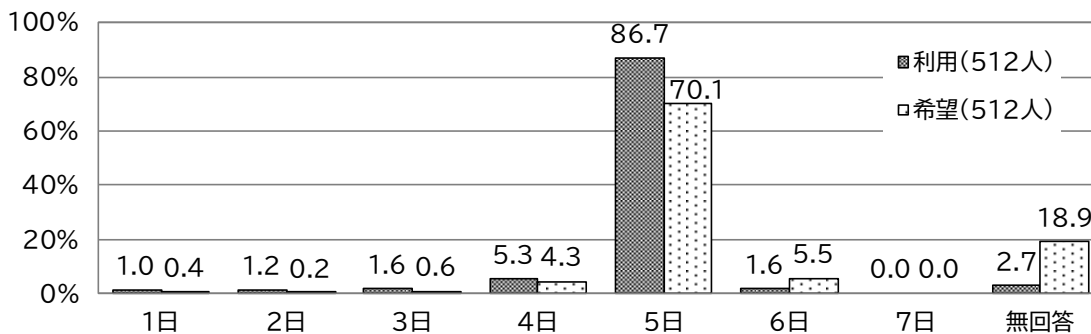
利用している平日の定期的な教育・保育事業は、「認可保育所」(39.1%)が4割近くで最も多くなっています。次いで「幼稚園」(31.3%)、「認定こども園」(24.0%)となっています。



■利用日数等(問18-2)

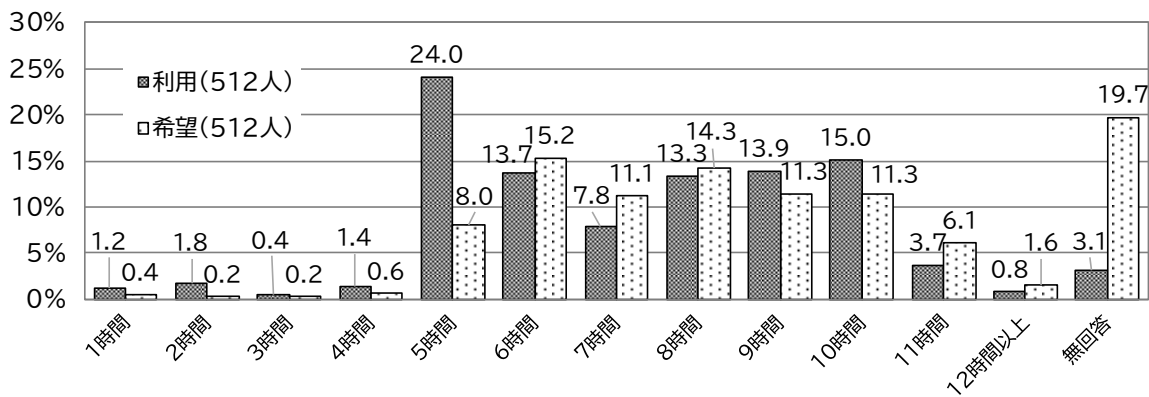
平日の定期的な教育・保育事業の1週当たりの利用日数と希望日数をみると、利用日数では「5日」(86.7%)が最も多く、希望日数では「5日」(70.1%)が減少した一方で「6日」(5.5%)がやや増加しています。

【1週当たり利用日数】



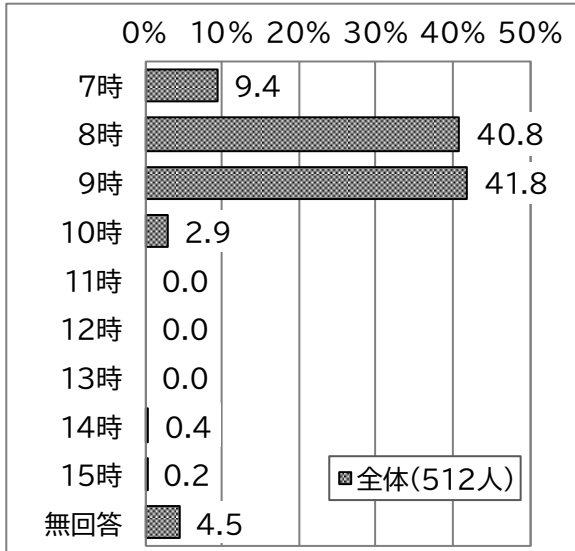
1日当たりの利用時間と希望時間をみると、利用時間では「5時間」(24.0%)、「10時間」(15.0%)、「9時間」(13.9%)の順に多く、希望時間では「5時間」が大きく減少しています。

【1日当たり利用時間】

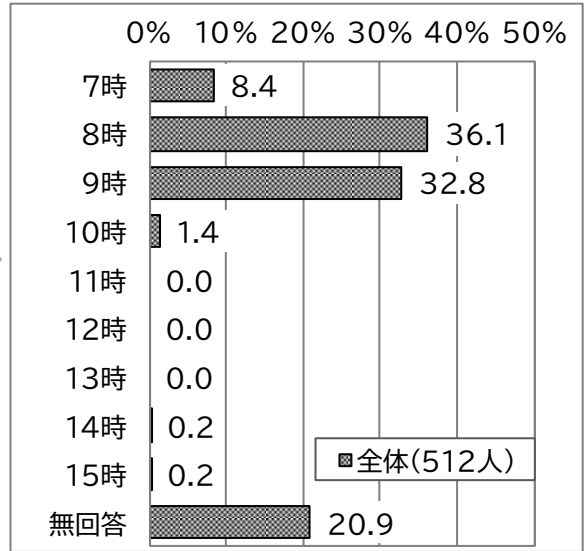


利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9時」(41.8%)、「8時」(40.8%)、「7時」(9.4%)の利用順、終了時間は「14時」(30.1%)、「18時」(19.1%)、「17時」(17.4%)の利用順となっています。

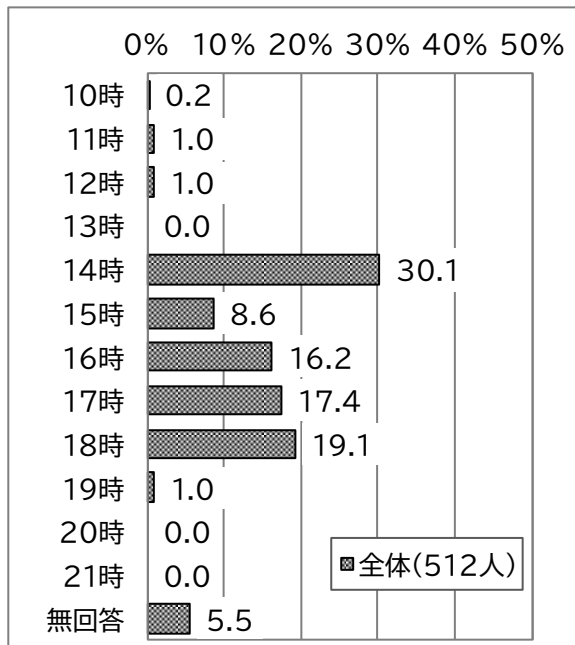
【利用開始時間】



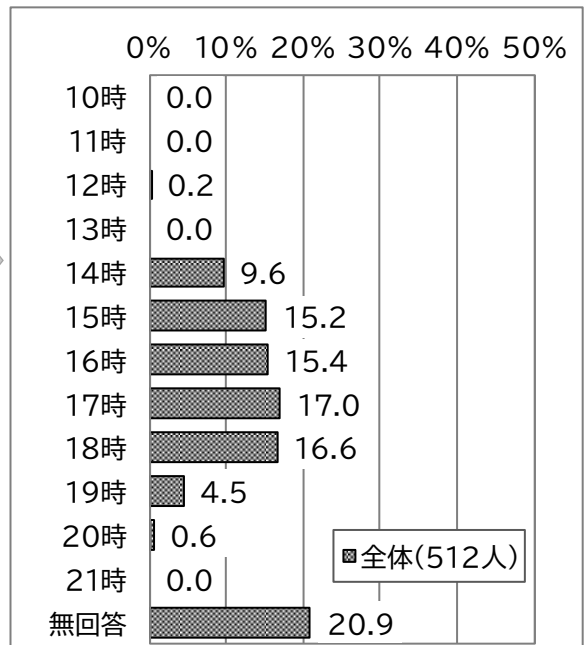
【希望開始時間】



【利用終了時間】

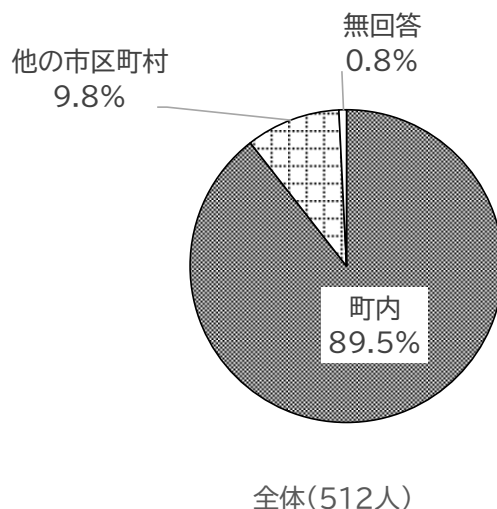


【希望終了時間】



■教育・保育事業の実施場所(問18-3)

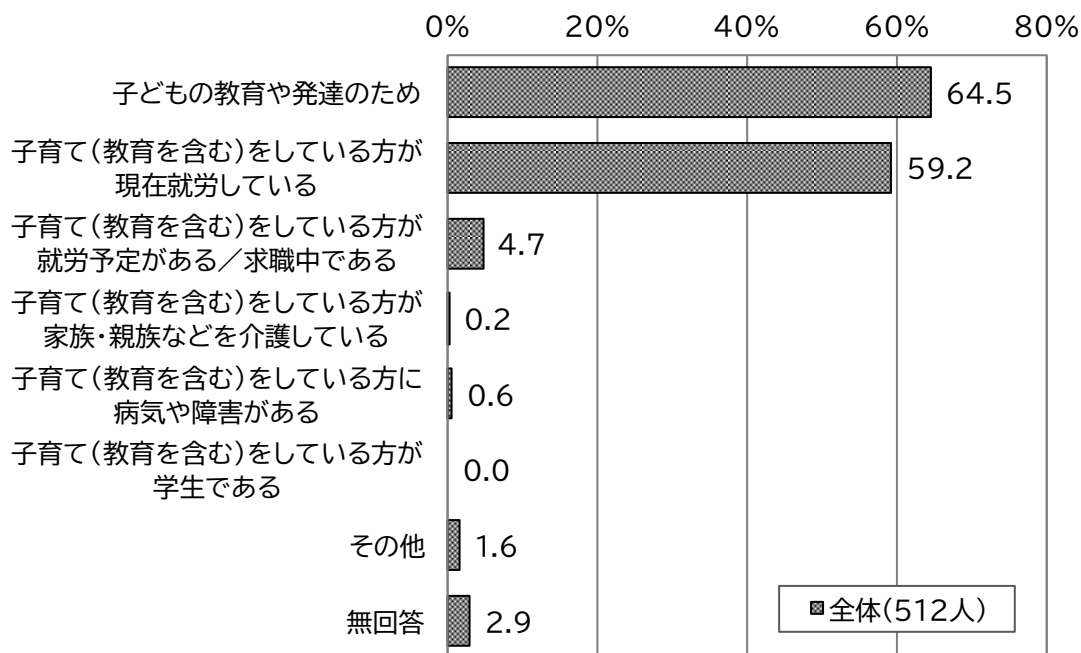
平日の定期的な教育・保育事業の実施場所をみると、「町内」が 89.5%と約9割を占めています。



■平日に定期的な教育・保育事業を利用している理由(問18-4)

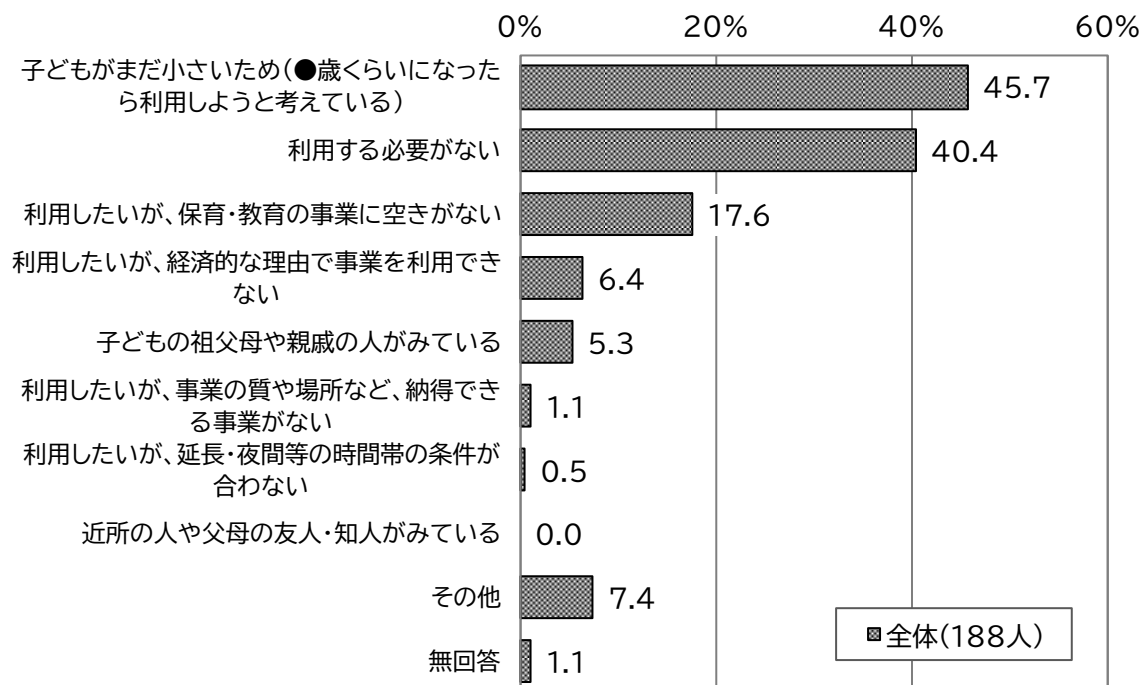
平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由としては、「子どもの教育や発達のため」が 64.5%と6割以上を占めています。

次いで「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が 59.2%と約6割になっています。



■平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由(問18-5)

平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由としては、「子どもがまだ小さいため(●歳くらいになったら利用しようと考えている)」が45.7%で最も多くなっています。



■利用を希望する子どもの年齢

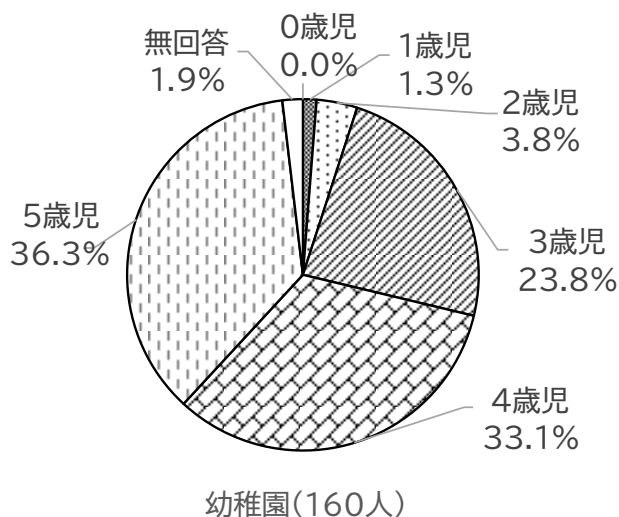
利用開始を希望する子どもの年齢は、「3歳」が38.4%で最も多くなっています。

合計	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	無回答
86人	27.9%	11.6%	38.4%	10.5%	0.0%	11.6%

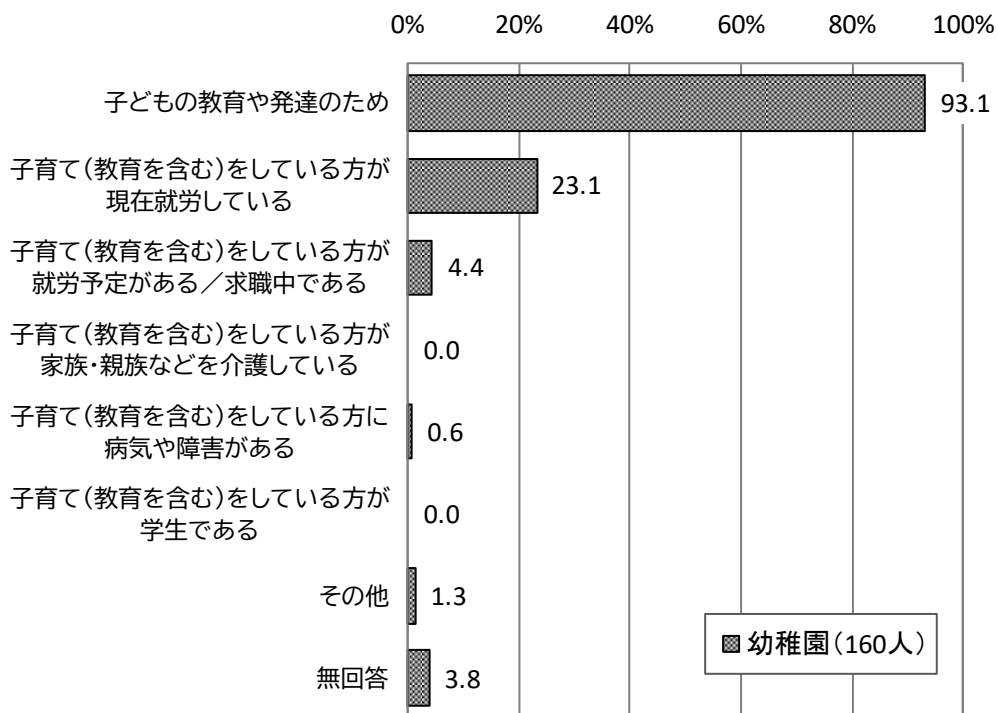
② 幼稚園

幼稚園の年齢別利用者数は「5歳児」(36.3%)、「4歳児」(33.1%)、「3歳児」(23.8%)の順に利用されています。

利用している理由は、ほとんどが「子どもの教育や発達のため」(93.1%)であり、次いで「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(23.1%)の順に多くなっています。



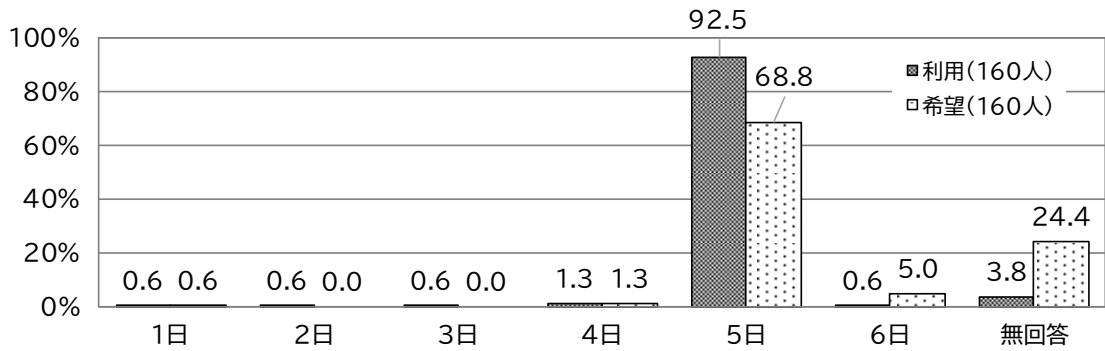
【幼稚園を利用している理由】



■利用日数等

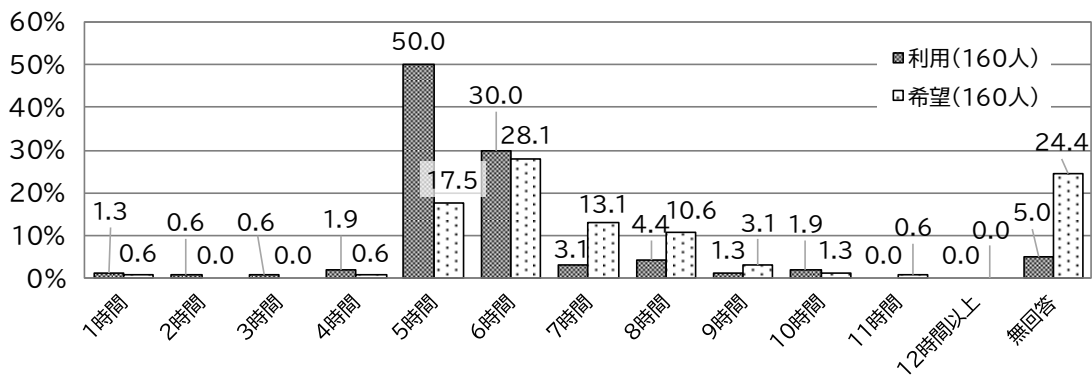
幼稚園の1週当たりの利用日数と希望日数をみると、利用日数では「5日」(92.5%)が最も多く、希望日数では「5日」(68.8%)が減少した一方で「6日」(5.0%)がやや増加しています。

【1週当たり利用日数】



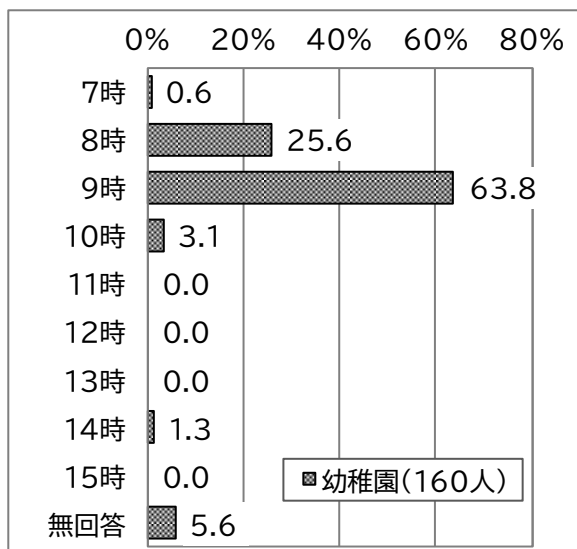
利用時間と希望時間について、利用時間では「5時間」(50.0%)、「6時間」(30.0%)の順に多く、希望時間では「5時間」が減少した一方で「6時間」が最も多くなっています。

【1日当たり利用時間】

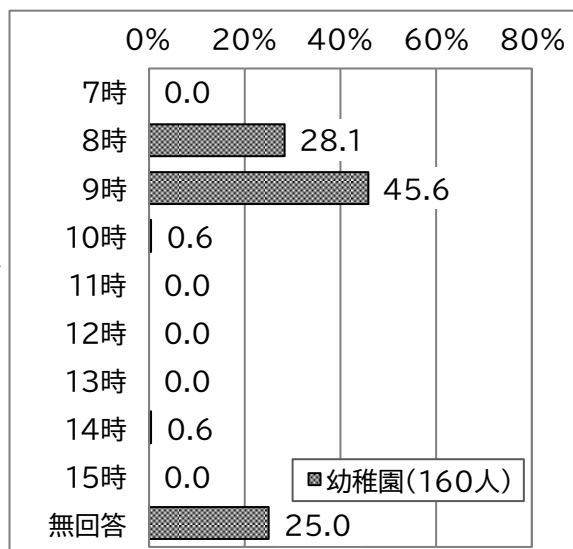


幼稚園の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9時(63.8%)」、「8時」(25.6%)の利用順、終了時間は「14時(66.9%)」、「15時(13.8%)」、「16時(5.6%)」の利用順となっています。

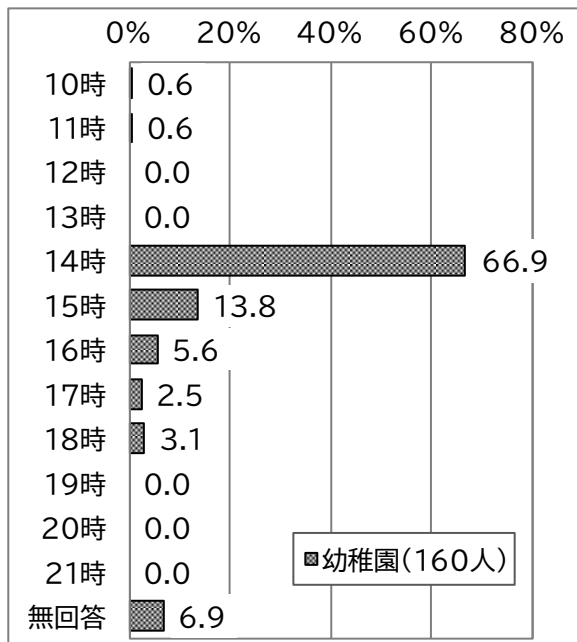
【利用開始時間】



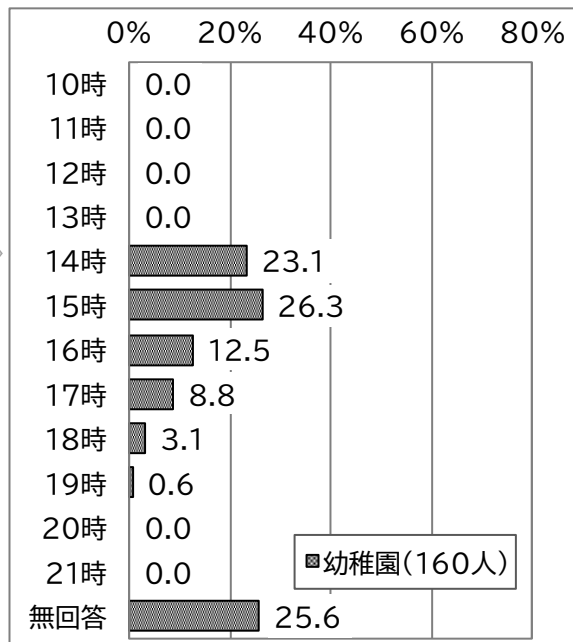
【希望開始時間】



【利用終了時間】



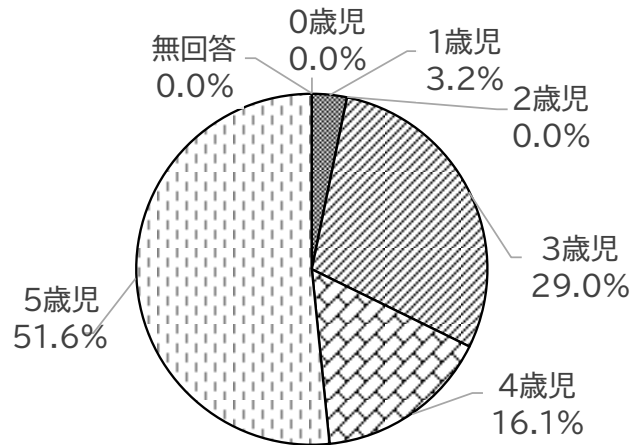
【希望終了時間】



③ 幼稚園の預かり保育

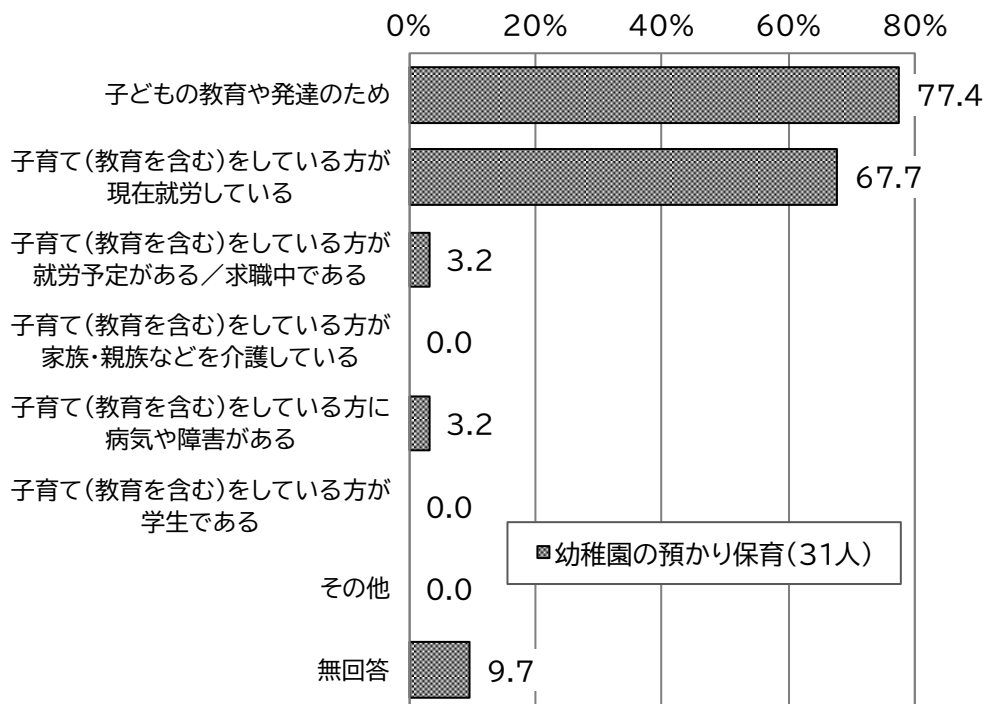
幼稚園の預かり保育の年齢別利用者数は「5歳児」(51.6%)、「3歳児」(29.0%)、「4歳児」(16.1%)の順に利用されています。

利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」(77.4%)が最も多く、次いで「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が67.7%となっています。



幼稚園の預かり保育(31人)

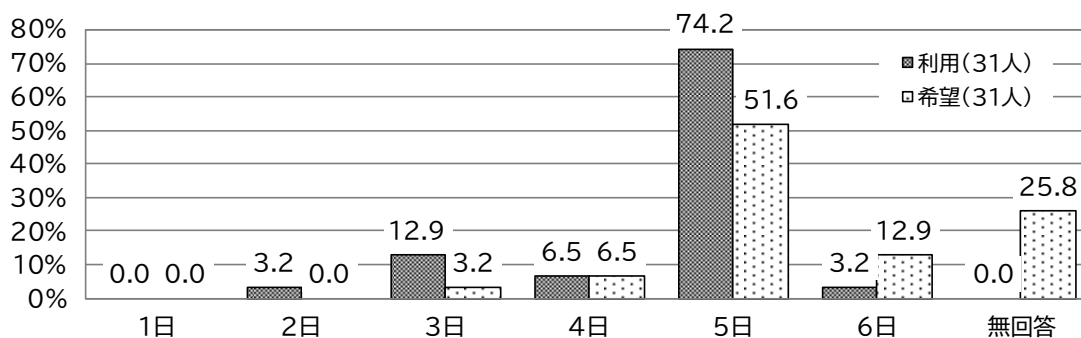
【幼稚園の預かり保育を利用している理由】



■利用日数等

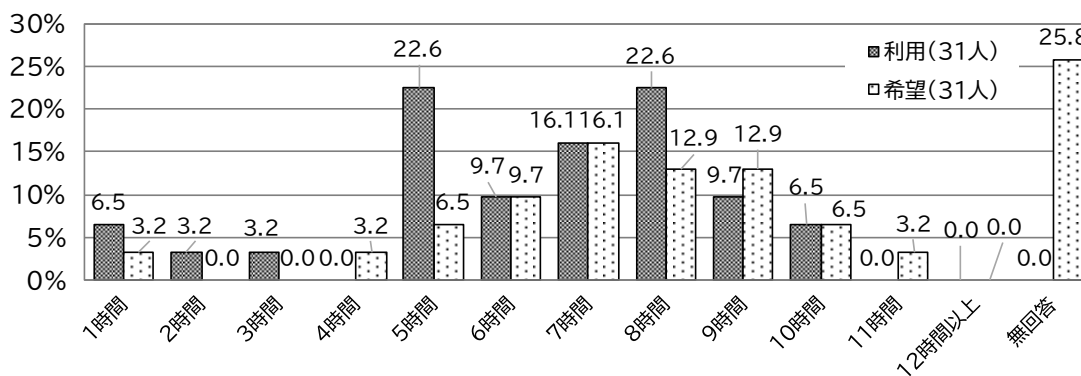
幼稚園の預かり保育の1週当たりの利用日数と希望日数をみると、利用日数では「5日」(74.2%)が最も多く、希望日数では「5日」(51.6%)が減少した一方で「6日」(12.9%)がやや増加しています。

【1週当たり利用日数】



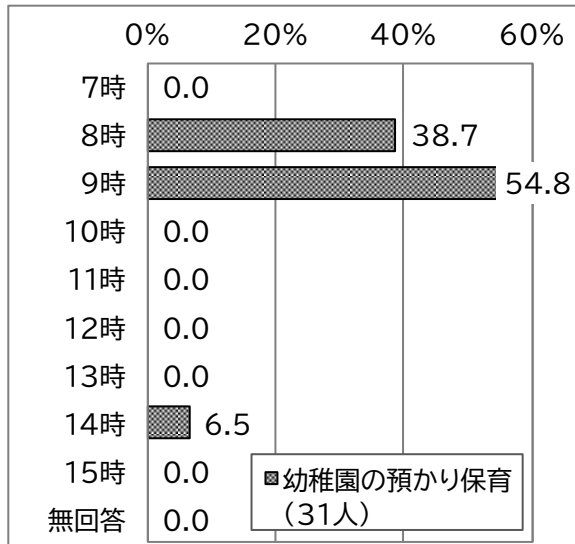
利用時間と希望時間について、利用時間では「5時間」と「8時間」がともに 22.6%で最も多く、希望時間では「7時間」が 16.1%で最も多くなっています。

【1日当たり利用時間】

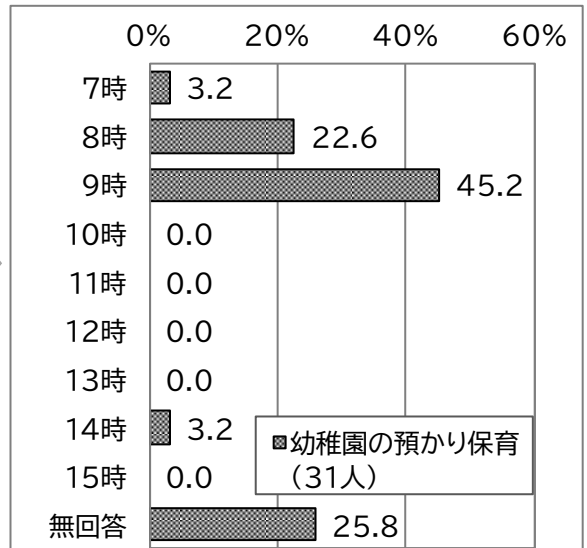


幼稚園の預かり保育の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9時」(54.8%)、「8時」(38.7%)の利用順、終了時間は「16時」(35.5%)、「14時」(29.0%)の利用順となっています。

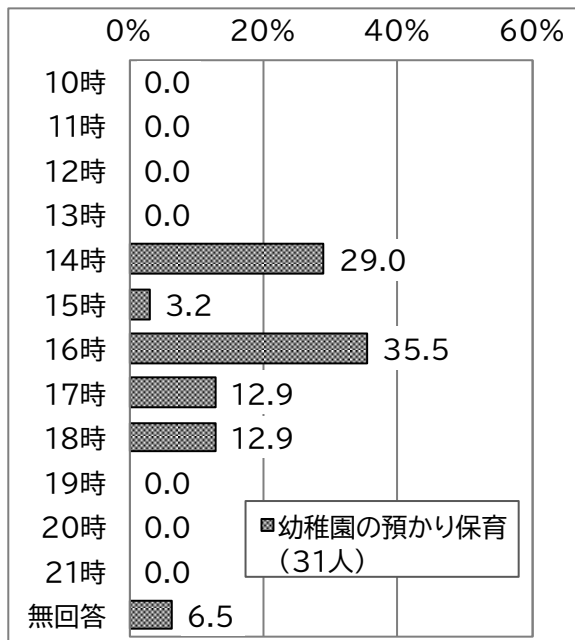
【利用開始時間】



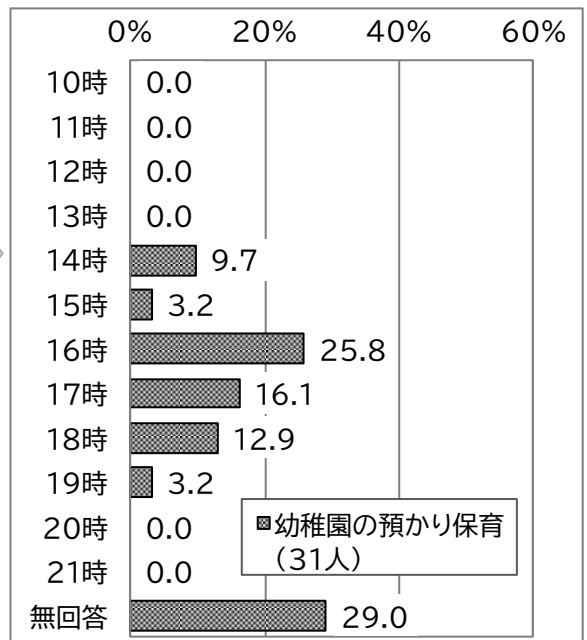
【希望開始時間】



【利用終了時間】



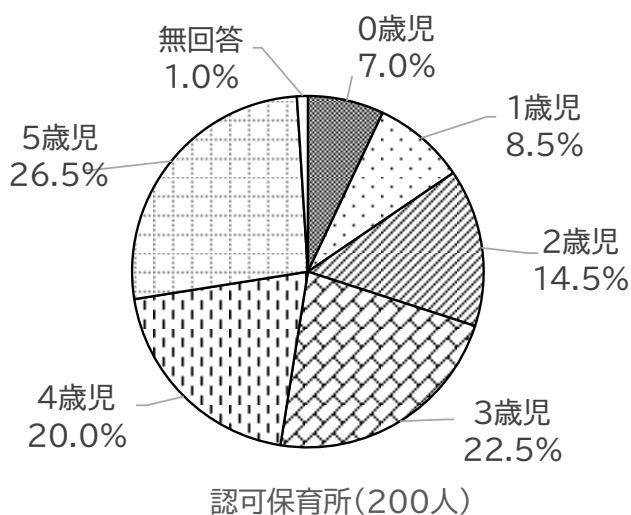
【希望終了時間】



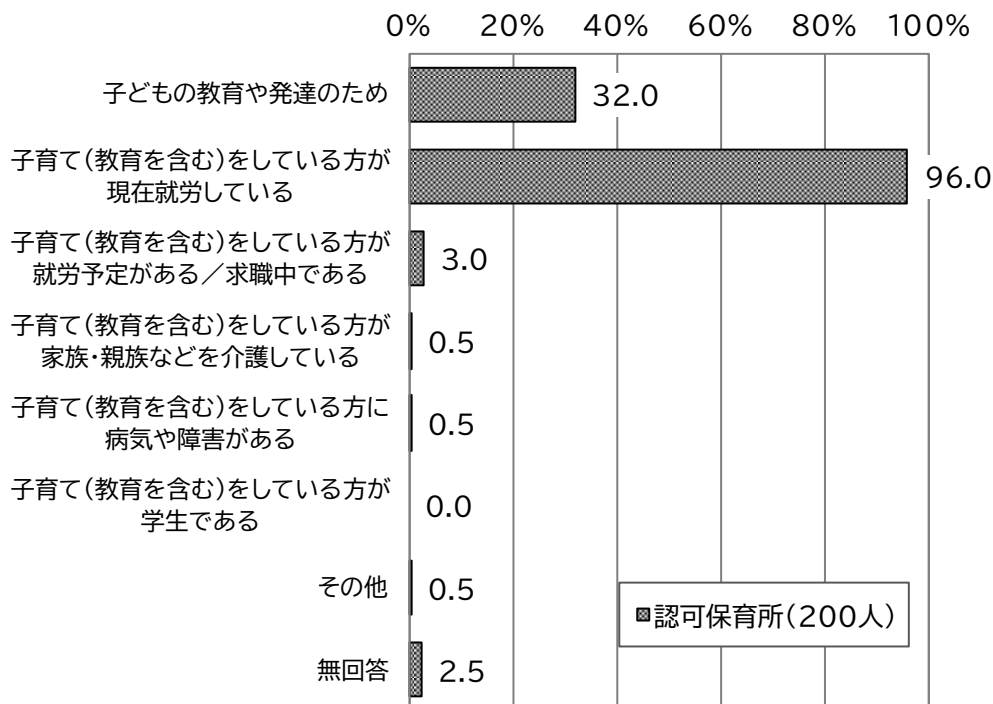
④ 認可保育所

認可保育所の年齢別利用者数は「5歳児」(26.5%)、「3歳児」(22.5%)、「4歳児」(20.0%)の順に利用されています。

利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(96.0%)が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が32.0%となっています。



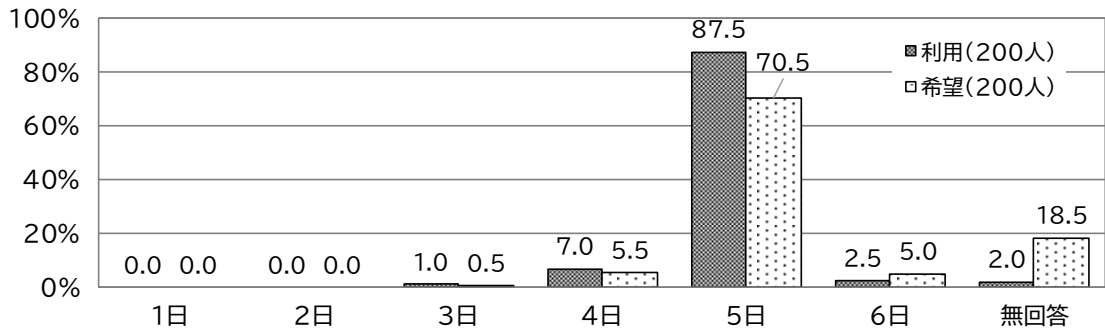
【認可保育所を利用している理由】



■利用日数等

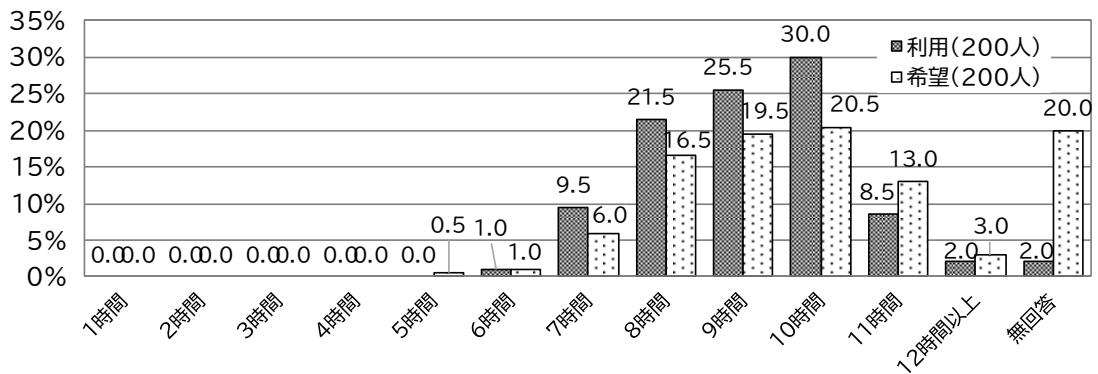
認可保育所の1週当たりの利用日数と希望日数をみると、利用日数では「5日」(87.5%)が最も多く、希望日数では「5日」(70.5%)が減少した一方で「6日」(5.0%)がやや増加しています。

【1週当たり利用日数】



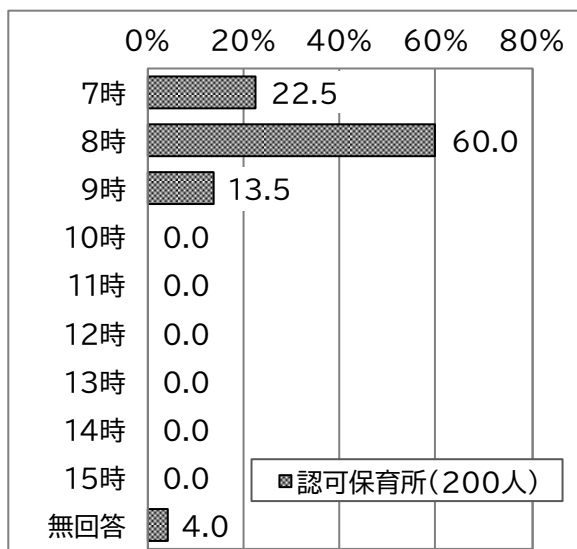
利用時間と希望時間について、利用時間では「10時間」(30.0%)、「9時間」(25.5%)の順に多く、希望時間では「10時間」が20.5%で最も多くなっています。

【1日当たり利用時間】

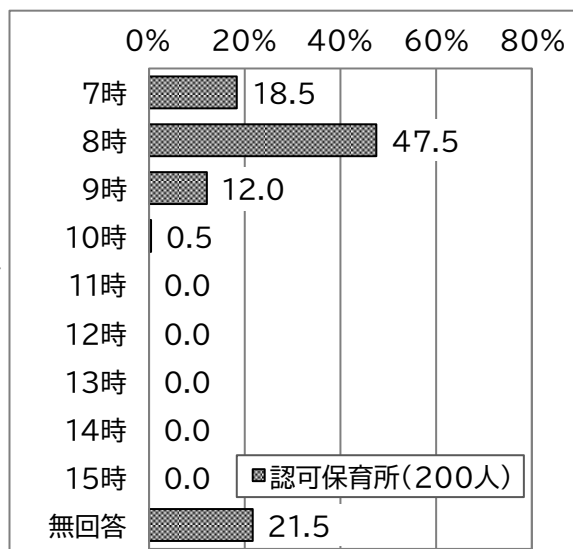


認可保育所の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時」(60.0%)、「7時」(22.5%)の利用順、終了時間は「18時」(36.5%)、「17時」(31.5%)の利用順となっています。

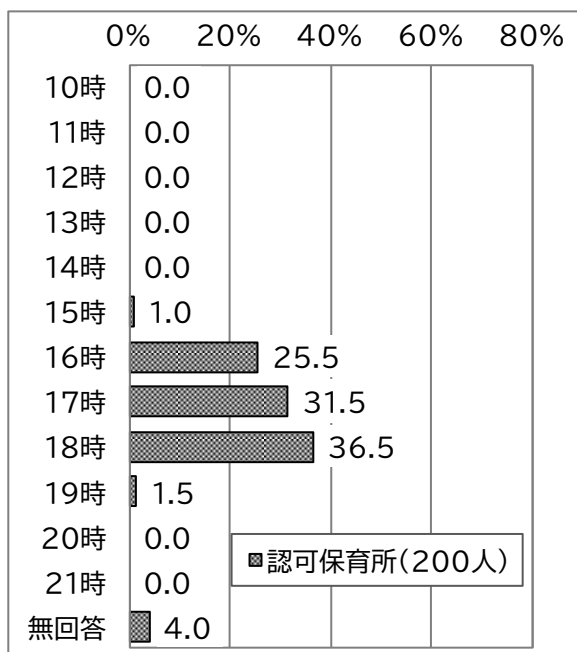
【利用開始時間】



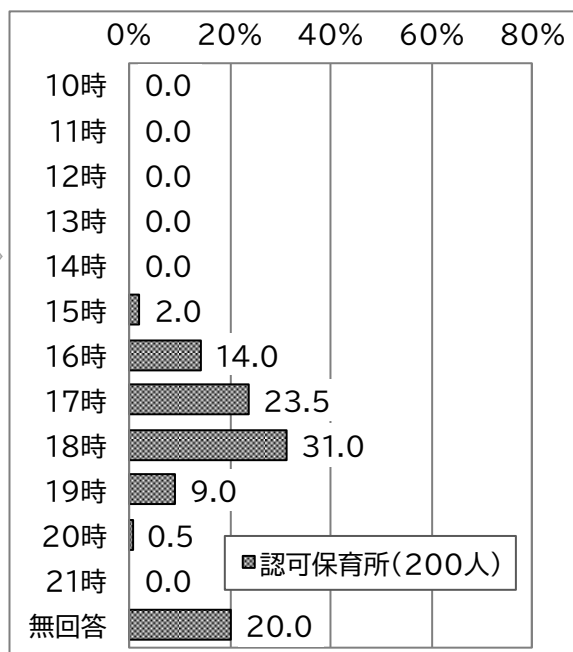
【希望開始時間】



【利用終了時間】



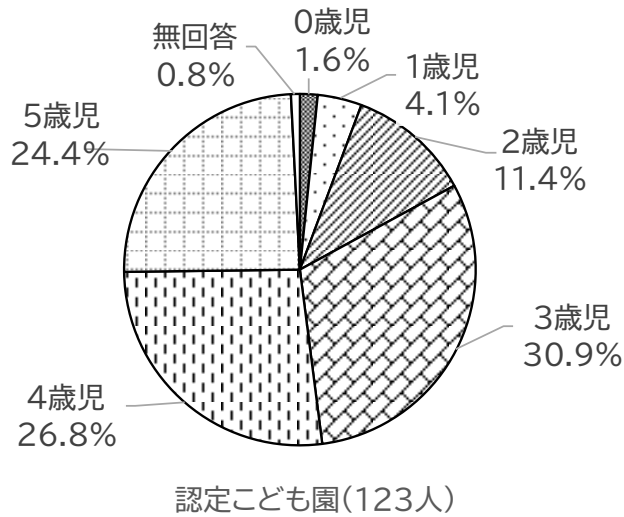
【希望終了時間】



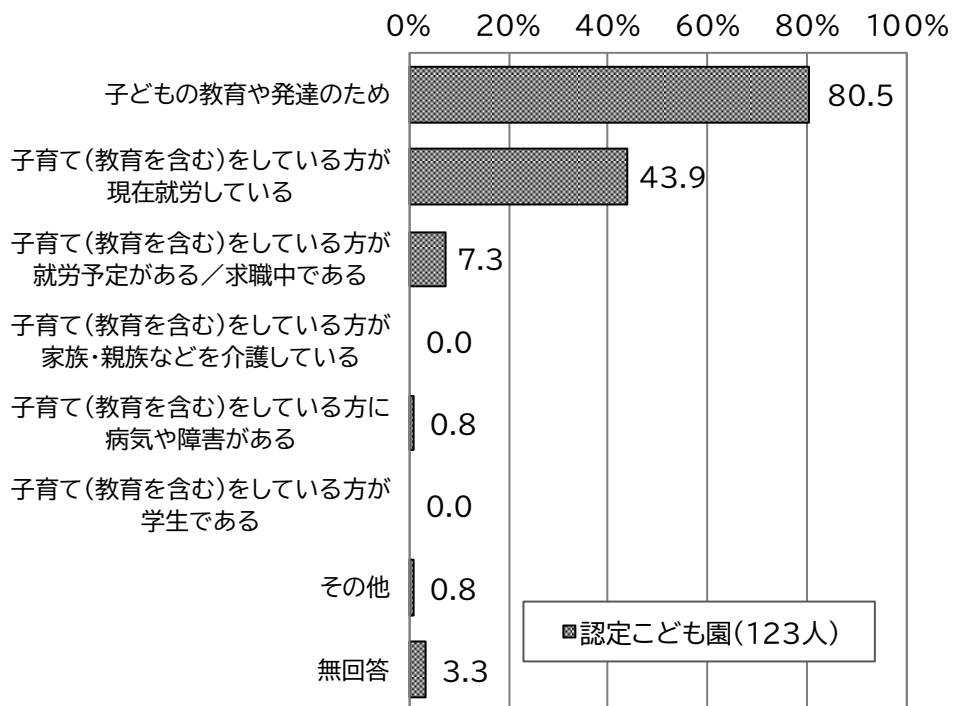
⑤ 認定こども園

認定こども園の年齢別利用者数は「3歳児」(30.9%)、「4歳児」(26.8%)、「5歳児」(24.4%)の順に利用されています。

利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」(80.5%)が最も多く、次いで「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が43.9%となっています。



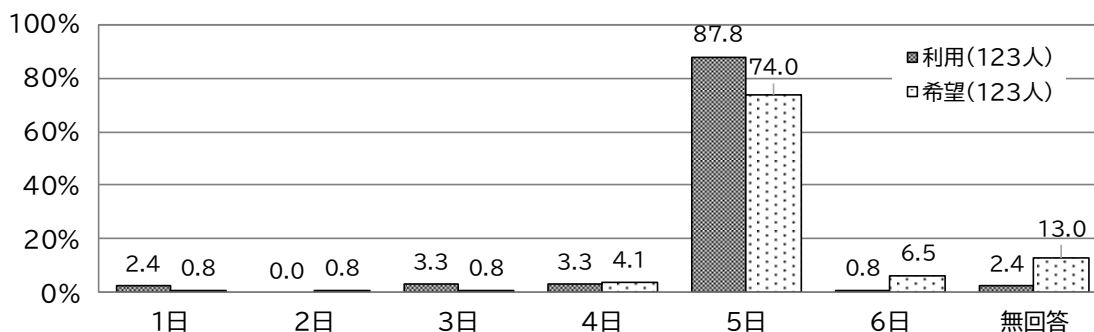
【認定こども園を利用している理由】



■利用日数等

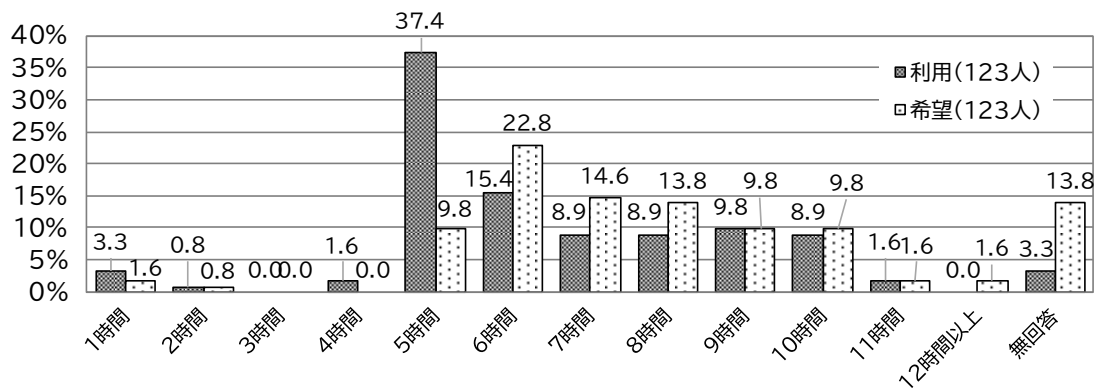
認定こども園の1週当たりの利用日数と希望日数をみると、利用日数では「5日」(87.8%)が最も多く、希望日数では「5日」(74.0%)が減少した一方で「6日」(6.5%)がやや増加しています。

【1週当たり利用日数】

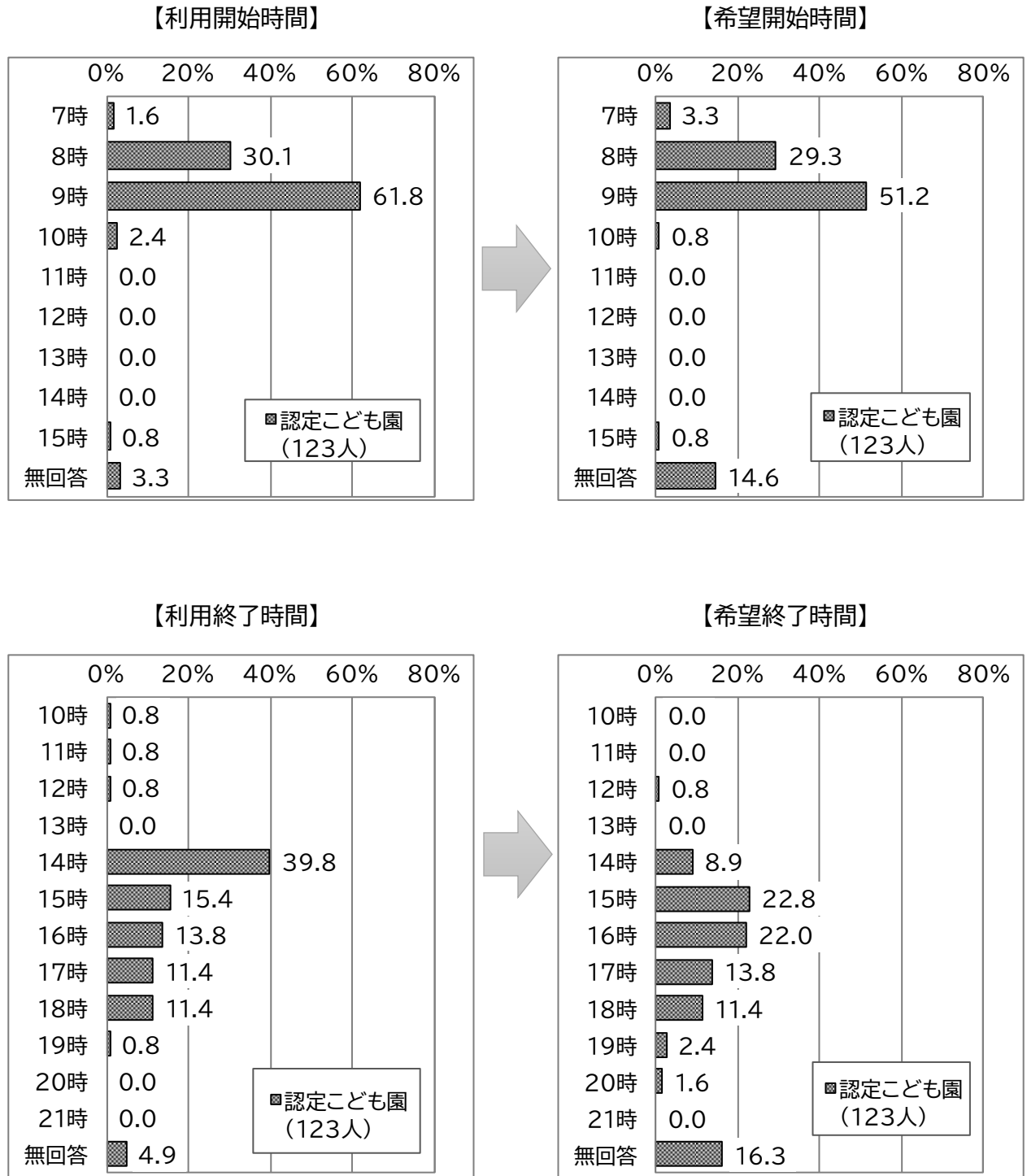


利用時間と希望時間について、利用時間では「5時間」(37.4%)、「6時間」(15.4%)の順に多く、希望時間では「6時間」が22.8%で最も多くなっています。

【1日当たり利用時間】



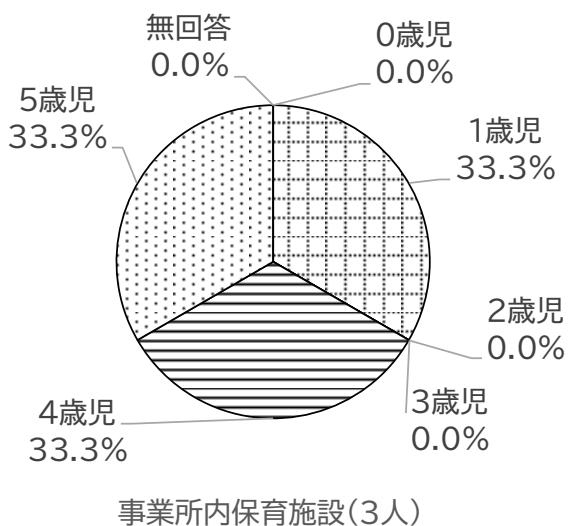
認定こども園の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9時」(61.8%)、「8時」(30.1%)の利用順、終了時間は「14時」(39.8%)、「15時」(15.4%)の利用順となっています。



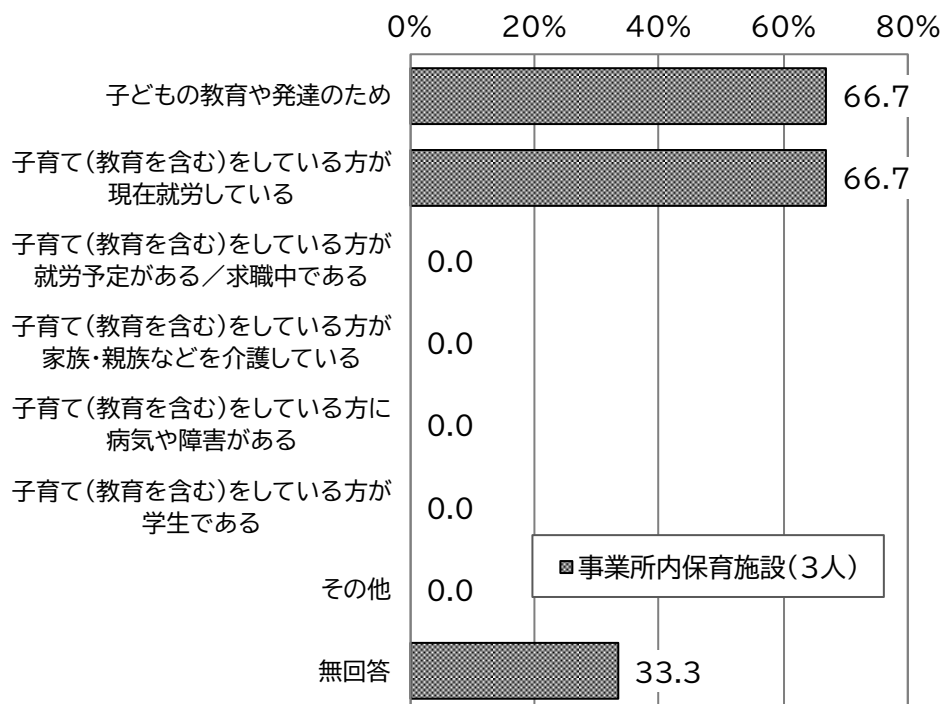
⑥ 事業所内保育施設

事業所内保育施設の年齢別利用者数は「1歳児」(33.3%)、「4歳児」(33.3%)、「5歳児」(33.3%)となっています。

利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」と「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」となっています。



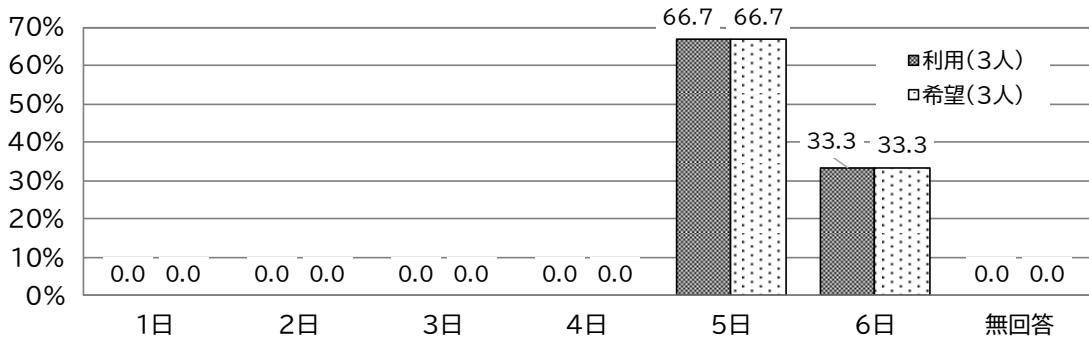
【事業所内保育施設を利用している理由】



■利用日数等

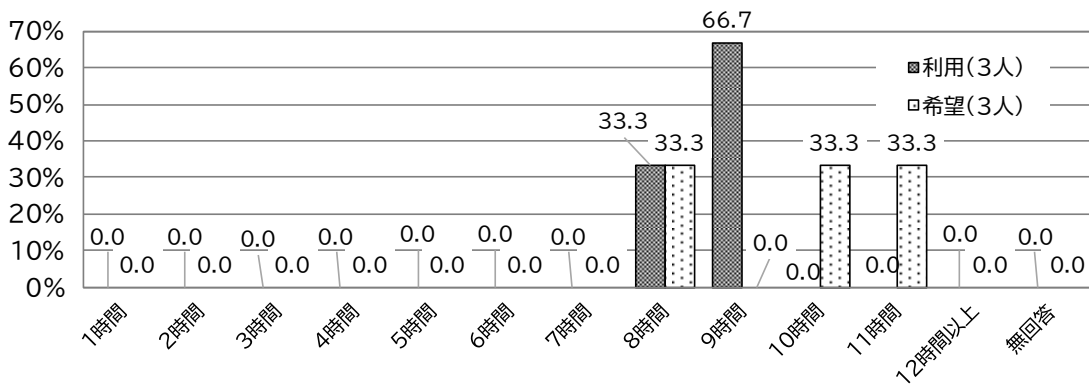
事業所内保育施設の1週当たりの利用日数と希望日数をみると、両者ともに「5日」と「6日」になっています。

【1週当たり利用日数】



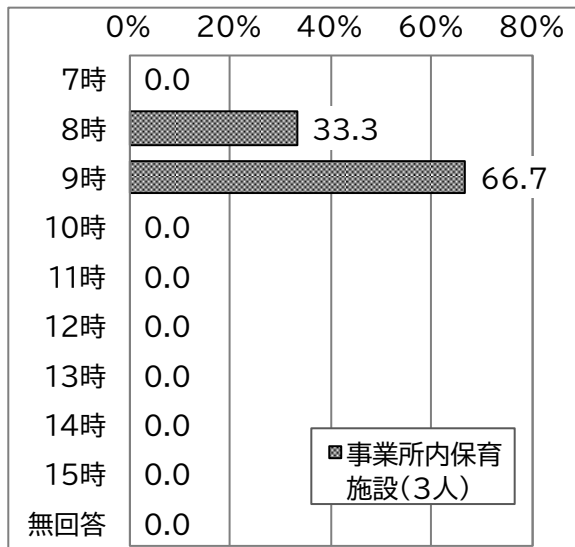
利用時間と希望時間について、利用時間では「8時間」と「9時間」、希望時間では「8時間」「10時間」「11時間」となっています。

【1日当たり利用時間】

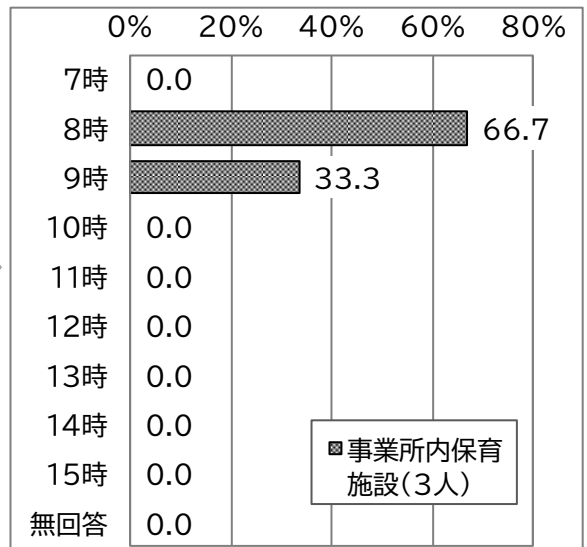


事業所内保育施設の利用開始時間と利用終了時間は以下のようになっています。

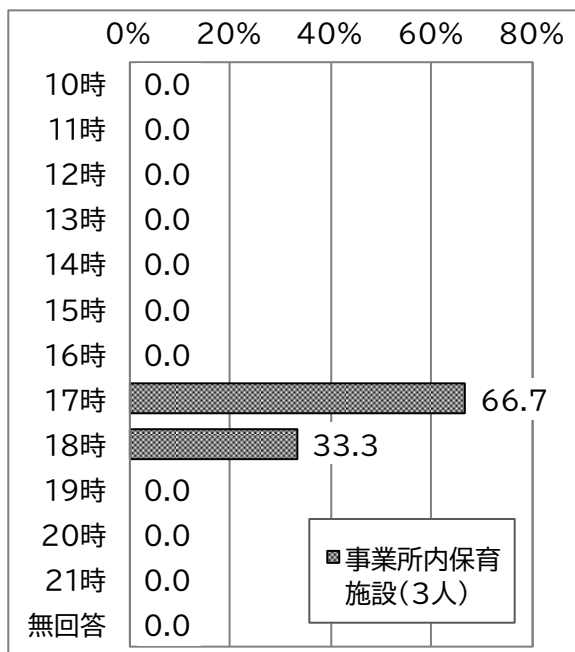
【利用開始時間】



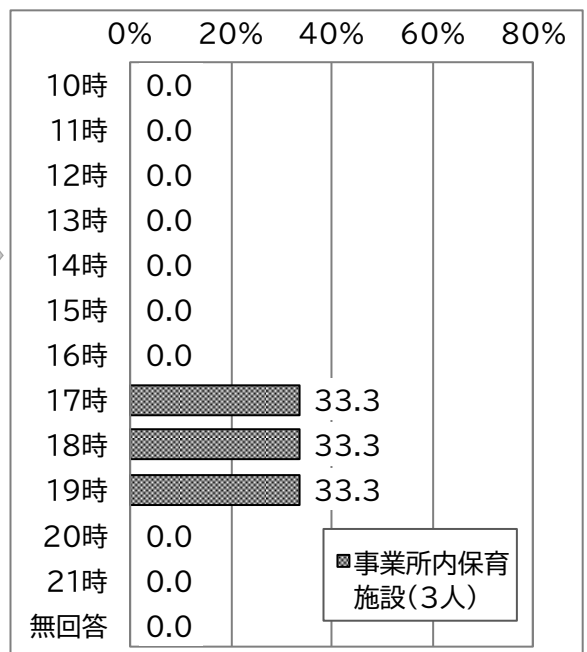
【希望開始時間】



【利用終了時間】



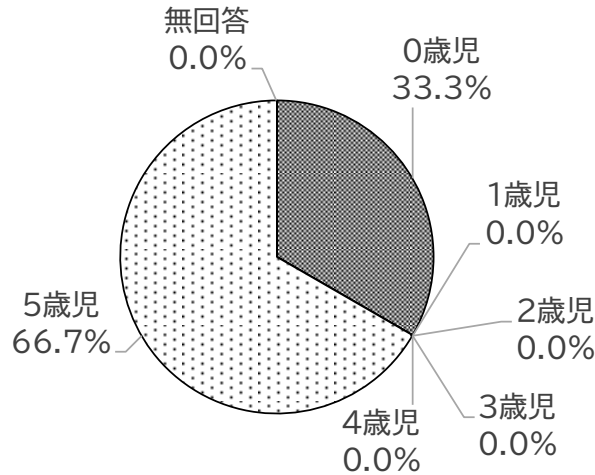
【希望終了時間】



⑦ ファミリー・サポート・センター

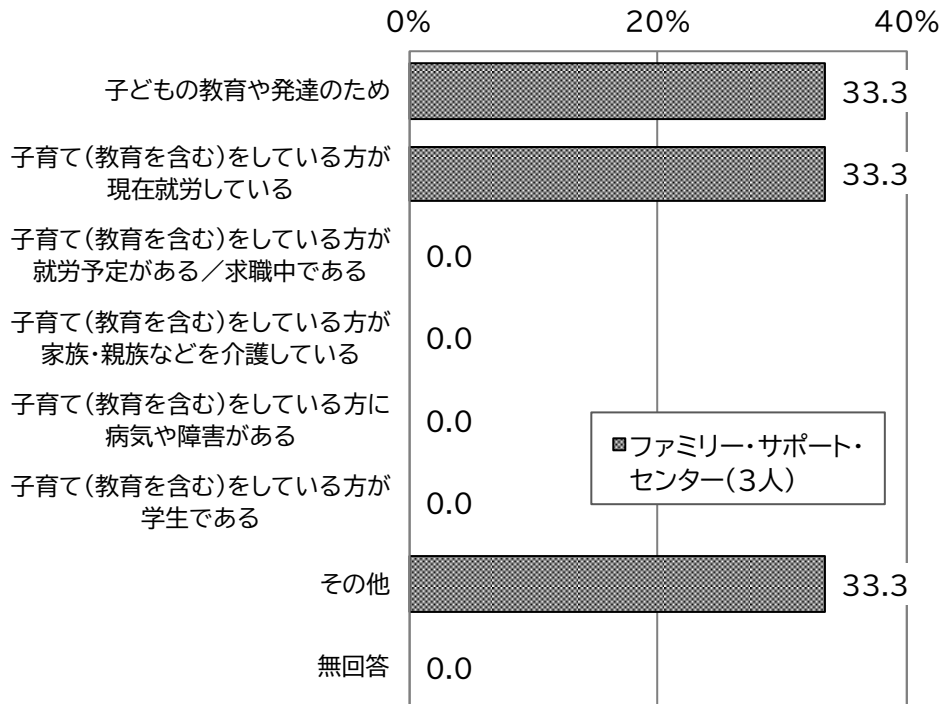
ファミリー・サポート・センターの年齢別利用者数は「0歳児」(33.3%)、「5歳児」(66.7%)となっています。

利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」と「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」「その他」となっています。



ファミリー・サポート・センター(3人)

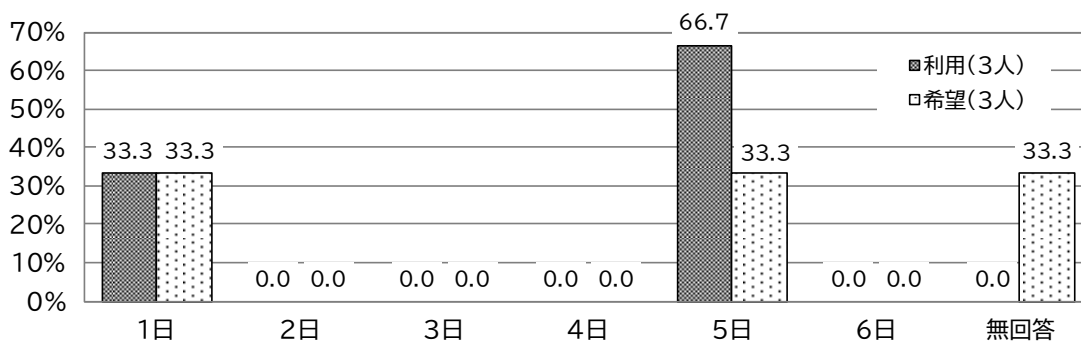
【ファミリー・サポート・センターを利用している理由】



■利用日数等

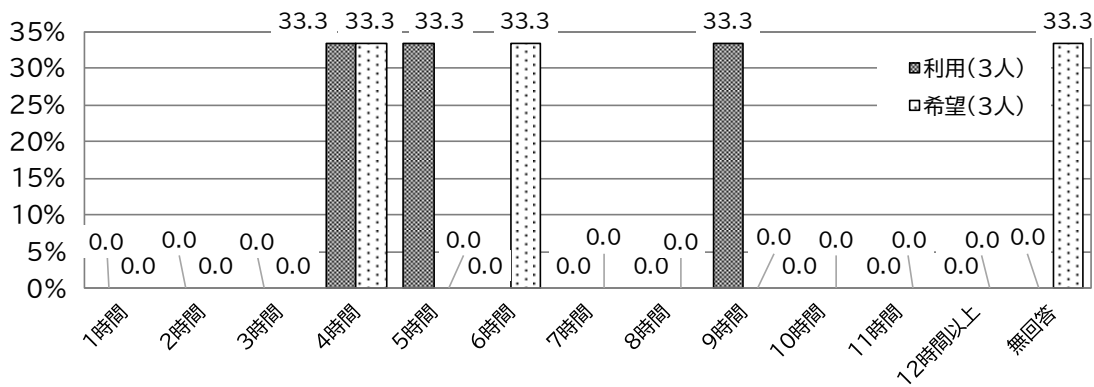
ファミリー・サポート・センターの1週当たりの利用日数と希望日数をみると、両者ともに「1日」と「5日」になっています。

【1週当たり利用日数】



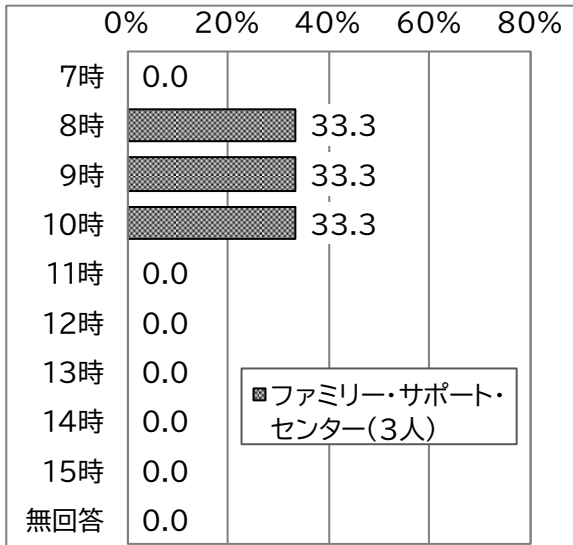
利用時間と希望時間について、利用時間では「4時間」「5時間」「9時間」、希望時間では「4時間」と「6時間」となっています。

【1日当たり利用時間】

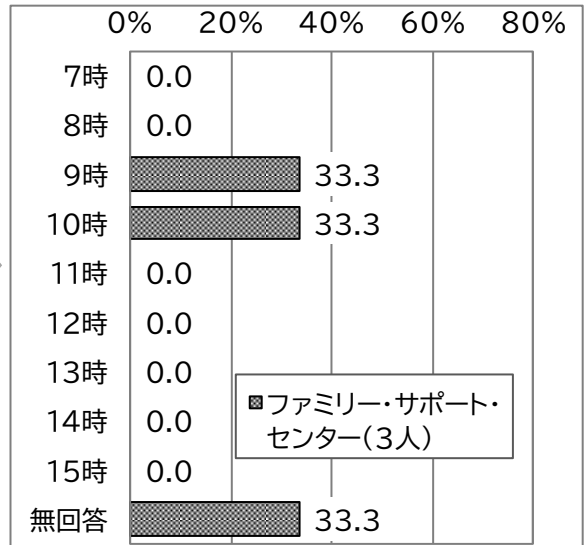


ファミリー・サポート・センターの利用開始時間と利用終了時間は以下のようになっています。

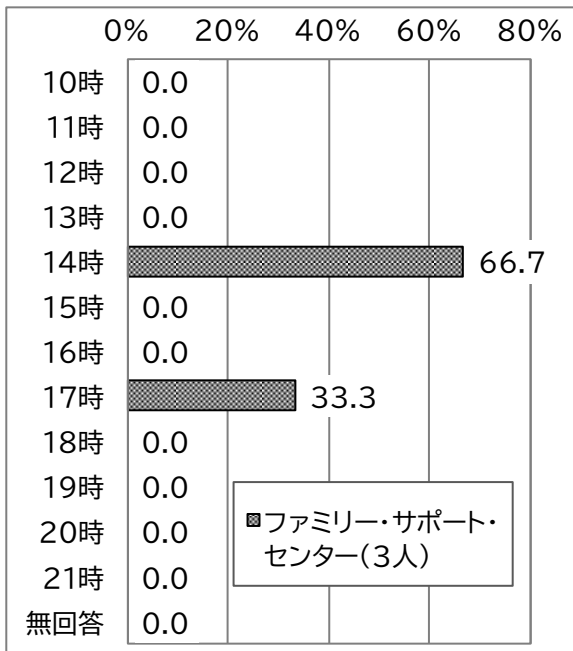
【利用開始時間】



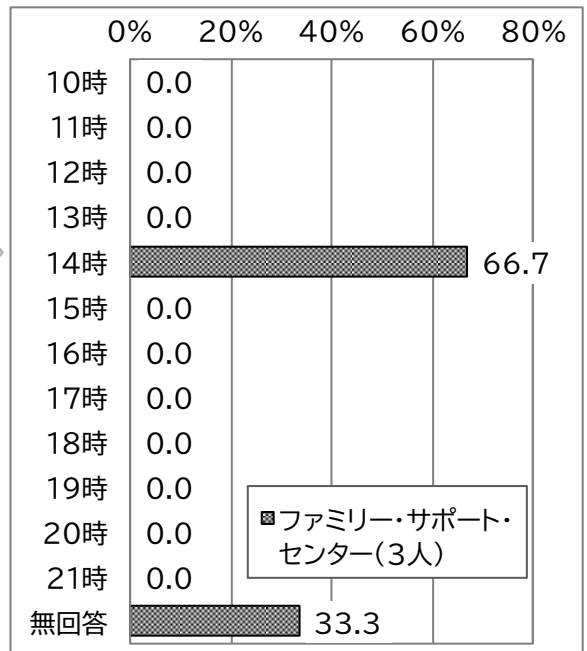
【希望開始時間】



【利用終了時間】

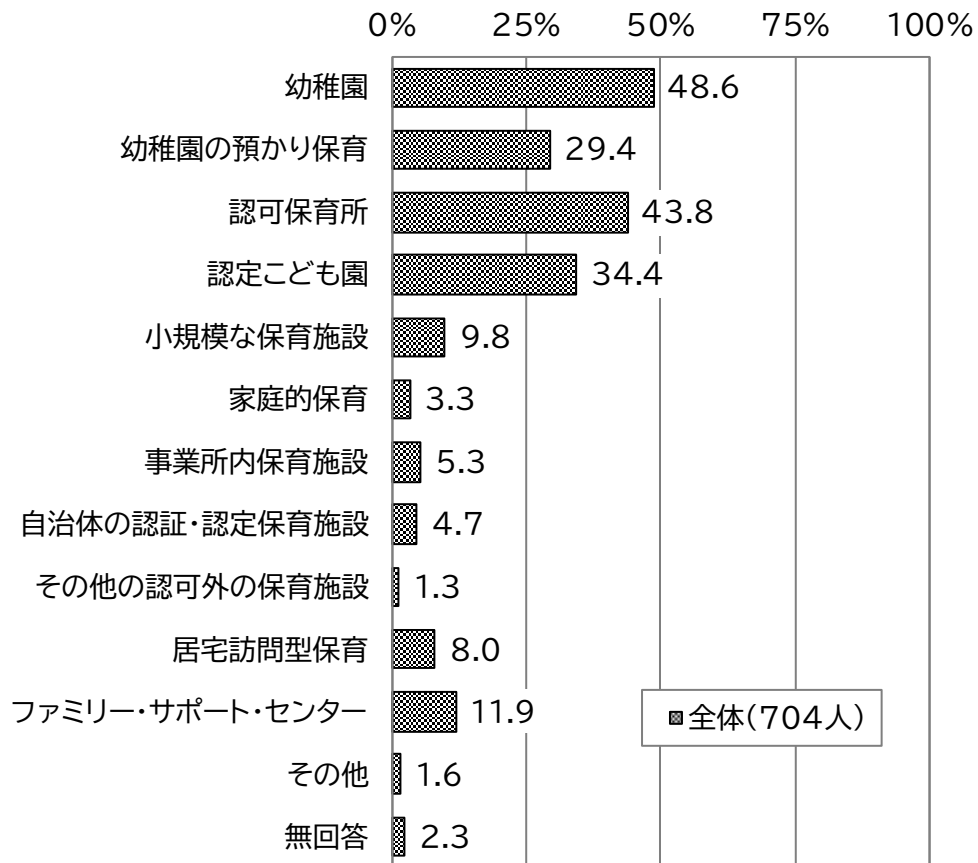


【希望終了時間】



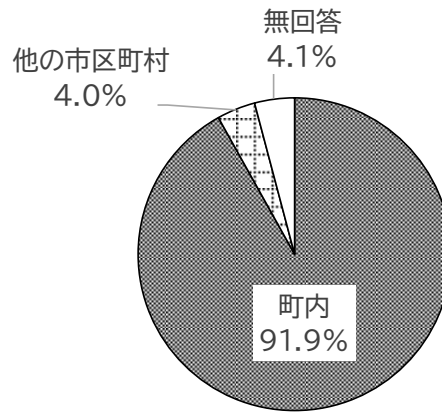
(2) 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望 (問19)

平日に利用したい定期的な教育・保育事業をみると、「幼稚園」(48.6%)で最も多くなっています。次いで「認可保育所」(43.8%)、「認定こども園」(34.4%)が続いています。



■教育・保育事業の利用を希望する場所(問19-1)

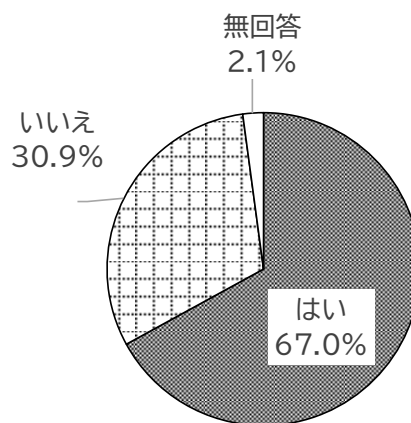
教育・保育事業の利用したい場所をみると、「町内」が91.9%と9割以上になっています。



全体(704人)

■幼稚園の強い希望(問19-2)

特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望するかについては、「はい」が67.0%となっています。



全体(188人)

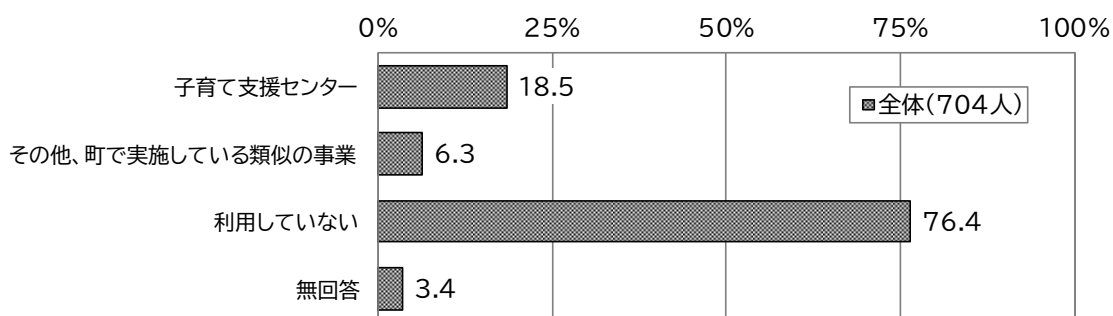
2 地域子育て支援事業の現状と今後の利用希望

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況（問20）

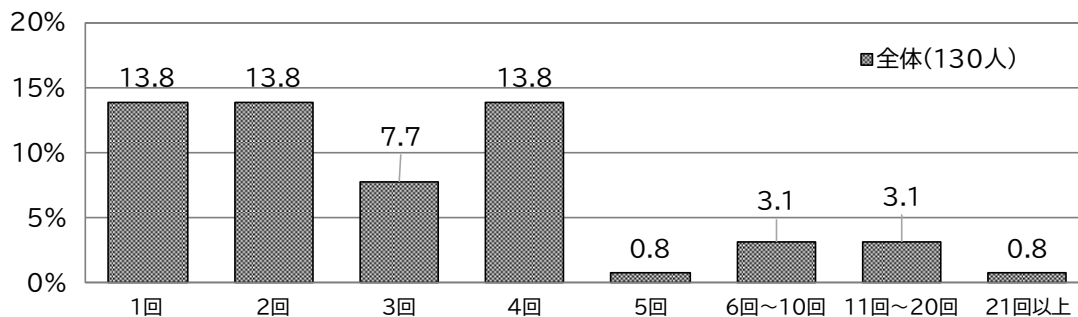
地域子育て支援拠点事業の利用状況は「利用していない」が76.4%と最も多く、「子育て支援センター」の利用は18.5%となっています。

子育て支援センターの1か月当たりの利用回数は、「1回」「2回」「4回」がともに13.8%で多くなっています。

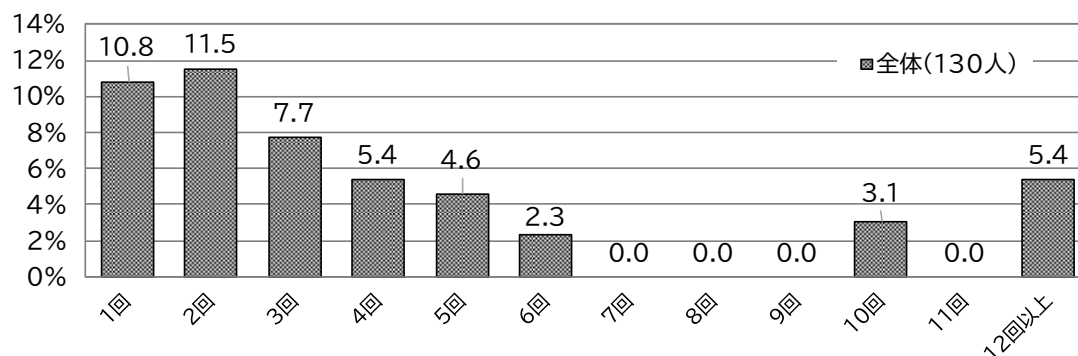
その他類似の事業の1か月当たりの利用回数は、「1回」が34.1%で最も多くなっています。



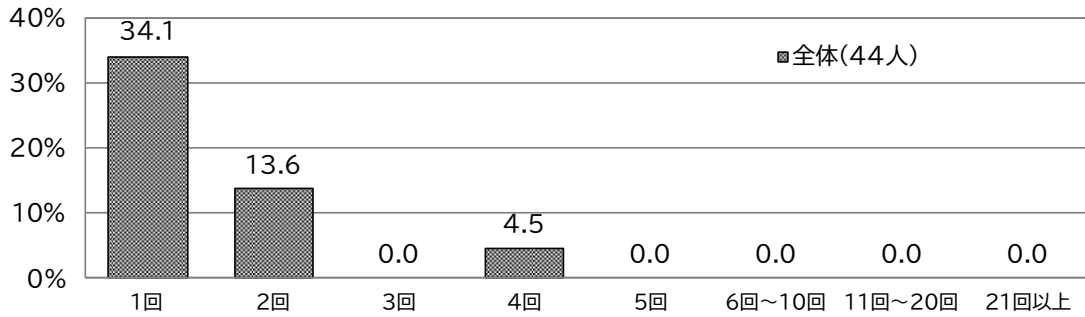
【子育て支援センターの1か月当たりの利用回数】



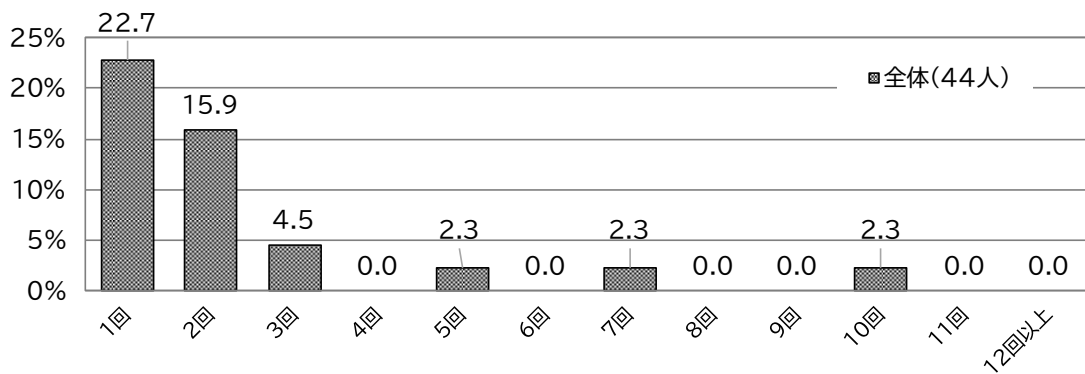
【子育て支援センターの1年当たりの利用回数】



【その他、町で実施している類似の事業の1か月当たりの利用回数】

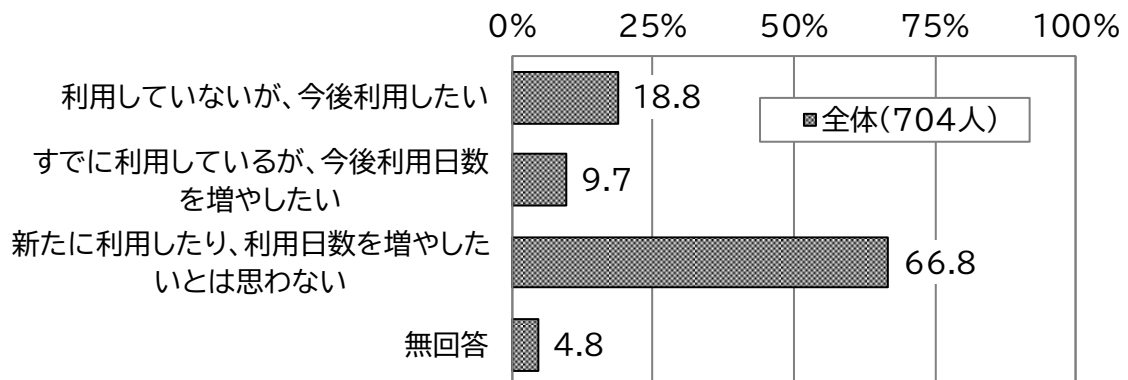


【その他、町で実施している類似の事業の1年当たりの利用回数】



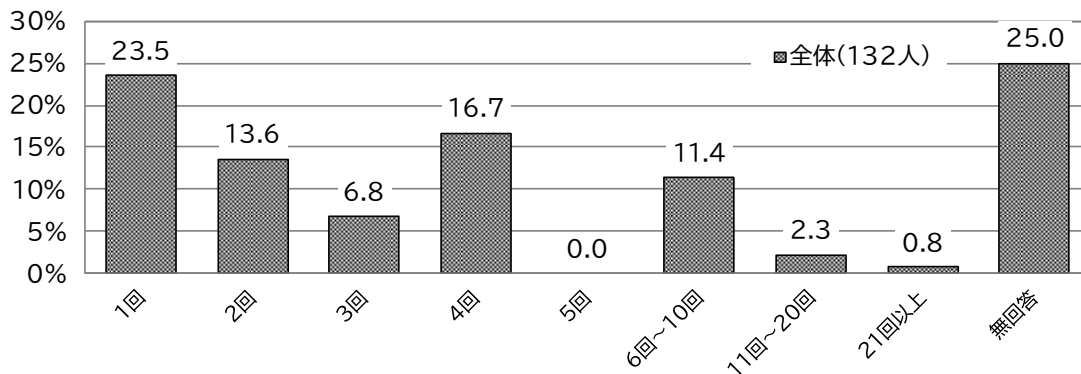
(2) 地域子育て支援拠点事業の利用意向 (問21)

地域子育て支援拠点事業の利用意向をみると、「利用していないが、今後利用したい」が18.8%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が9.7%となっており、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が66.8%と最も多く、現状維持の利用を希望していることが伺えます。

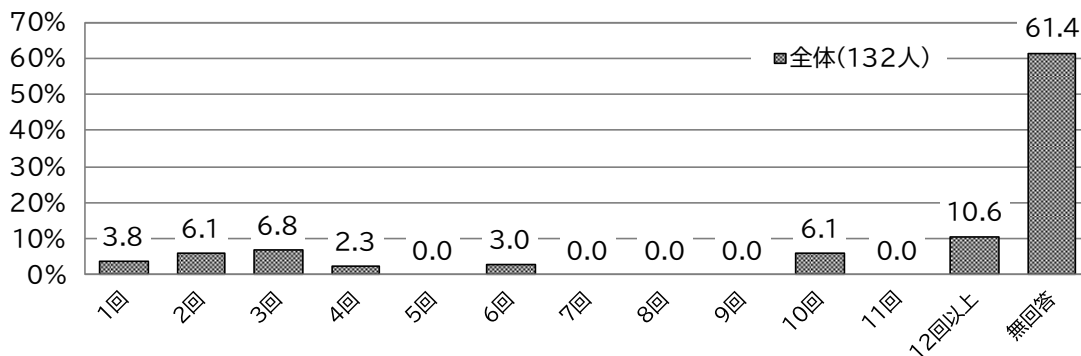


未利用者の希望新規利用回数は、1か月当たり「1回」(23.5%)が最も多くなっています。既利用者の希望増加利用回数は、1か月当たり「4回」(25.0%)、「2回」(13.2%)の順に多くなっています。

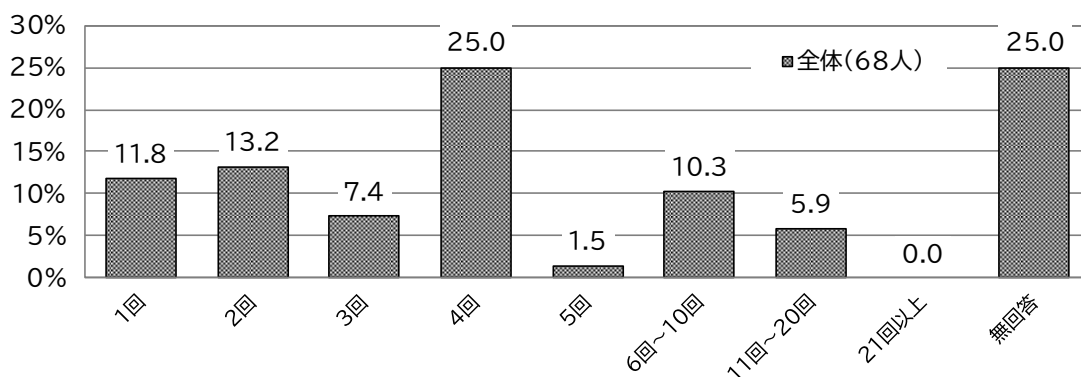
【子育て支援センターの1か月当たりの希望新規利用回数】



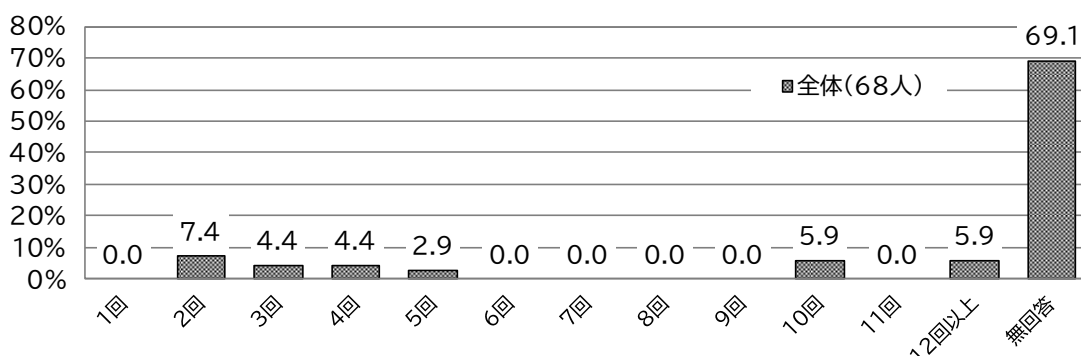
【子育て支援センターの1年当たりの希望新規利用回数】



【子育て支援センターの1か月当たりの希望増加利用回数】



【子育て支援センターの1年当たりの希望増加利用回数】



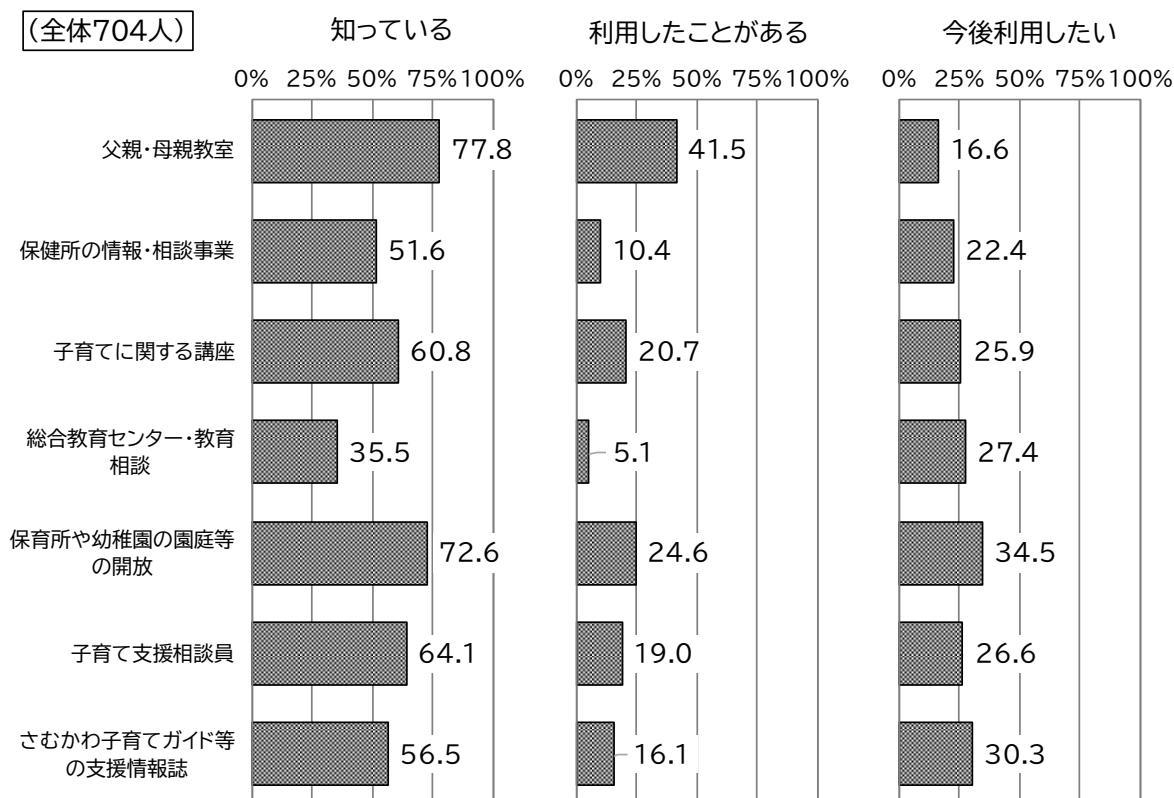
(3) 地域子育て支援事業の認知度・利用経験・今後の利用意向 (問22)

問22 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、町で実施されていないものもあります。

地域子育て支援事業の認知度は、「父親・母親教室」77.8%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が72.6%となっています。

利用したことがある事業は「父親・母親教室」が41.5%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が24.6%となっています。

今後の利用意向について、利用実績から利用意向が大きく増加しているのは「総合教育センター・教育相談」が5.1%から27.4%、「さむかわ子育てガイド等の支援情報誌」が16.1%から30.3%となっています。



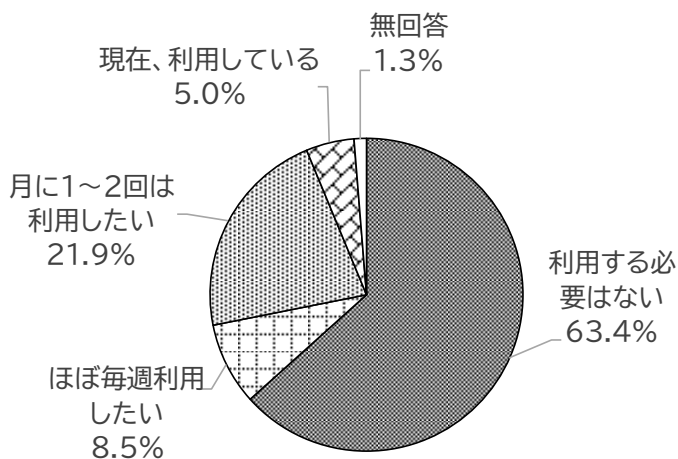
3 土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜・休日等の定期的な教育・保育事業の利用希望 (問23)

① 土曜日の利用希望

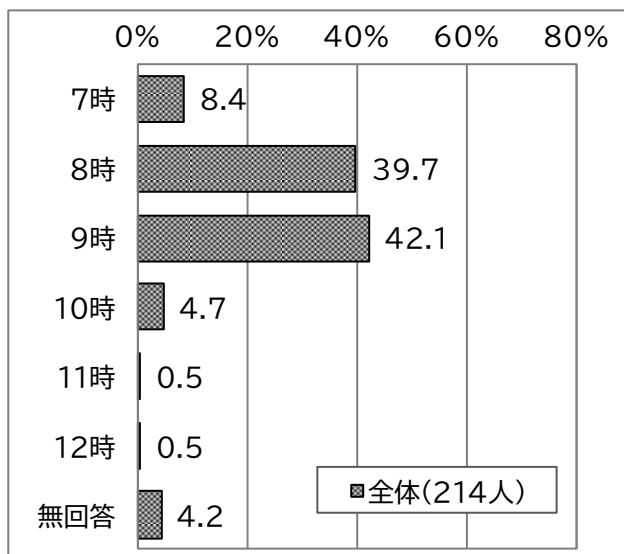
土曜日の利用希望は「月に1～2回は利用したい」(21.9%)、「ほぼ毎週利用したい」(8.5%)をあわせると、30.4%の人が利用を希望しています。

希望する開始時間は「9時」(42.1%)、「8時」(39.7%)、「7時」(8.4%)の順、終了時間は、「18時」(27.1%)、「17時」(24.3%)、「16時」(15.9%)の順に希望しています。

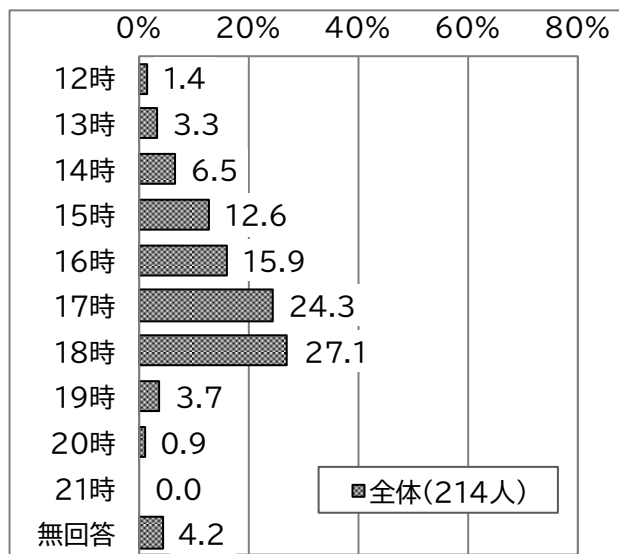


全体(704人)

【土曜日の希望利用開始時間】



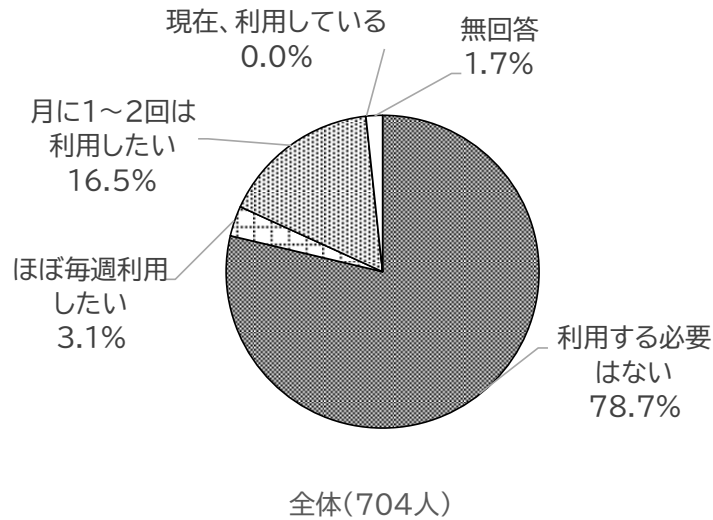
【土曜日の希望利用終了時間】



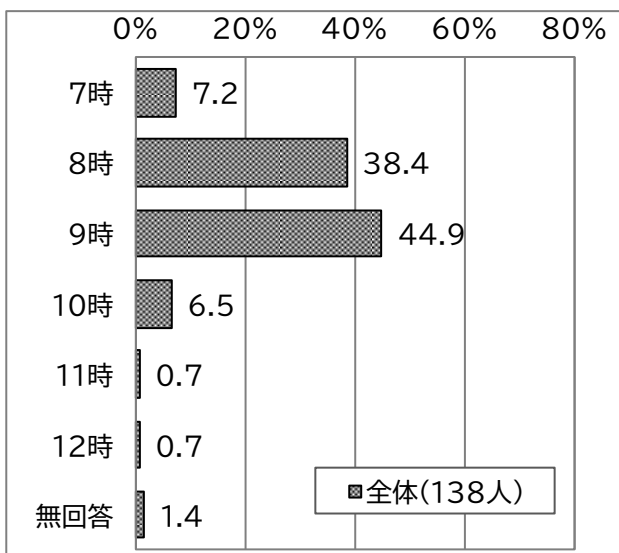
② 日曜・祝日の利用希望

日曜・祝日の利用希望は「月に1～2回は利用したい」(16.5%)、「ほぼ毎週利用したい」(3.1%)をあわせると、19.6%の人が利用を希望しています。

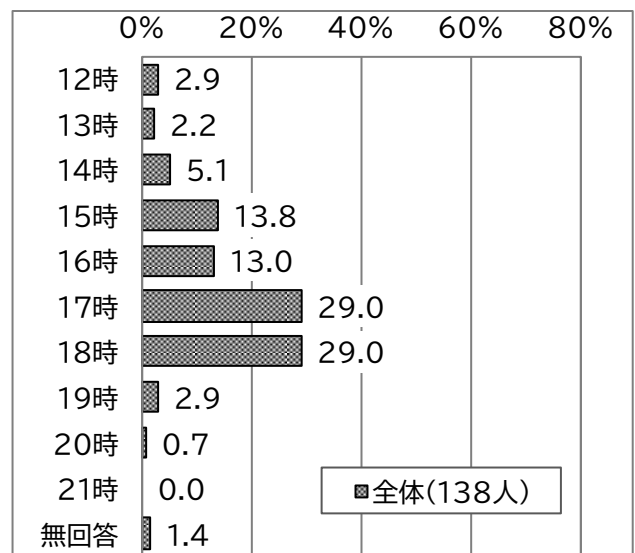
希望する開始時間は「9時」(44.9%)、「8時」(38.4%)、「7時」(7.2%)の順、終了時間は、「18時」と「17時」がともに29.0%、次いで「15時」(13.8%)の順に希望しています。



【日曜・祝日の希望利用開始時間】

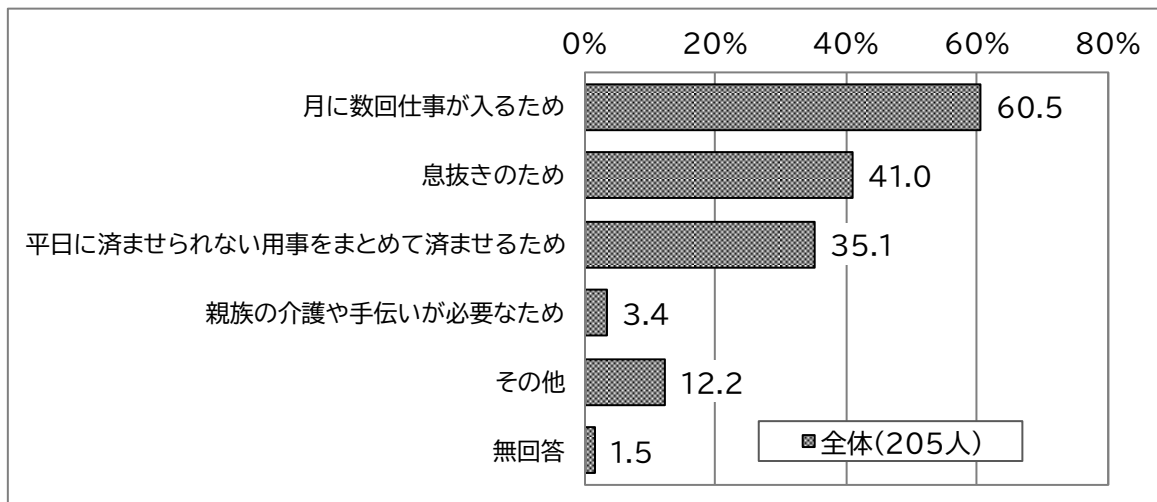


【日曜・祝日の希望利用終了時間】



■たまに利用したい理由(問23-1)

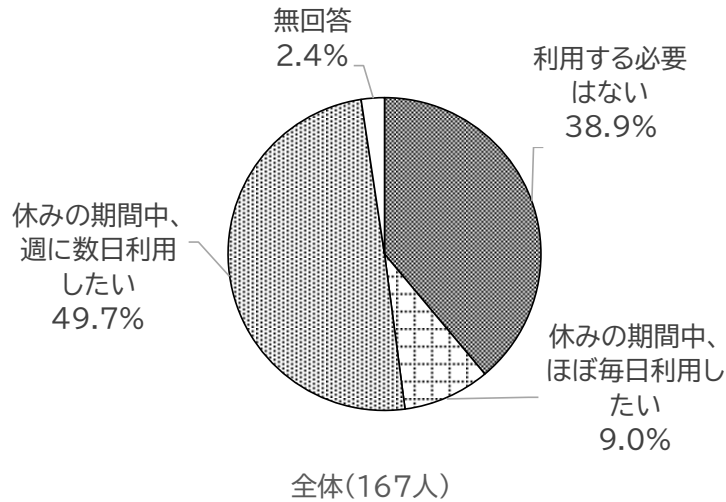
「月に1~2回は利用したい」と回答した人の理由をみると、「月に数回仕事が入るため」との回答が60.5%と最も多くなっています。



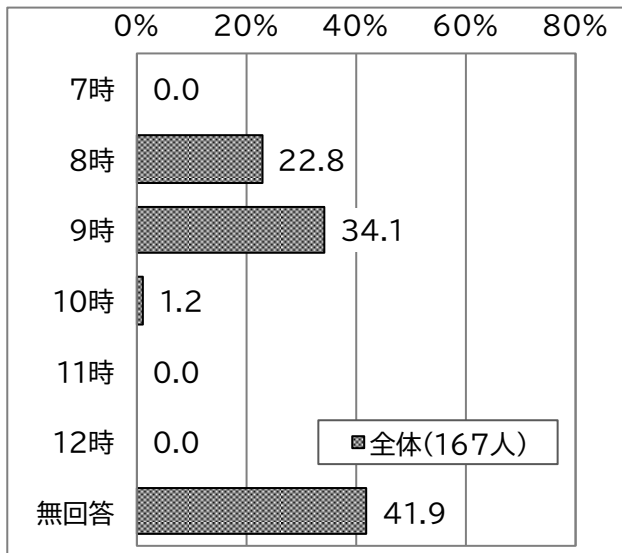
(2) 幼稚園利用者の長期休暇中の事業の利用希望 (問24)

長期休暇中において教育・保育事業の利用希望(幼稚園利用者)は「休みの期間中、週に数日利用したい」(49.7%)、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(9.0%)をあわせると、(58.7%)の人が利用を希望しています。

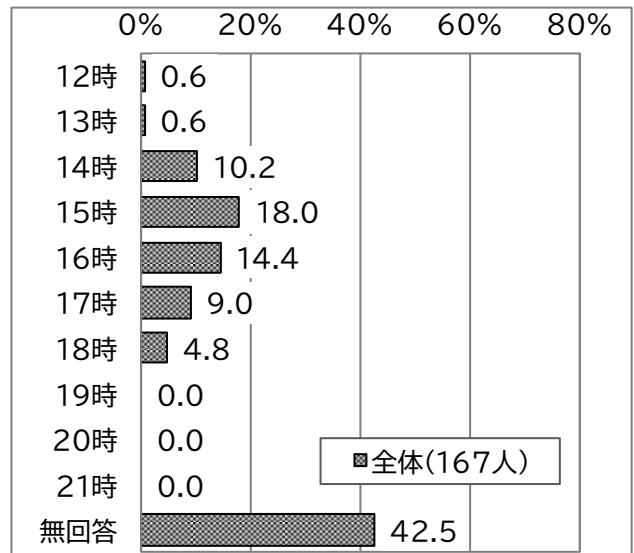
希望する開始時間は「9時」(34.1%)、「8時」(22.8%)、「10時」(1.2%)の順、終了時間は「15時」(18.0%)、「16時」(14.4%)、「14時」(10.2%)の順に希望しています。



【長期休暇中の希望利用開始時間】

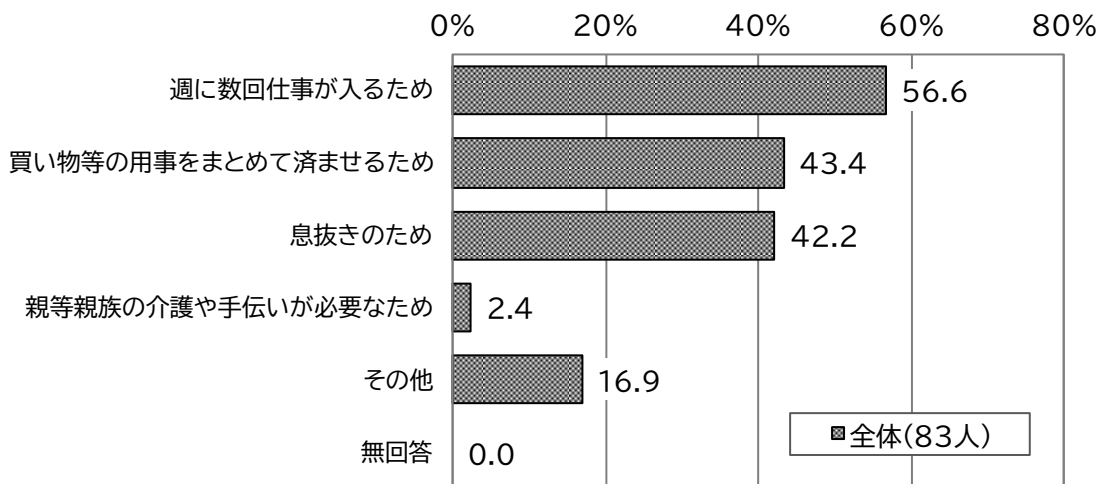


【長期休暇中の希望利用終了時間】



■たまに利用したい理由(問24-1)

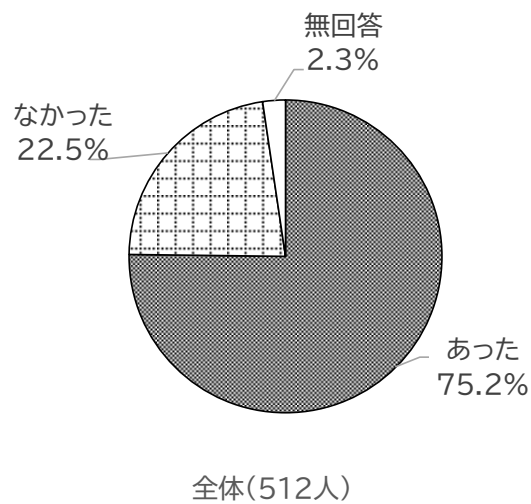
休暇期間中の教育・保育事業の利用希望で「週に数日利用したい」と回答した人の理由をみると、「週に数回仕事が入るため」との回答が56.6%と最も多くなっています。



4 病気の際の対応について

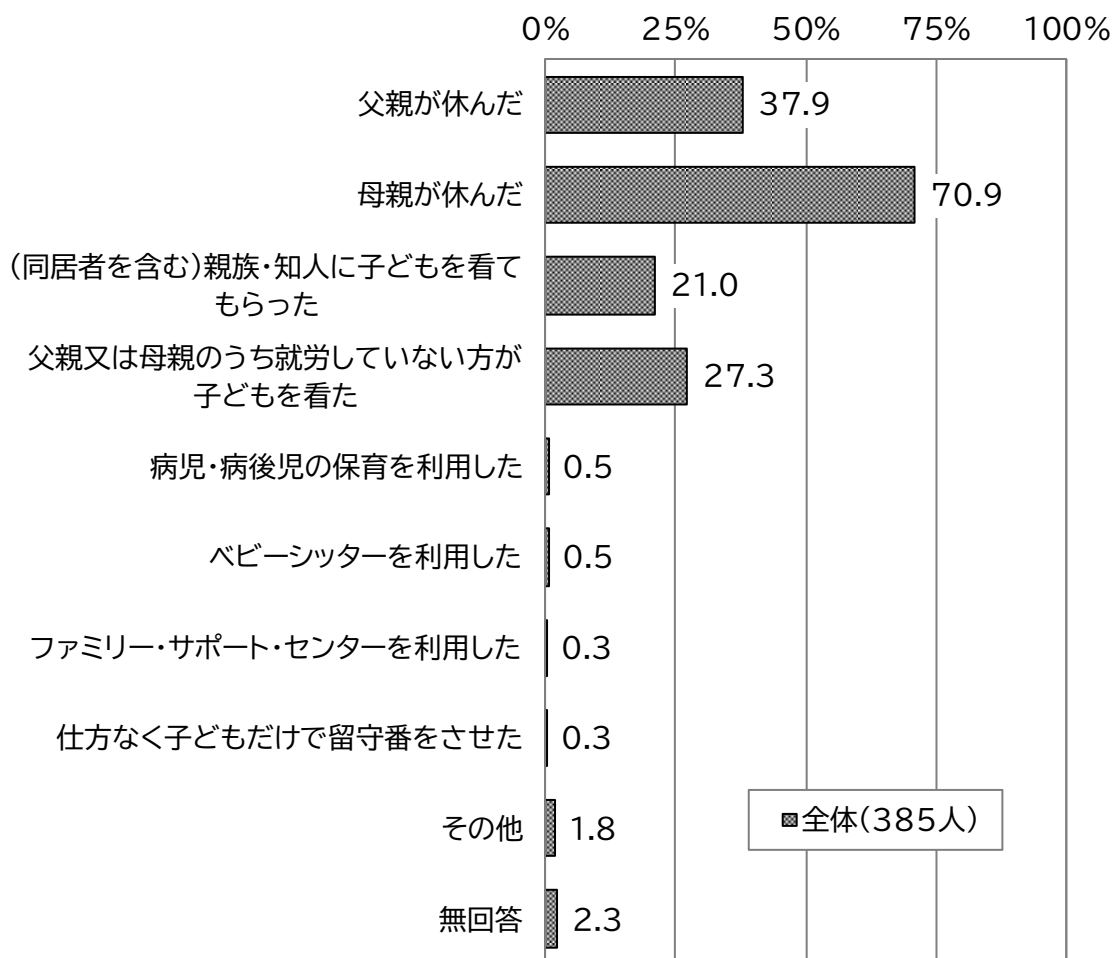
(1) 対処方法（問25）

平日の定期的な教育・保育事業を利用している人の、子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験については、「あった」とした人は75.2%となっているのに対し、「なかった」とした人は22.5%となっています。



■通常の教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法(問25-1)

子どもの病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法をみると、「母親が休んだ」(70.9%)が7割を占め最も多くなっています。次いで「父親が休んだ」(37.9%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」(27.3%)と続いています。

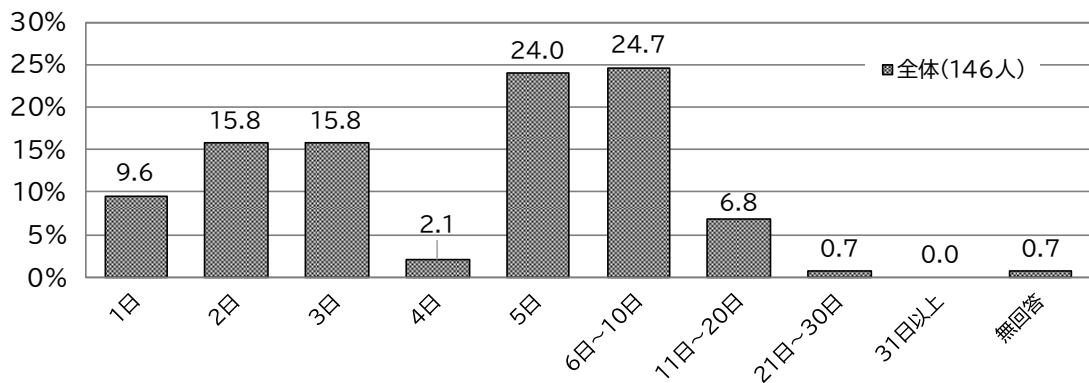


■対処方法ごとの日数

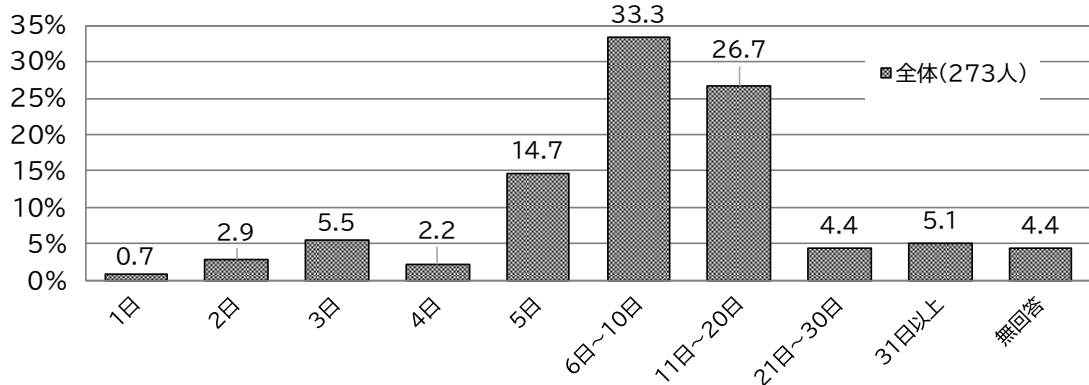
子どもの病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法ごとの日数をみると、父親が休んだ日数は「6日～10日」(24.7%)、「5日」(24.0%)の順、母親が休んだ日数は「6日～10日」(33.3%)、「11日～20日」(26.7%)の順に多くなっています。

(同居者を含む)親族・知人に預けた日数は「1日」「2日」「6日～10日」がともに 18.5%で最も多く、次いで「5日」(17.3%)の順、就労していない保護者が見た日数は「6日～10日」(27.6%)、「11日～20日」(24.8%)の順に多くなっています。

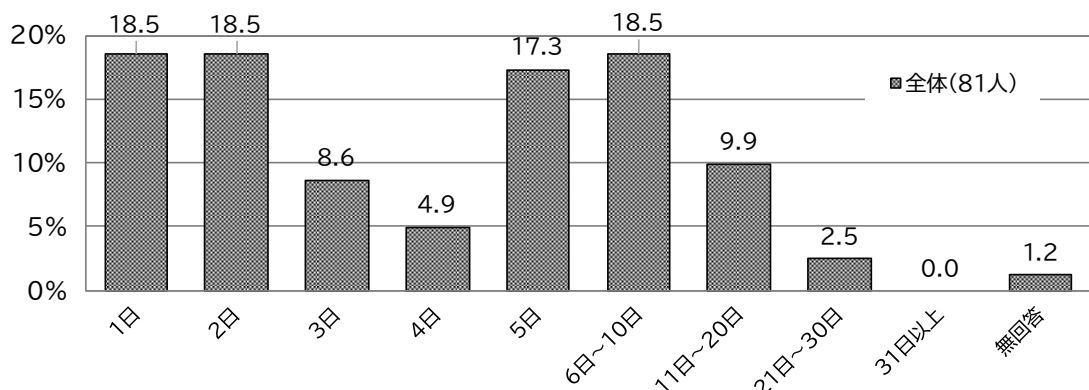
【父親が休んだ(年間)】



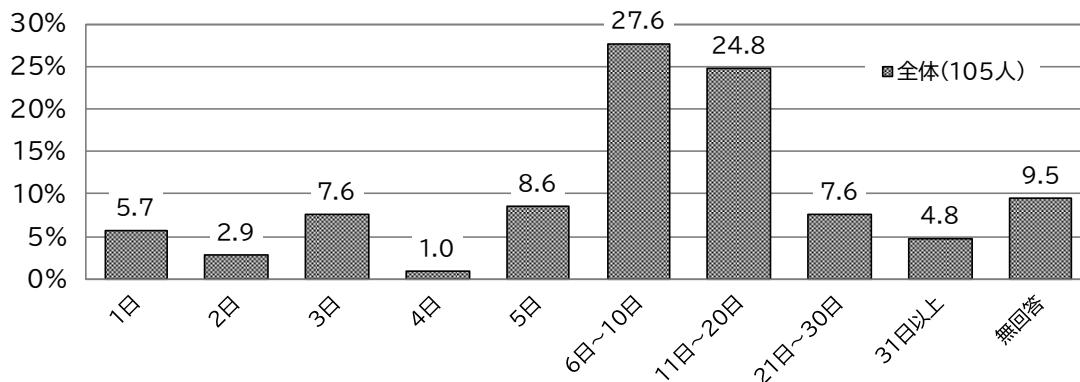
【母親が休んだ(年間)】



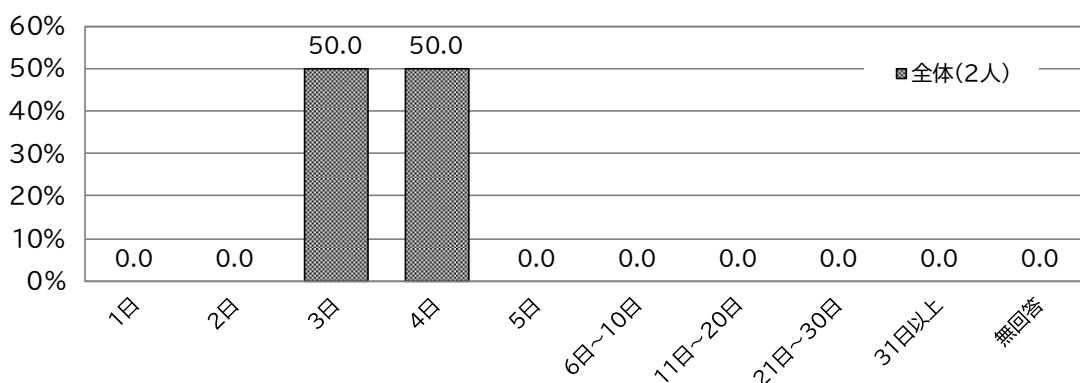
【(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった(年間)】



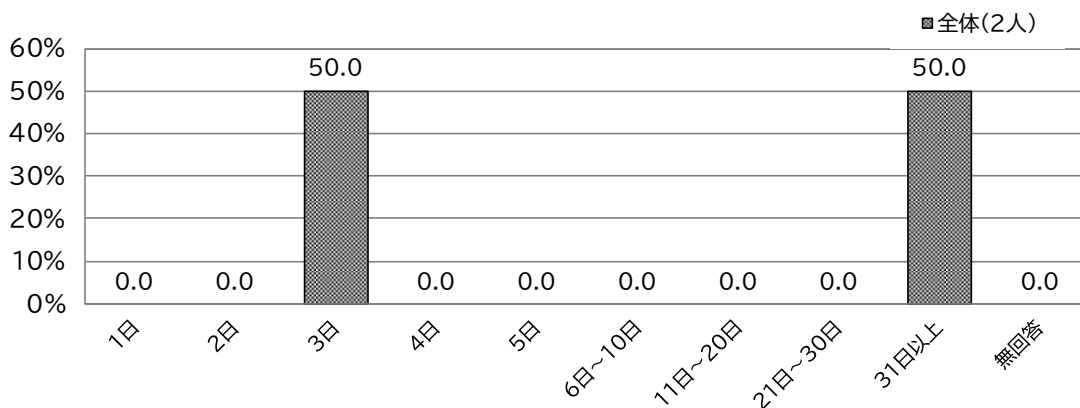
【父親・母親のうち就労していない方が子どもを見た(年間)】



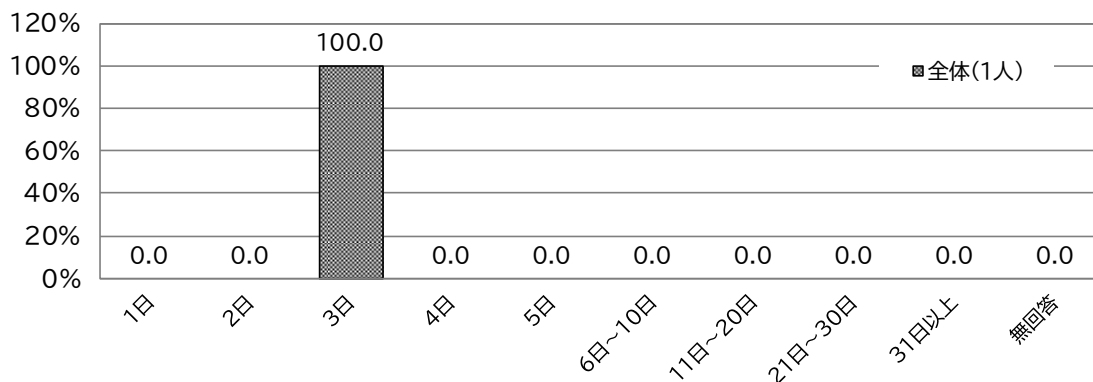
【病児・病後児の保育を利用した(年間)】



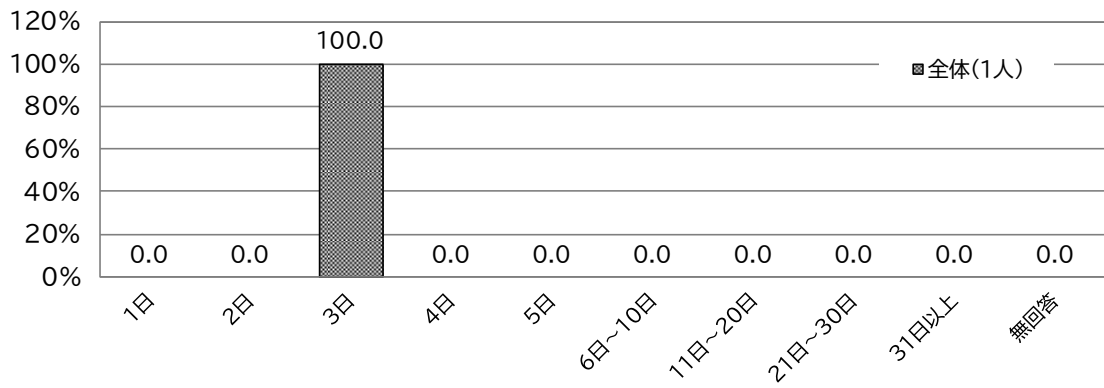
【ベビーシッターを利用した(年間)】



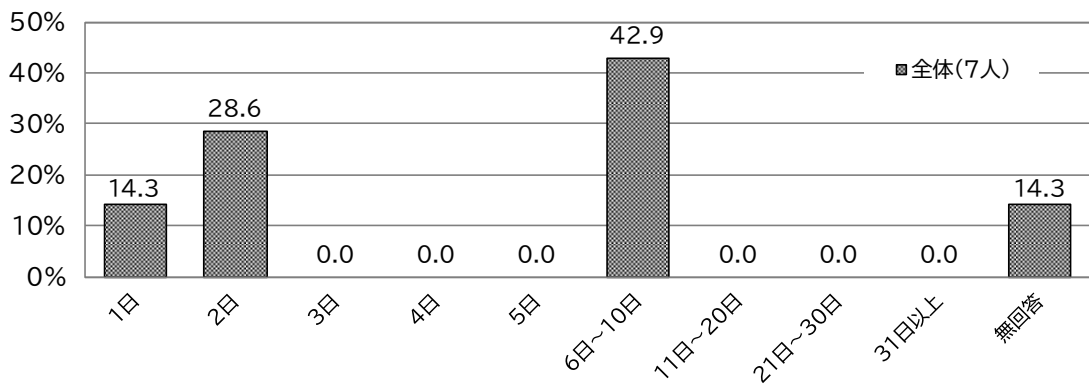
【ファミリー・サポート・センターを利用した(年間)】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた(年間)】



【その他(年間)】

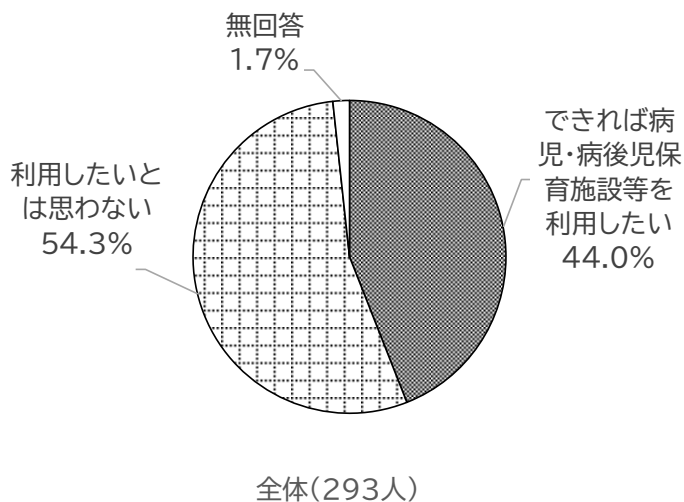


(2) 保育施設等の利用

■病児・病後児のための保育施設等の利用意向(問25-2)

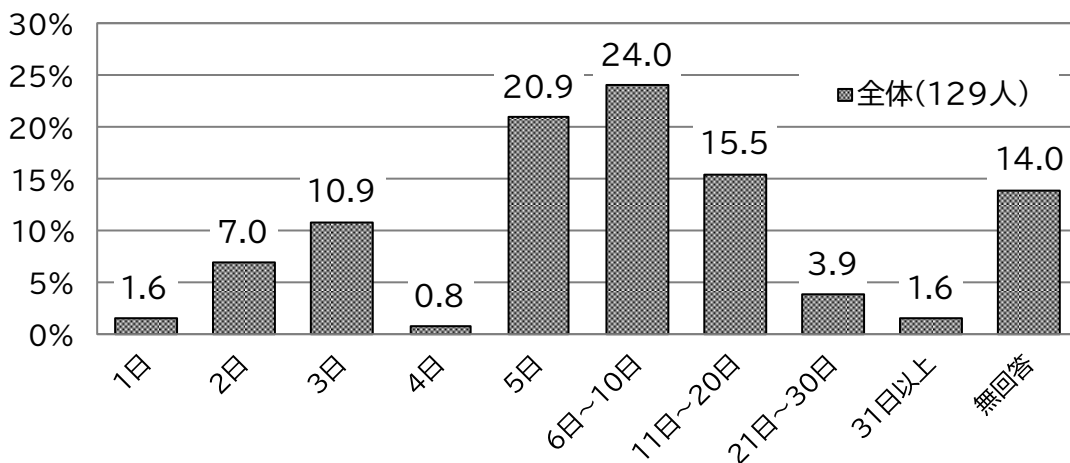
子どもの病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法で、「母親が休んだ」か「父親が休んだ」と回答した人の病児・病後児のための保育施設等の利用意向をみると、「利用したいとは思わない」とした人が 54.3%となっています。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」とした人は 44.0%となっています。



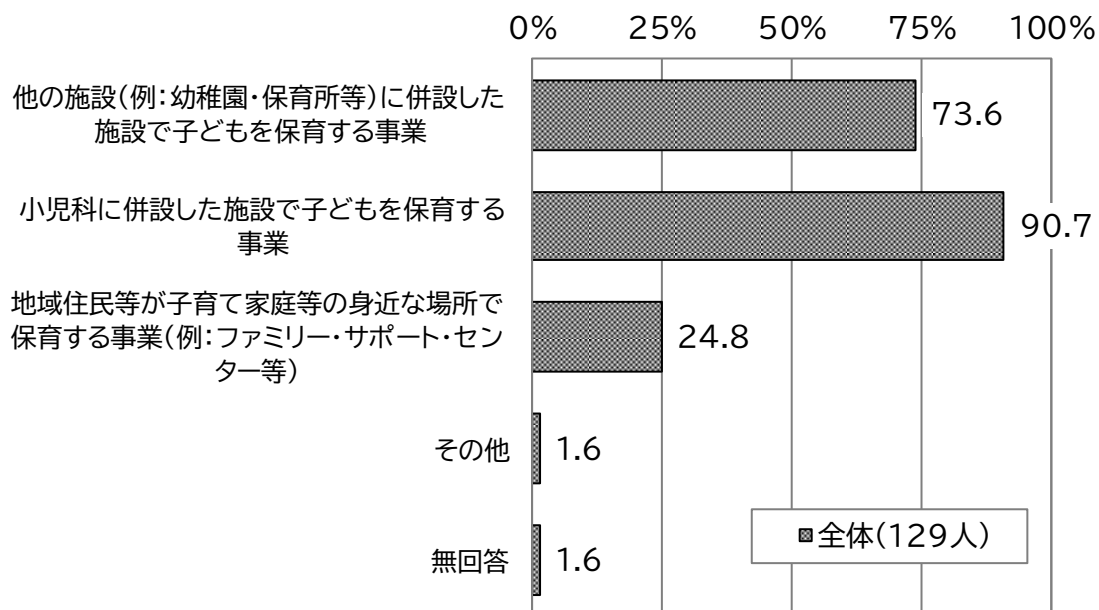
■希望利用日数

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人の希望利用日数は、「6日～10日」が 24.0%で最も多く、次いで「5日」(20.9%)となっています。



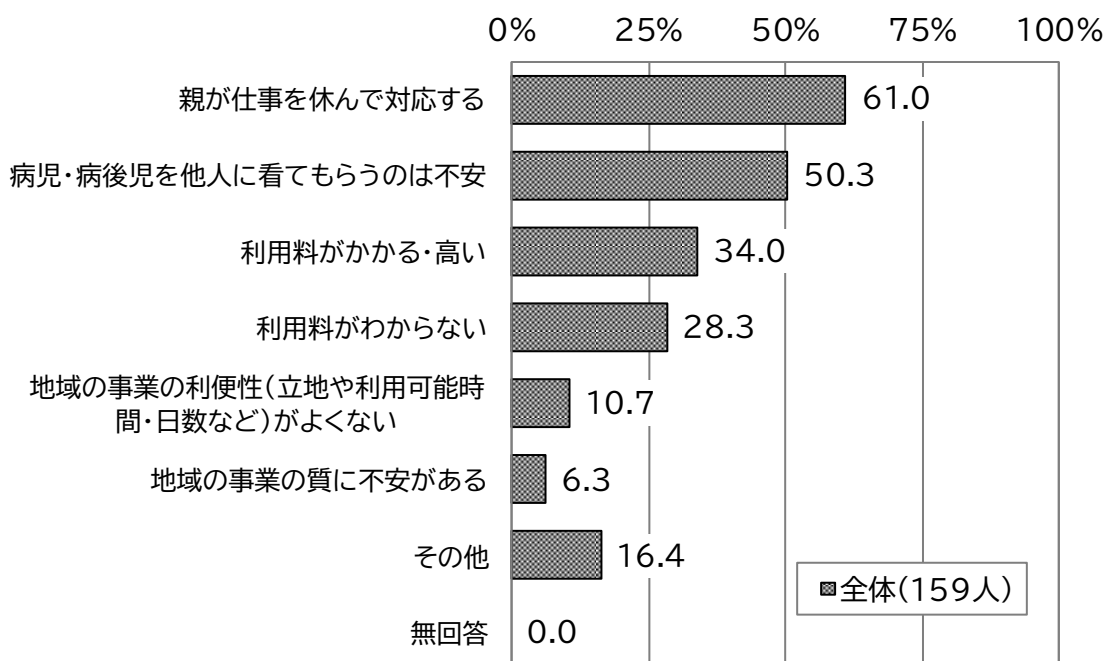
■病児・病後児のための保育施設等の望ましい事業形態(問25-3)

病児・病後児のための保育施設等の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(90.7%)、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」(73.6%)の順に多くなっています。



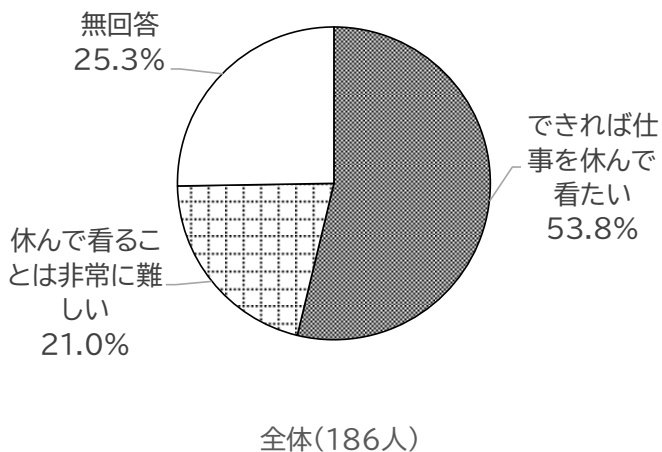
■病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由(問25-4)

病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」(61.0%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(50.3%)、「利用料がかかる・高い」(34.0%)の順に多くなっています。



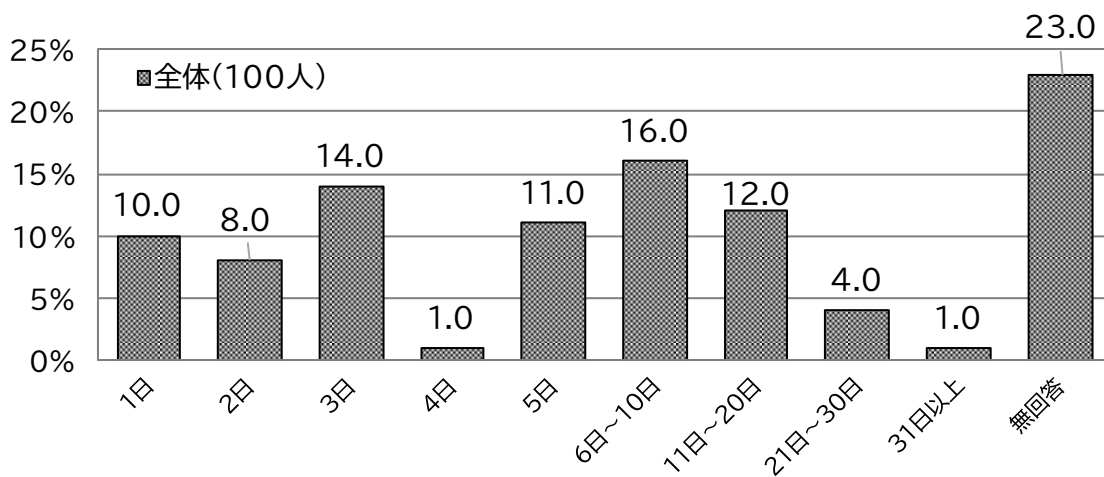
■「父母が休んで看たい」意向(問25-5)

父母が休む以外の対処方法を選んだ人の「父母が休んで看たい」という意向をみると、「できれば仕事を休んで看たい」との回答は53.8%と半数以上になっています。



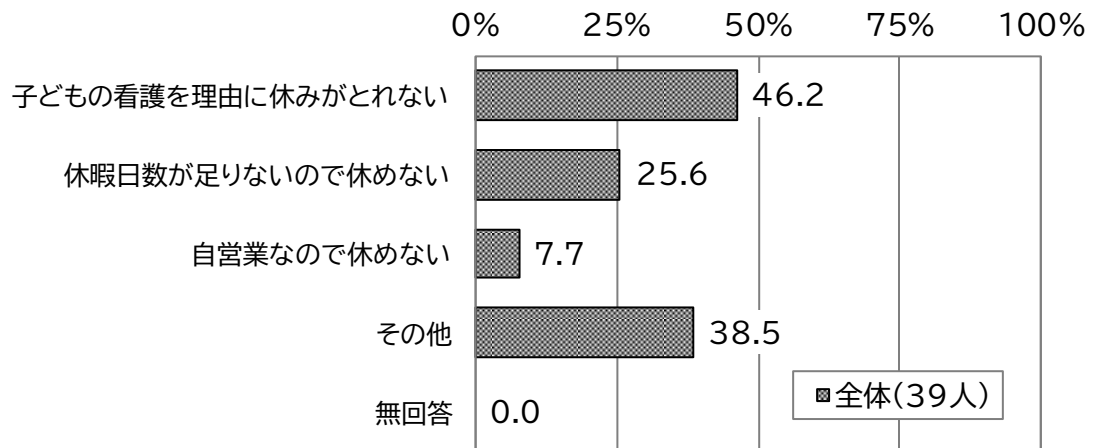
■仕事を休んで看たい希望日数(年間)

仕事を休んで看たい希望日数としては、「6日～10日」が16.0%で最も多く、次いで「3日」(14.0%)、「11日～20日」(12.0%)の順となっています。



■休んで見ることは非常に難しい理由(問25-6)

休んで見ることは非常に難しい理由としては、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が46.2%で最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」(25.6%)、「自営業なので休めない」(7.7%)の順となっています。



5 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況について

(1) 保護者の私用等で不定期的に利用している事業（問26）

保護者の私用等で不定期的に利用している事業をみると、「利用していない」とした人が83.5%と多数を占めています。

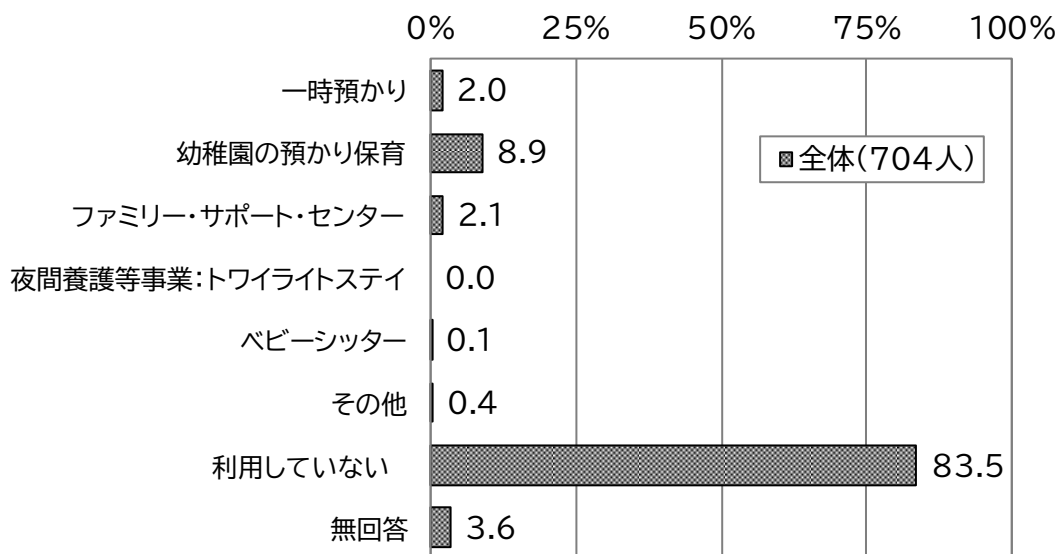
利用している事業では、「幼稚園の預かり保育」が8.9%、「ファミリー・サポート・センター」が2.1%、「一時預かり」が2.0%となっています。

事業ごとに利用日数をみると、一時預かりは「2日」(21.4%)、「3日」「5日」「11日～20日」(各14.3%)の順に多くなっています。

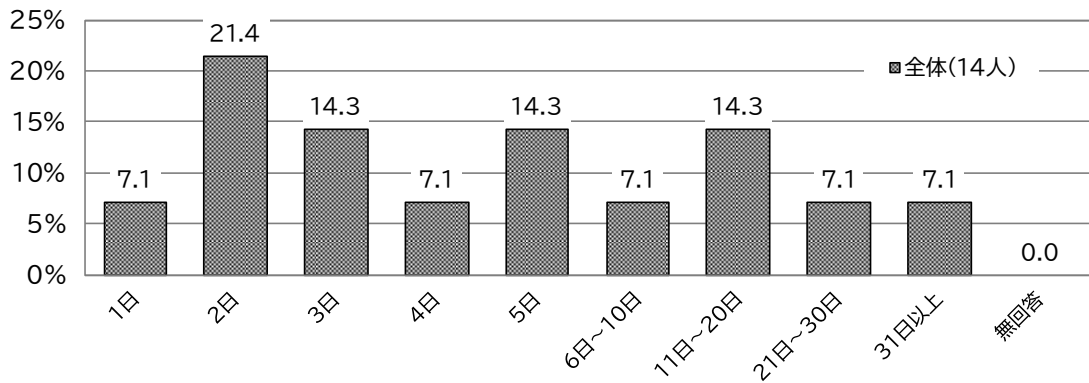
幼稚園の預かり保育は「6日～10日」(22.2%)、「11日～20日」(17.5%)、「5日」(15.9%)の順に多くなっています。

ファミリー・サポート・センターは「1日」(26.7%)、「2日」「3日」(各20.0%)の順に多くなっています。

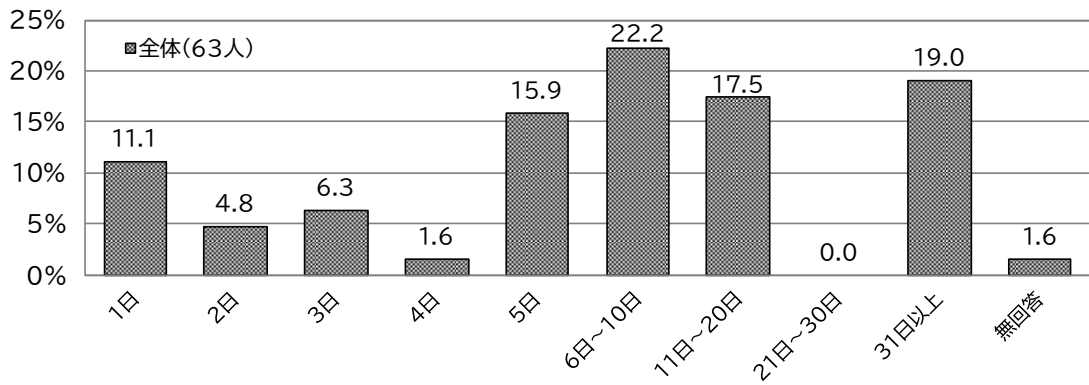
ベビーシッターは「11日～20日」(100.0%)、その他は「11日～20日」「21日～30日」(各33.3%)となっています。



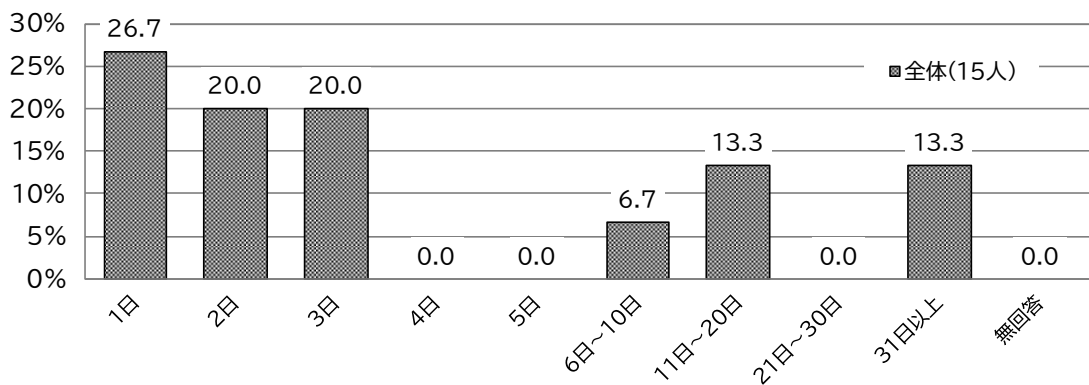
【一時預かり(年間)】



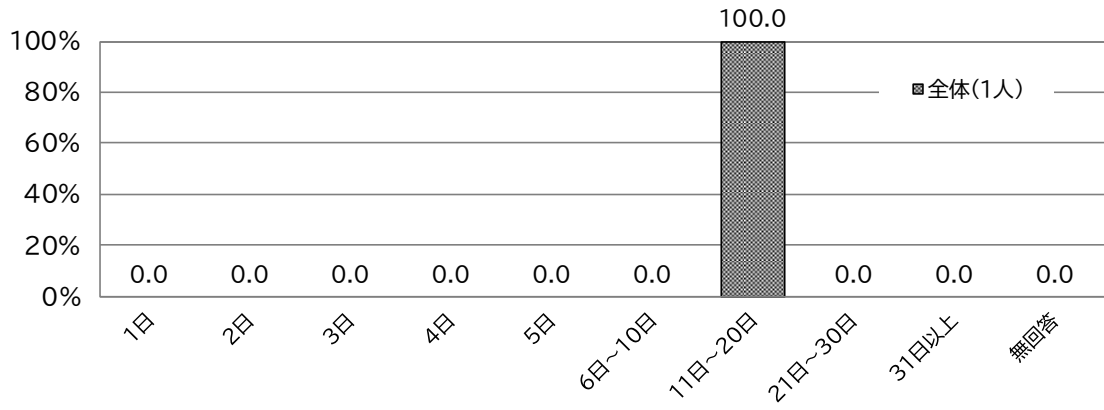
【幼稚園の預かり保育(年間)】



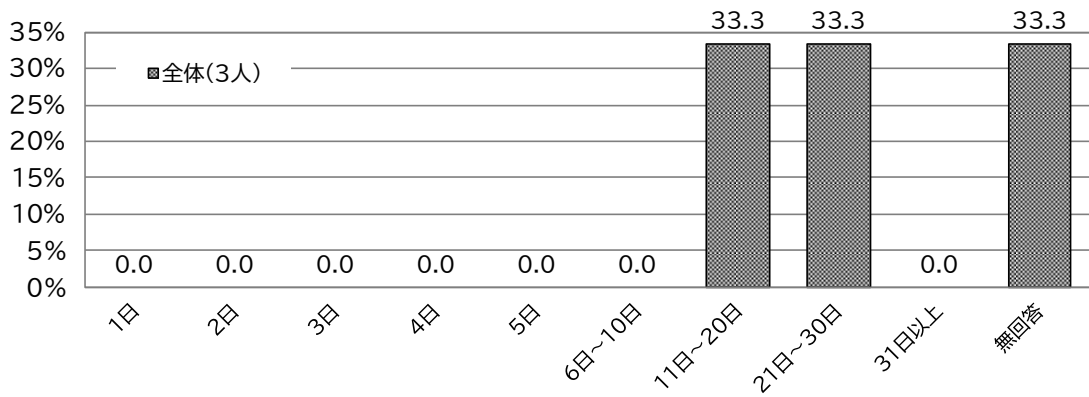
【ファミリー・サポート・センター(年間)】



【ベビーシッター(年間)】

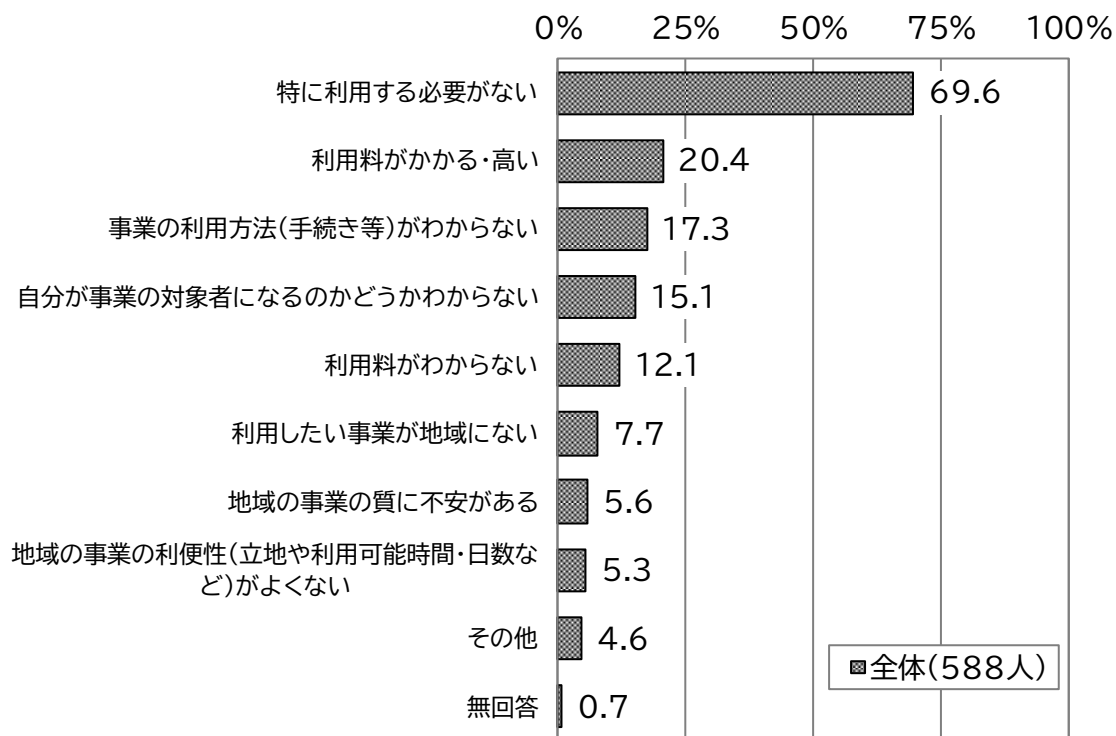


【その他(年間)】



■保護者の私用等で不特定の事業を利用していない理由(問26-1)

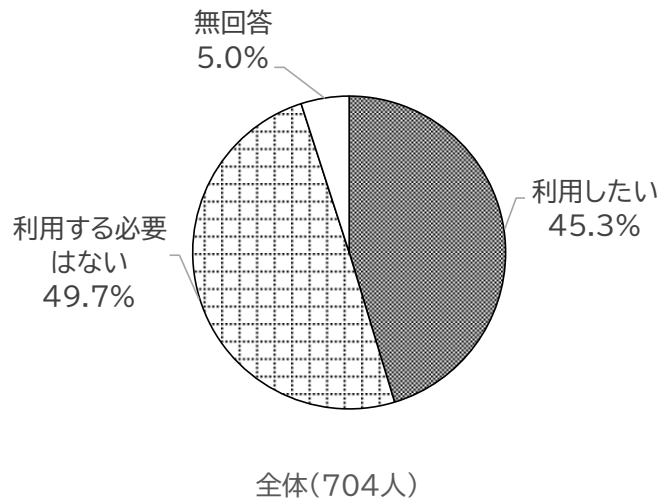
保護者の私用等で不特定の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が69.6%と約7割で最も多くなっています。次いで「利用料がかかる・高い」(20.4%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(17.3%)と続いています。



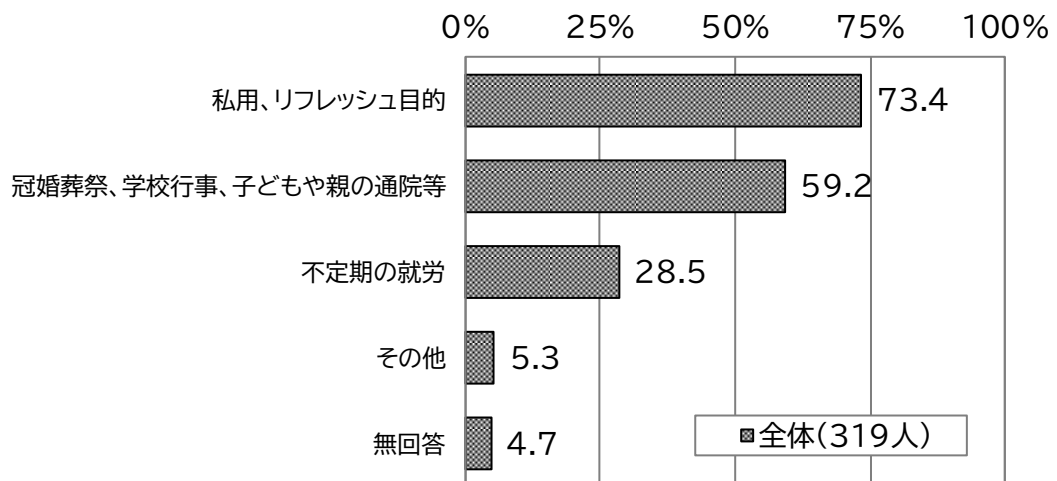
(2) 不定期の教育・保育事業の利用意向（問27）

不定期の教育・保育事業の利用意向については、「利用する必要はない」人が49.7%、「利用したい」が45.3%となっています。

「利用したい」人の利用目的をみると、「私用、リフレッシュ目的」が73.4%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が59.2%となっています。



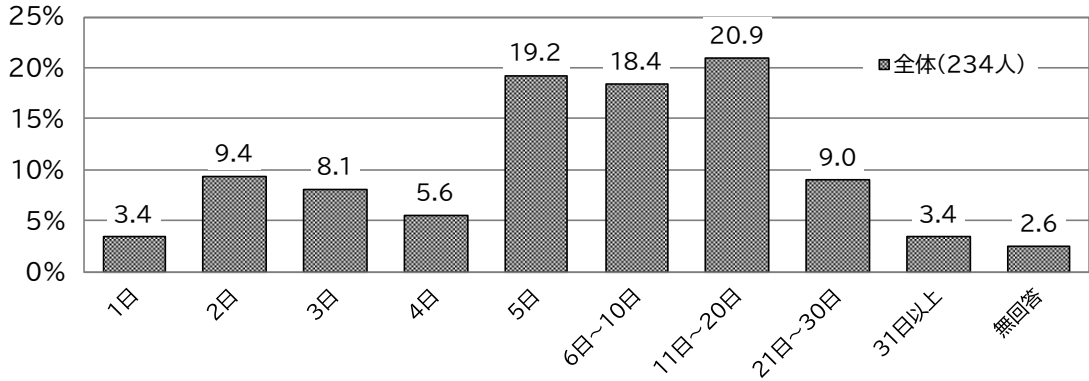
【利用目的】



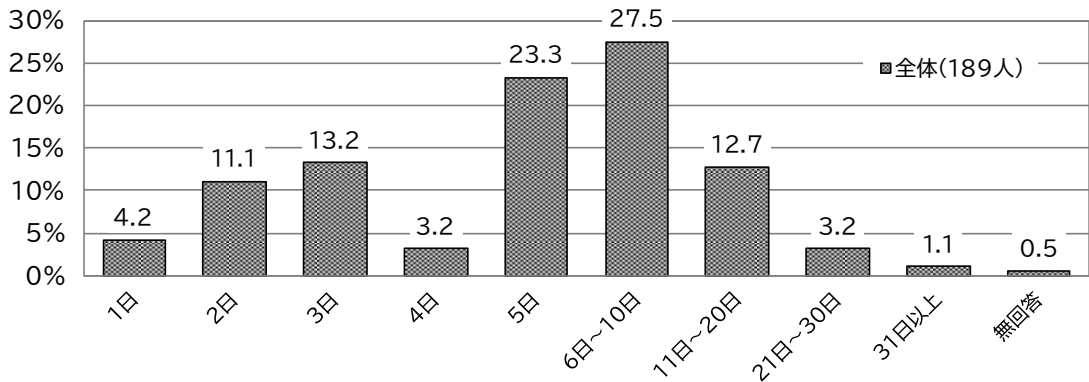
■希望利用日数

利用目的ごとの希望利用日数をみると、“私用、リフレッシュ目的”では「11日～20日」、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」では「6日～10日」、「不定期の就労」では「31日以上」が最も多くなっています。

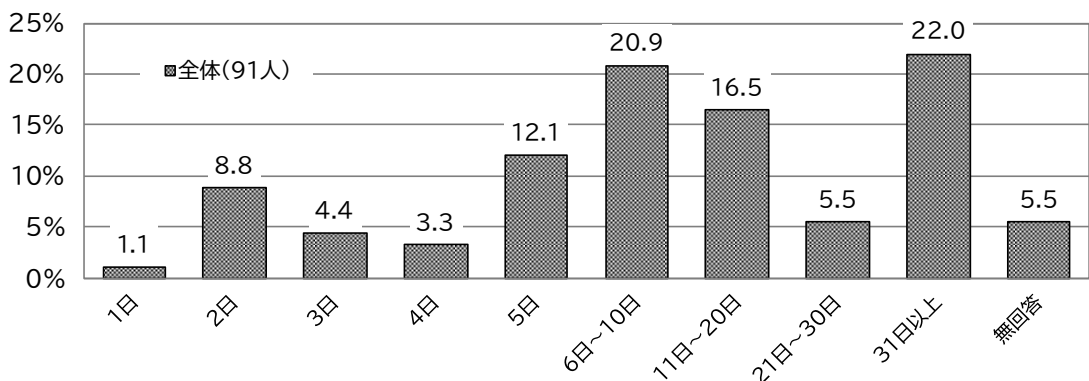
【私用、リフレッシュ目的(年間)】



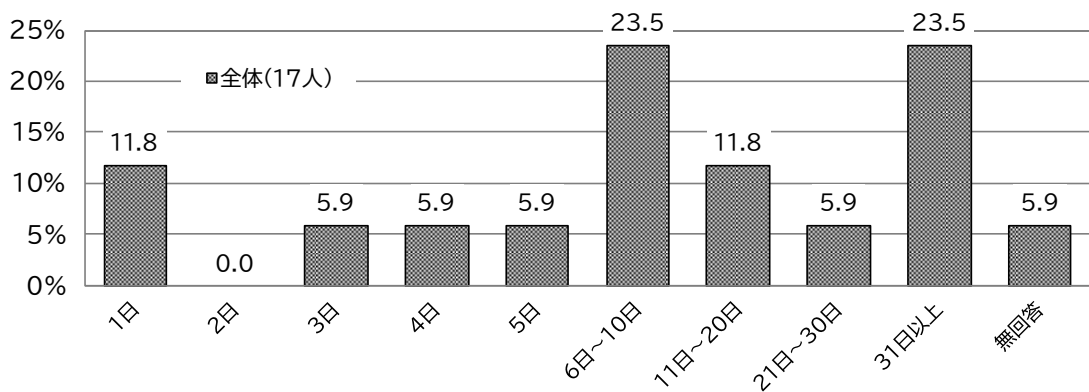
【冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等(年間)】



【不定期の就労(年間)】

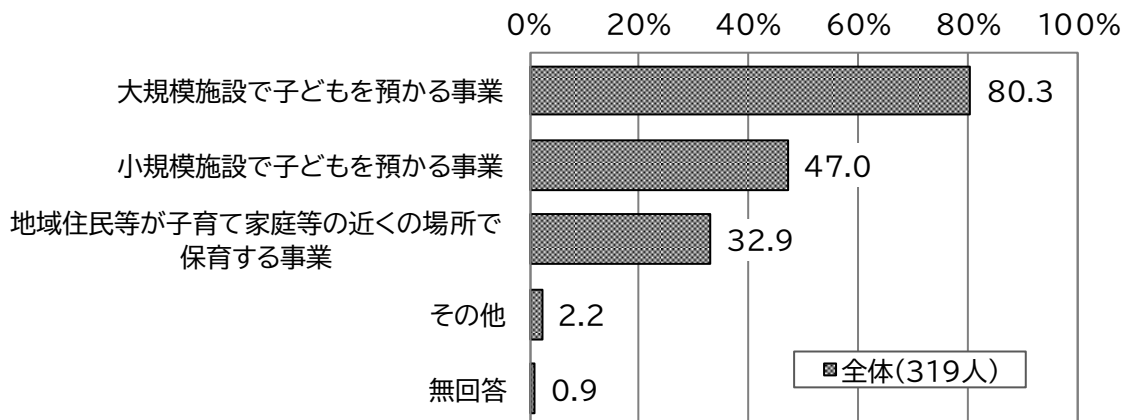


【その他(年間)】



(3) 子どもを預ける場合の望ましい事業形態 (問27-1)

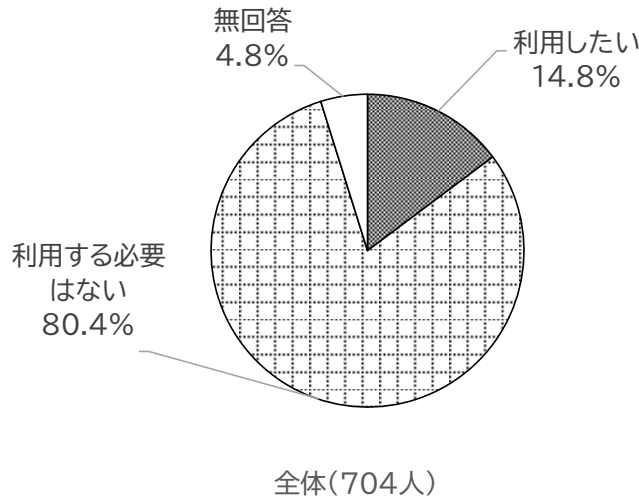
子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると、「大規模施設で子どもを預かる事業」が80.3%と8割を占めています。次いで「小規模施設で子どもを預かる事業」(47.0%)、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」(32.9%)となっています。



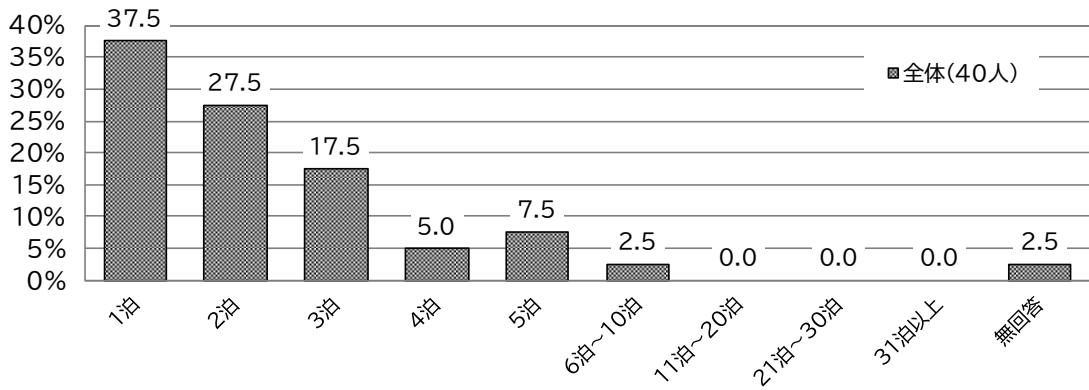
(4) 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望（問28）

短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用意向をみると、「利用する必要はない」とした方が80.4%と8割になっています。「利用したい」とした方は14.8%となっています。

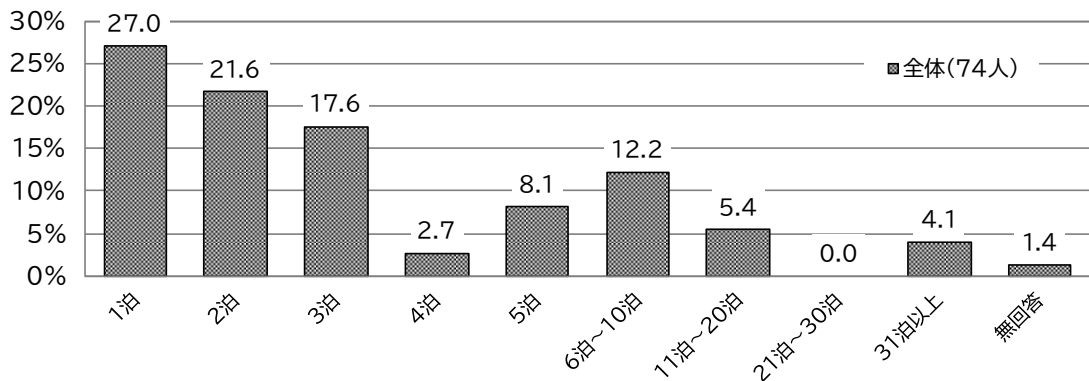
利用機会ごとの希望利用泊数をみると、どの利用機会でも「1泊」が最も多くなっています。



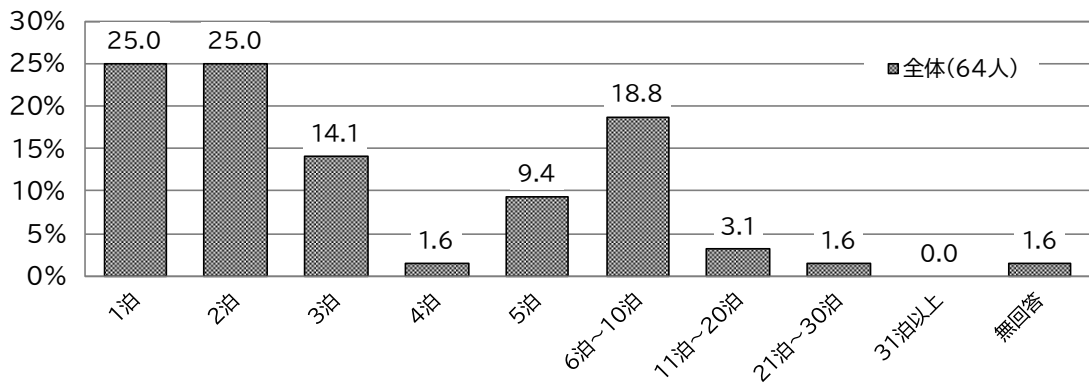
【冠婚葬祭(年間)】



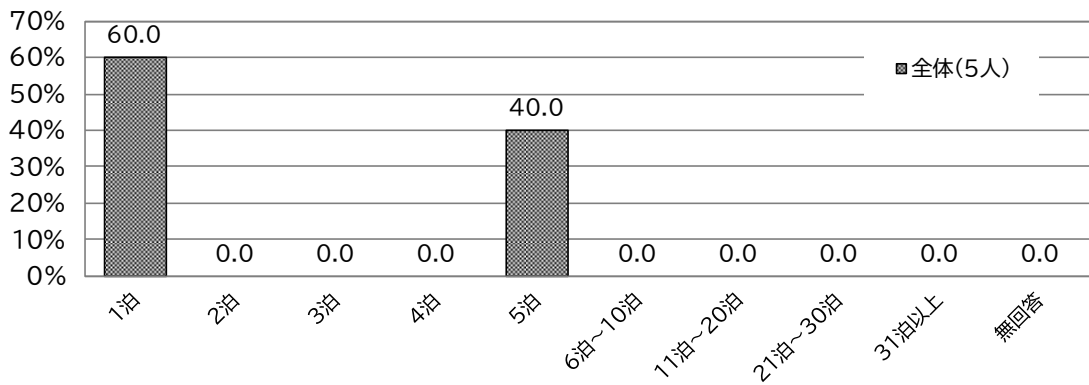
【保護者や家族の育児疲れ・不安(年間)】



【保護者や家族の病気(年間)】



【その他(年間)】

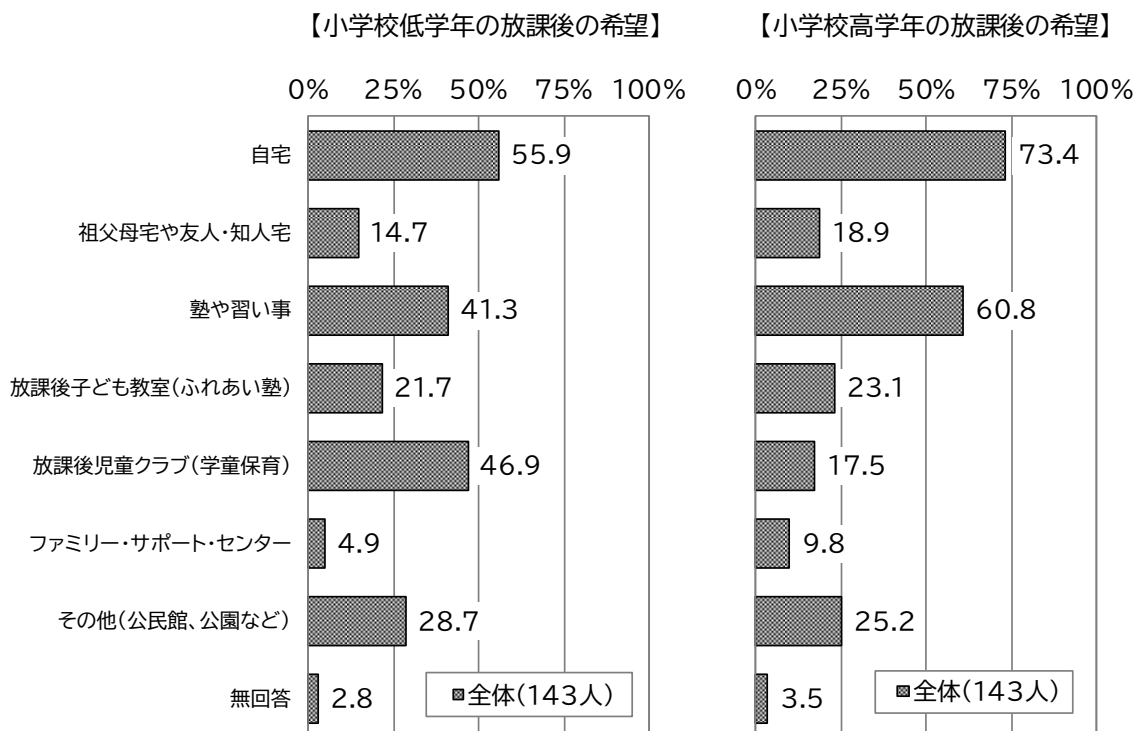


6 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 放課後の過ごし方の希望 (問29、問30)

放課後の過ごし方の希望をみると、小学校低学年になった場合は「自宅」(55.9%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(46.9%)、「塾や習い事」(41.3%)、「その他(公民館、公園など)」(28.7%)の順に希望しています。

小学校高学年になった場合は「自宅」(73.4%)、「塾や習い事」(60.8%)、「その他(公民館、公園など)」(25.2%)、「放課後子ども教室(ふれあい塾)」(23.1%)となり、「放課後児童クラブ(学童保育)」は(17.5%)で 29.4 ポイント減少しています。

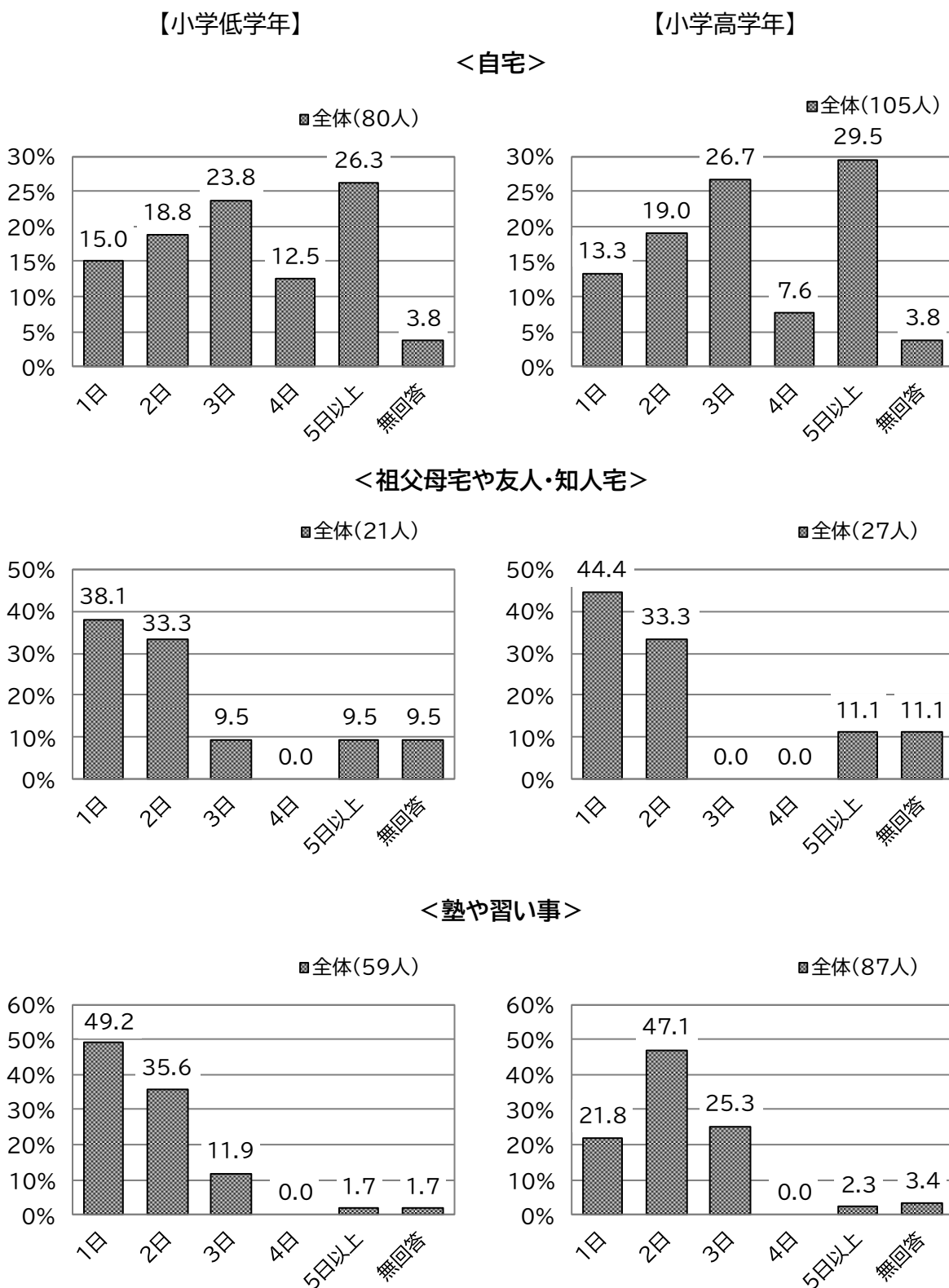


■1週当たりの希望日数

希望日数をみると、自宅では低学年時期、高学年時期ともに「5日以上」(低学年時期 26.3%、高学年時期 29.5%)が最も多くなっています。

祖父母宅や友人・知人宅では「1日」(低学年時期 38.1%、高学年時期 44.4%)が最も多くなっています。

塾や習い事では低学年時期は「1日」(49.2%)、高学年時期は「2日」(47.1%)が最も多くなっています。



放課後子ども教室(ふれあい塾)では低学年時期・高学年時期ともに「1日」(低学年時期38.7%、高学年時期36.4%)が最も多くなっています。

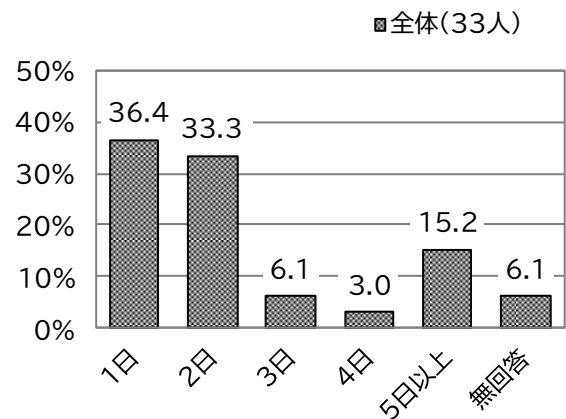
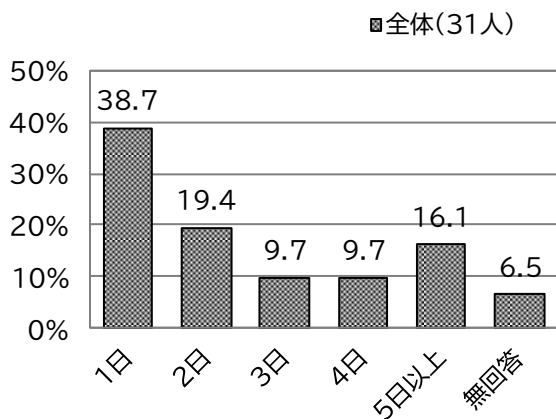
放課後児童クラブ(学童保育)では低学年時期、高学年時期ともに「5日以上」(低学年時期64.2%、高学年時期52.0%)が最も多くなっています。

ファミリー・サポート・センターでは低学年時期、高学年時期ともに「1日」(低学年時期42.9%、高学年時期42.9%)が最も多くなっています。

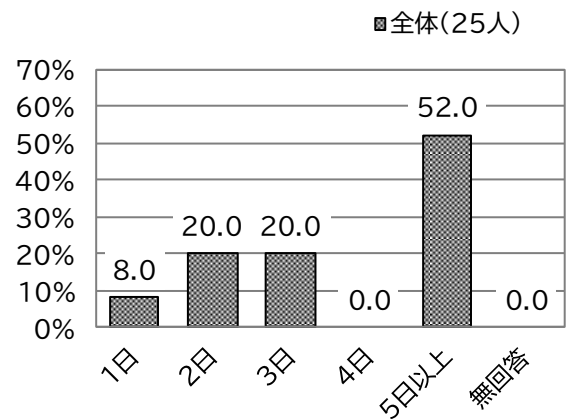
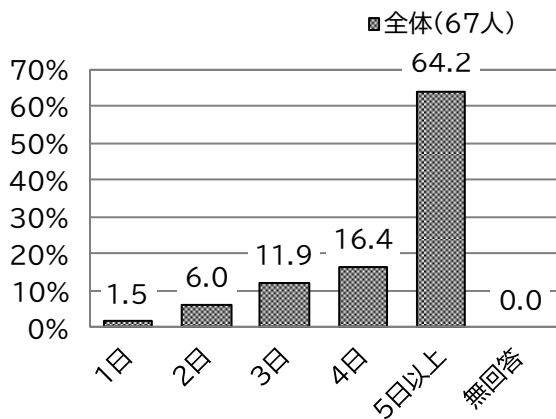
【小学低学年】

【小学高学年】

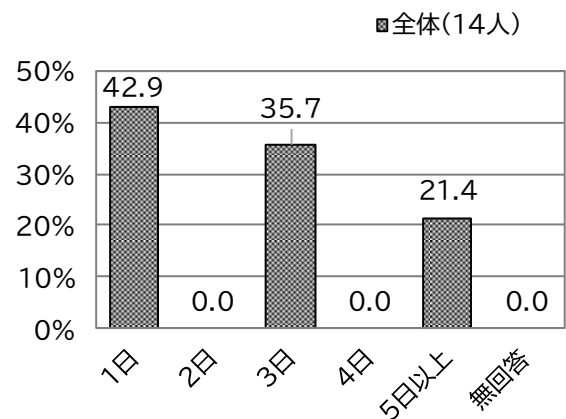
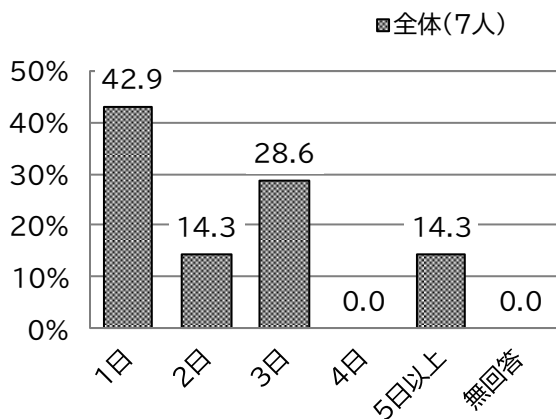
<放課後子ども教室(ふれあい塾)>



<放課後児童クラブ(学童保育)>



<ファミリー・サポート・センター>

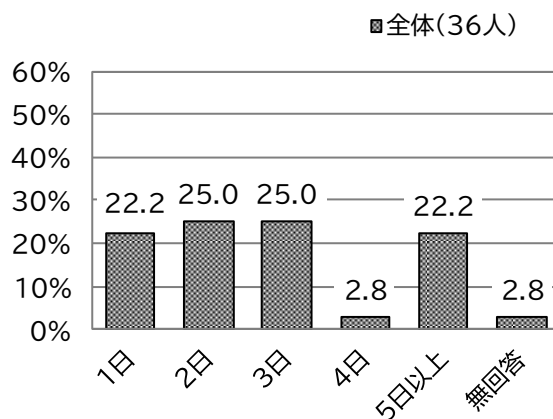
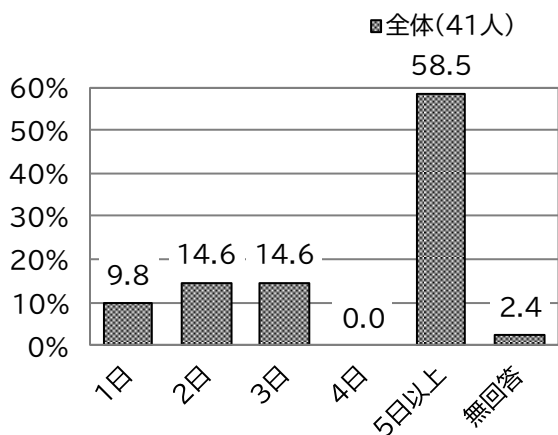


その他(公民館、公園など)では低学年時期では「5日以上」(58.5%)、高学年時期は「2日」「3日」(ともに 25.0%)が最も多くなっています

【小学低学年】

【小学高学年】

<その他(公民館、公園など)>

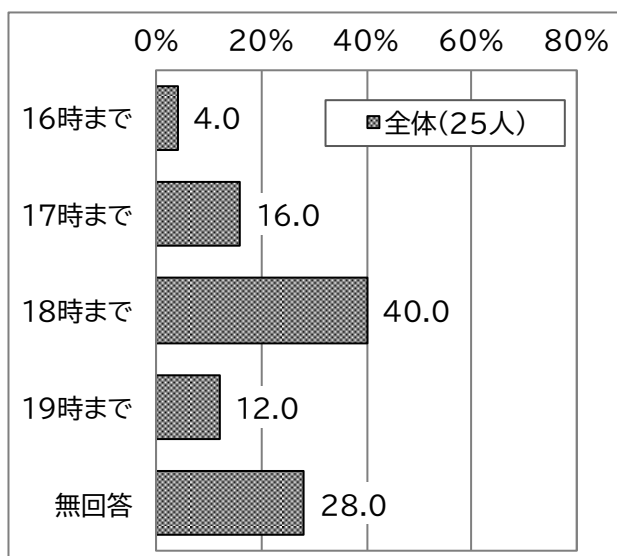
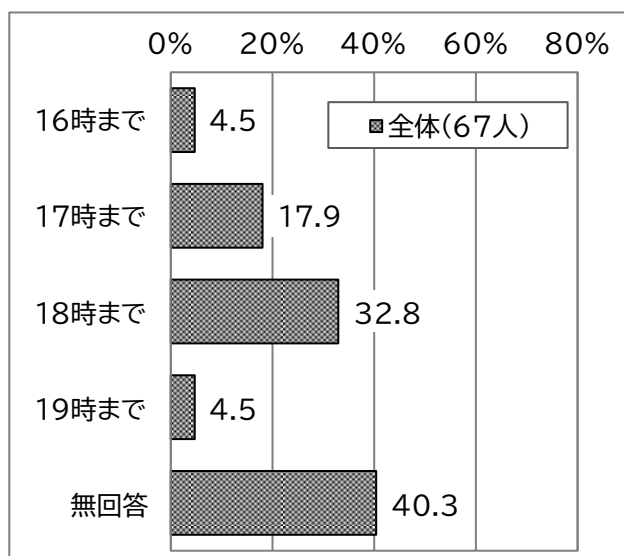


■放課後児童クラブ(学童保育)の希望利用時間

下校時から放課後児童クラブを何時まで利用したいかをみると、低学年時期では「18時まで」(32.8%)、「17時まで」(17.9%)、「16時まで」「19時まで」(ともに 4.5%)の順、高学年時期では「18時まで」(40.0%)、「17時まで」(16.0%)、「19時まで」(12.0%)の順に希望し、低学年時期・高学年時期ともに「18時まで」の利用希望が最も多くなっています。

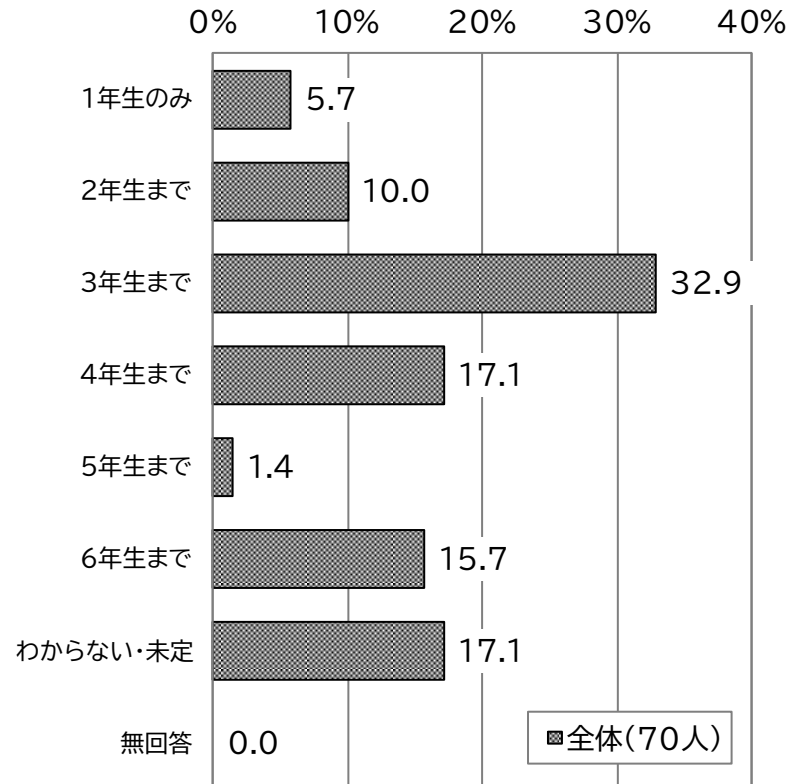
【小学低学年】

【小学高学年】



(2) 放課後児童クラブ(学童保育)を利用したい学年(問31)

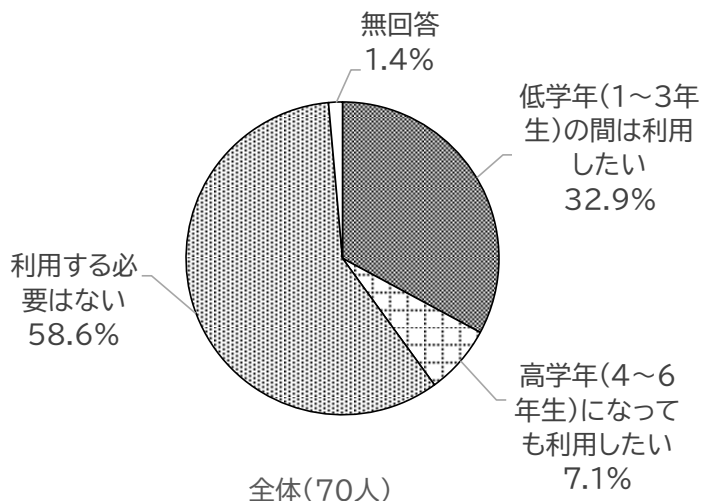
放課後児童クラブ(学童保育)を利用したい学年については、「3年生まで」が32.9%で最も多くなっています。次いで「4年生まで」と「わからない・未定」がともに17.1%、「6年生まで」が15.7%となっています。



(3) 土曜日・休日等の放課後児童クラブの利用希望 (問32)

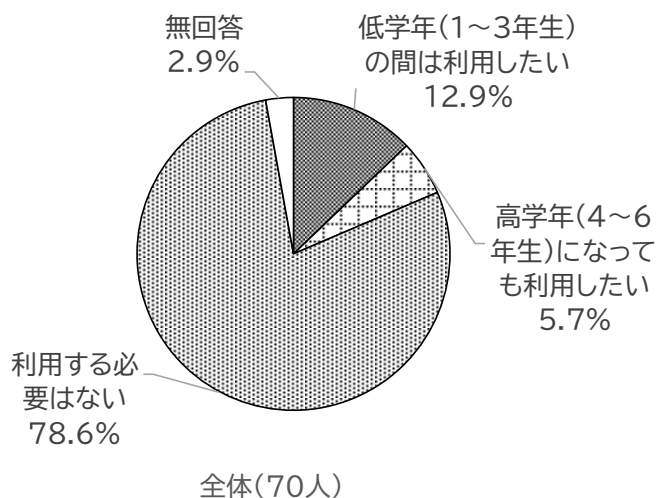
① 土曜日

土曜日の放課後児童クラブの利用希望をみると、「利用する必要はない」が58.6%で最も多くなっています。次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(32.9%)、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(7.1%)となっています。



② 日曜・祝日

日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望をみると、「利用する必要はない」が78.6%で最も多くなっています。次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(12.9%)、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(5.7%)となっています。

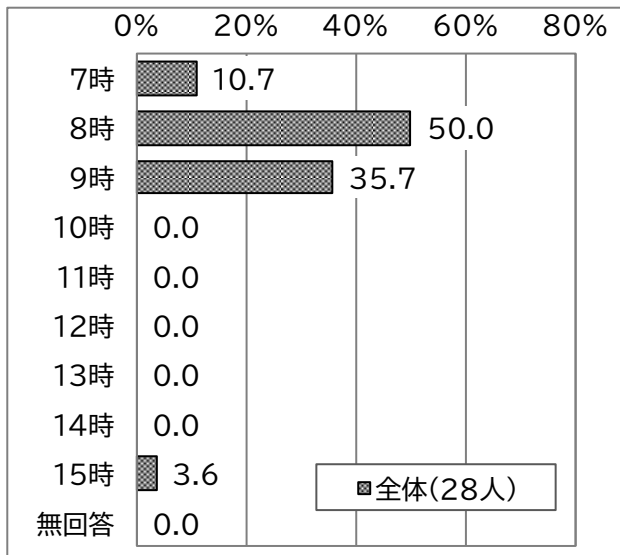


■利用したい時間帯

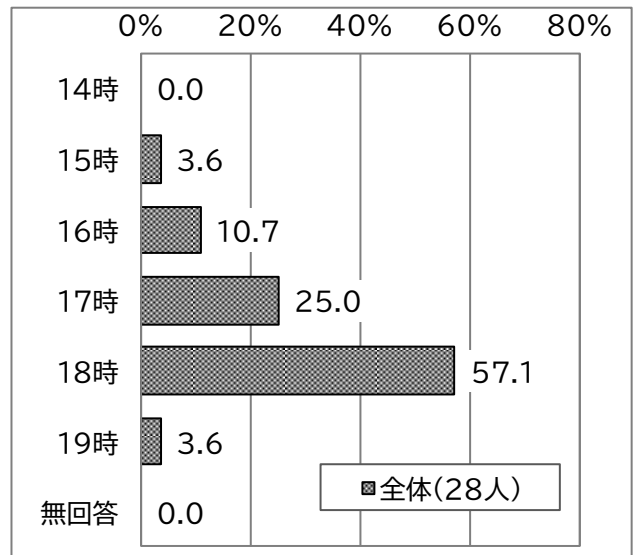
土曜日の希望する開始時間は「8 時」(50.0%)が最も多く、終了時間は「18 時」(57.1%)が最も多くなっています。

日曜・祝日の希望する開始時間は「8 時」と「9時」がともに 38.5%で最も多く、終了時間は「18 時」(46.2%)が最も多くなっています。

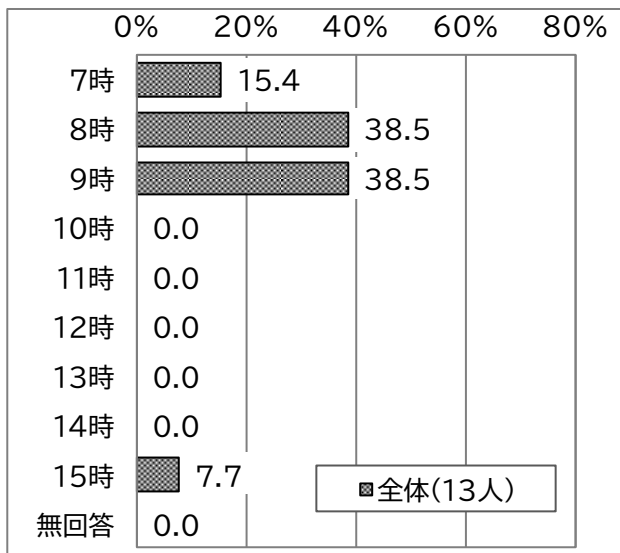
【土曜日の希望利用開始時間】



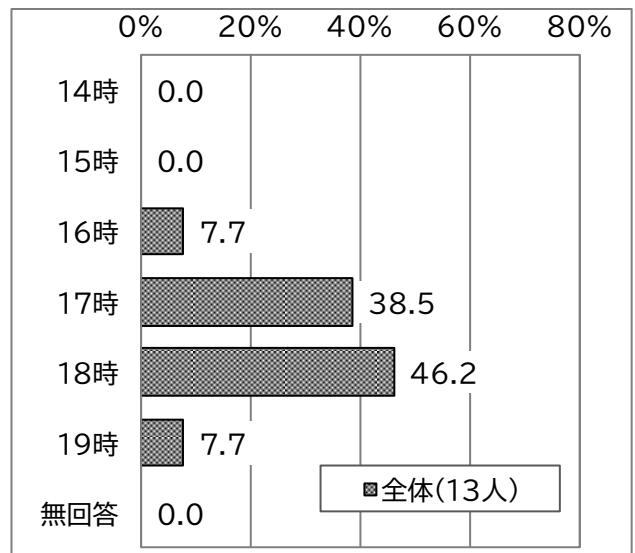
【土曜日の希望利用終了時間】



【日曜・祝日の希望利用開始時間】



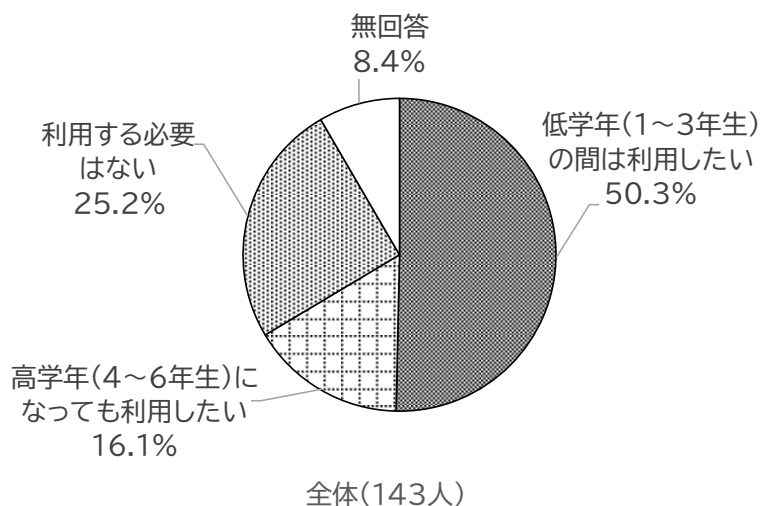
【日曜・祝日の希望利用終了時間】



(4) 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望 (問33)

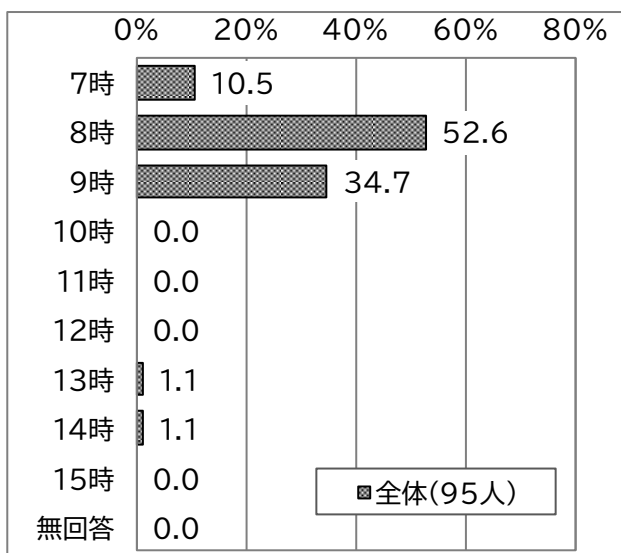
長期休暇中の利用希望をみると、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(50.3%)、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(16.1%)、「利用する必要はない」(25.2%)となっています。

希望する開始時間は「8時」(52.6%)が最も多く、終了時間は「18時」(36.8%)が最も多くなっています。

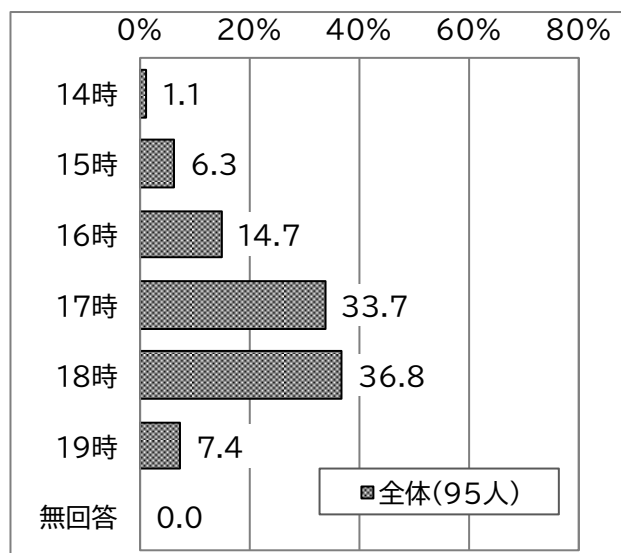


■利用したい時間帯

【長期休暇中の希望利用開始時間】



【長期休暇中の希望利用終了時間】



第5章 育児休業制度の利用状況

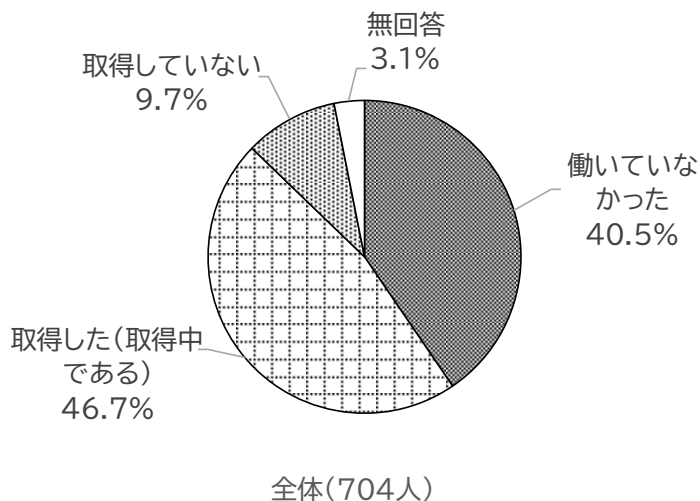
1 育児休業制度の利用状況

(1) 育児休業の取得状況（問34）

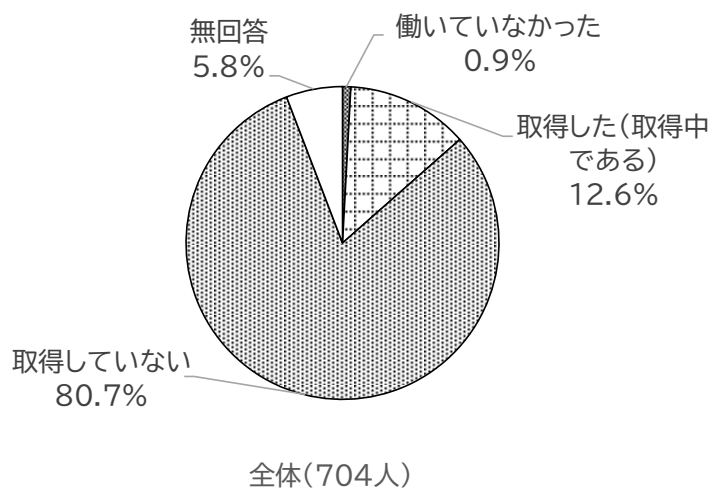
保護者の育児休業の取得状況を見ると、母親では「取得した(取得中である)」とした方は46.7%、「取得していない」とした方は9.7%となっています。

父親では、「取得していない」とした方が80.7%と多数を占めています。「取得した(取得中である)」とした方は12.6%となっています。

① 母親



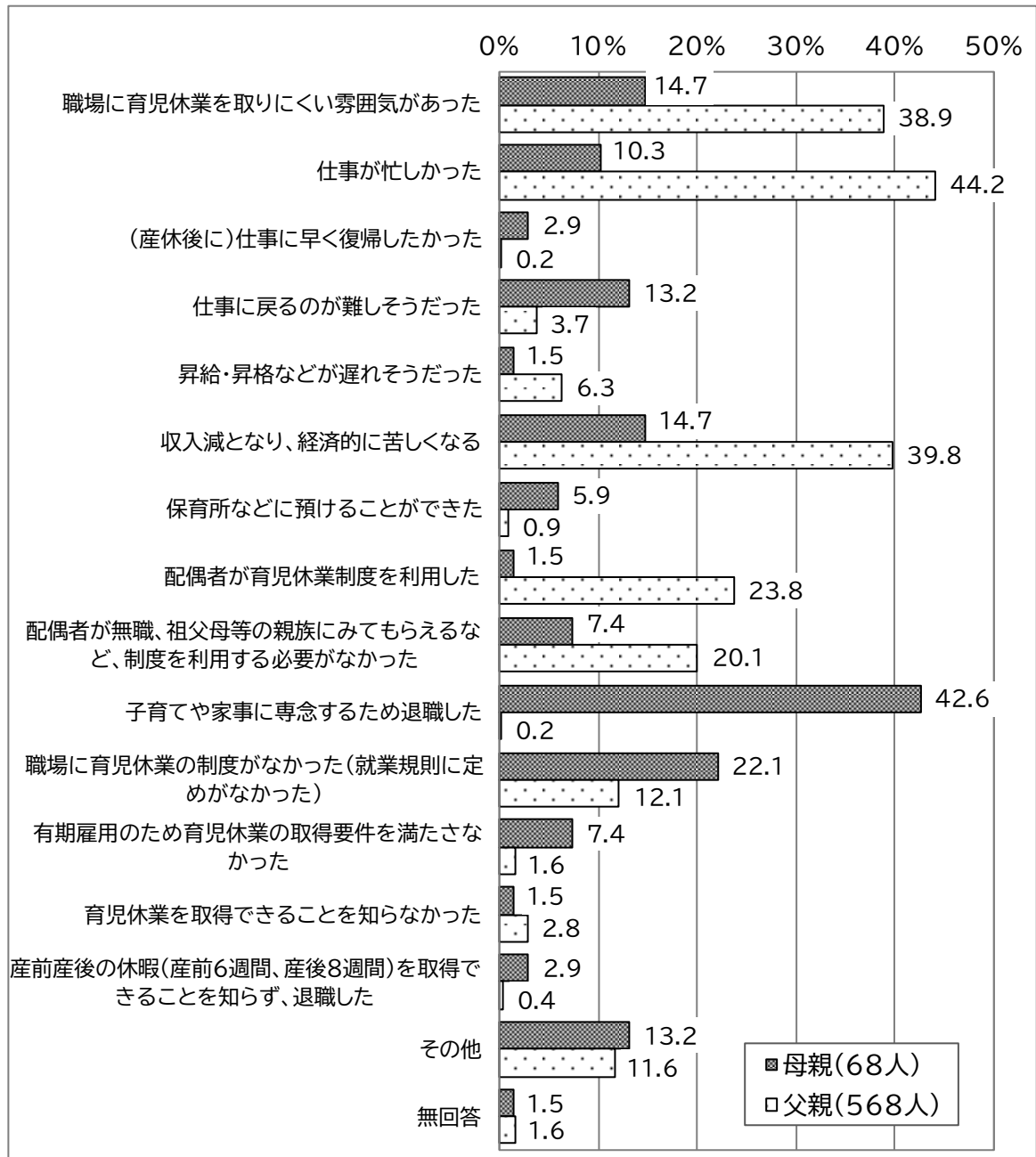
② 父親



■育児休業を取得していない理由

育児休業を取得していない理由について、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が42.6%で最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が22.1%となっています。

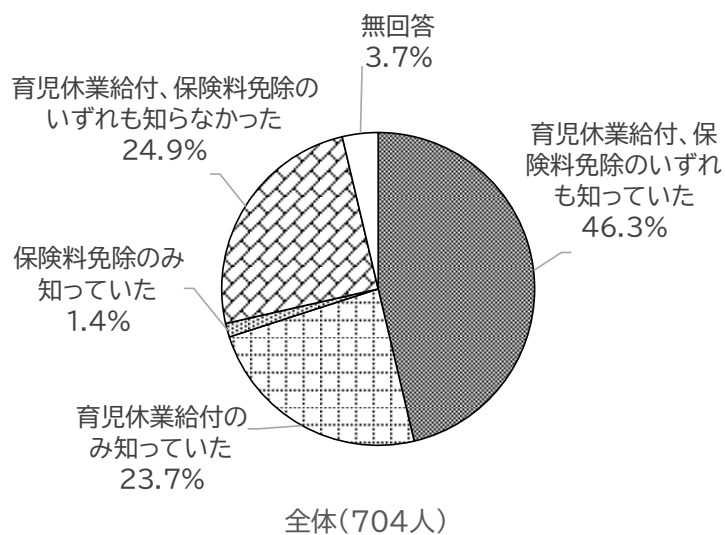
父親では「仕事が忙しかった」が44.2%で最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」(39.8%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(38.9%)となっています。



(2) 育児休業給付と社会保険料免除の認知状況（問34-1）

育児休業給付と社会保険料免除の仕組みの認知状況をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」(46.3%)、「育児休業給付のみ知っていた」(23.7%)、「保険料免除のみ知っていた」(1.4%)となっています。

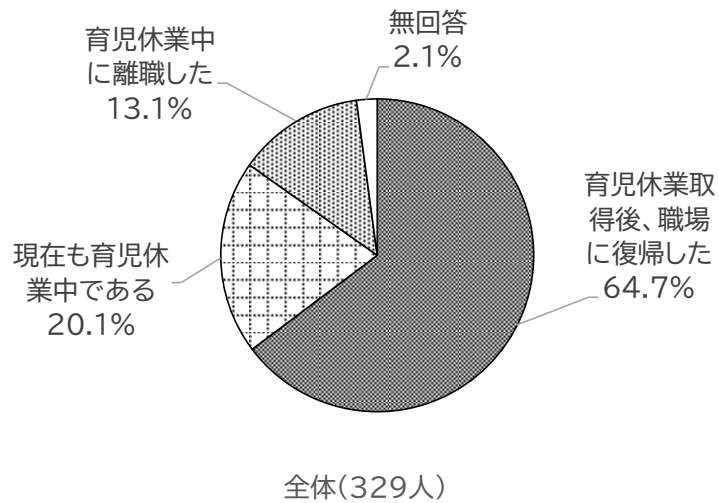
一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 24.9%と約4人に1人になっています。



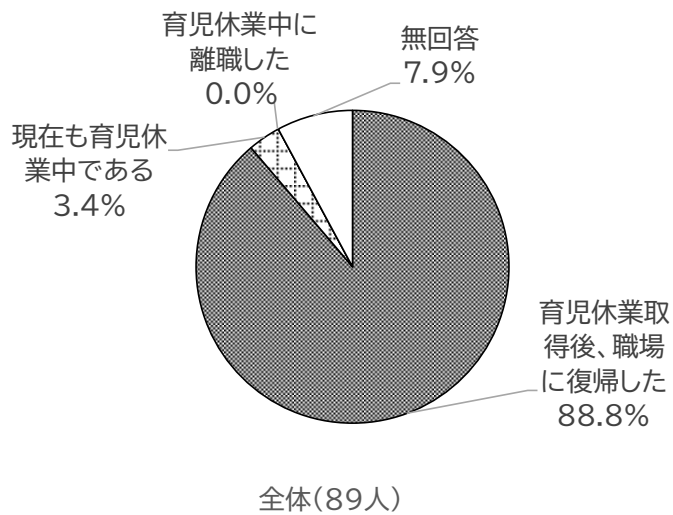
(3) 育児休業取得後の状況 (問34-2)

育児休業取得後の状況を見ると、「育児休業取得後、職場に復帰した」との回答が母親は64.7%、父親は88.8%となっています。

① 母親



② 父親

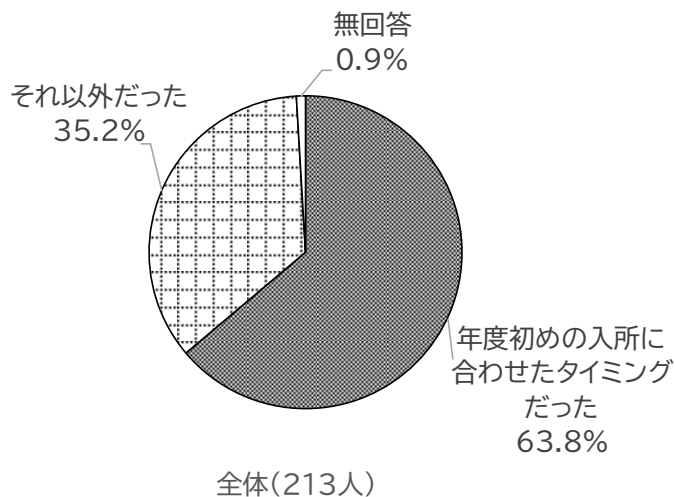


■職場復帰のタイミング(問34-3)

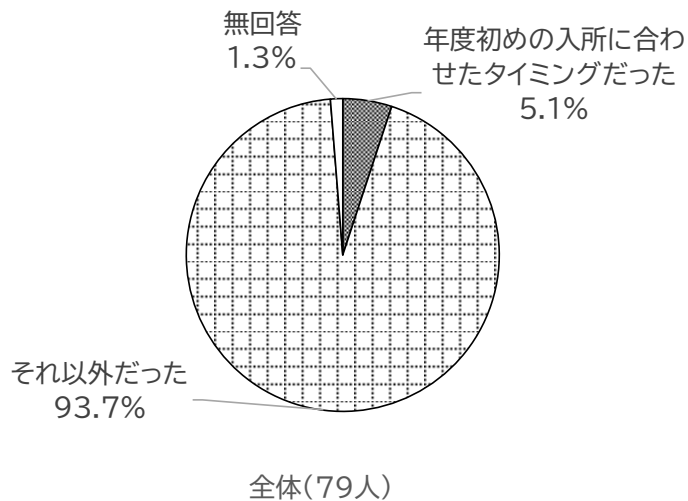
育児休業取得後の職場復帰のタイミングをみると、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が63.8%と6割以上になっています。

父親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」との回答は5.1%でした。

① 母親



② 父親



■職場復帰時の子どもの年齢

育児休業取得後に職場復帰した際の子どもの年齢をみると、母親の復帰時期では「1歳以内」が37.6%と最も多く、次いで「1歳6か月以内」が32.9%が続いています。

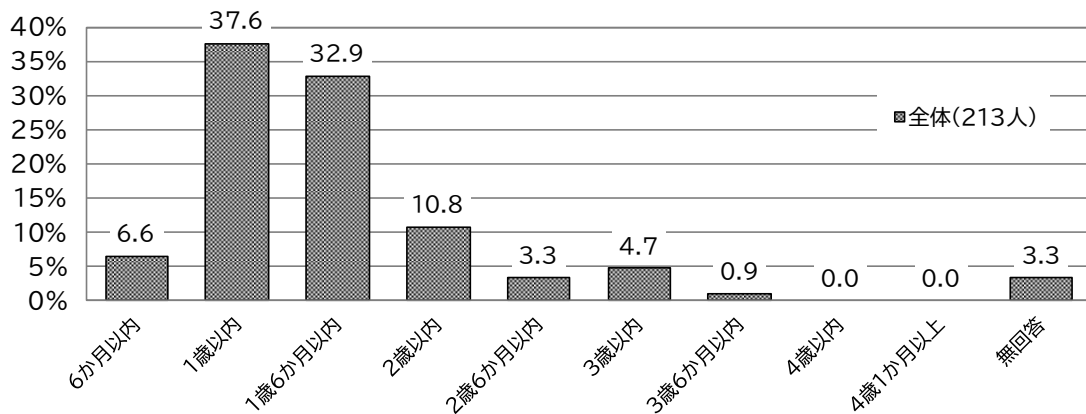
希望復帰時期では「1歳以内」が25.4%で最も多く、次いで「2歳以内」が21.6%となっています。

父親の復帰時期では「6か月以内」が57.0%で最も多くなっています。

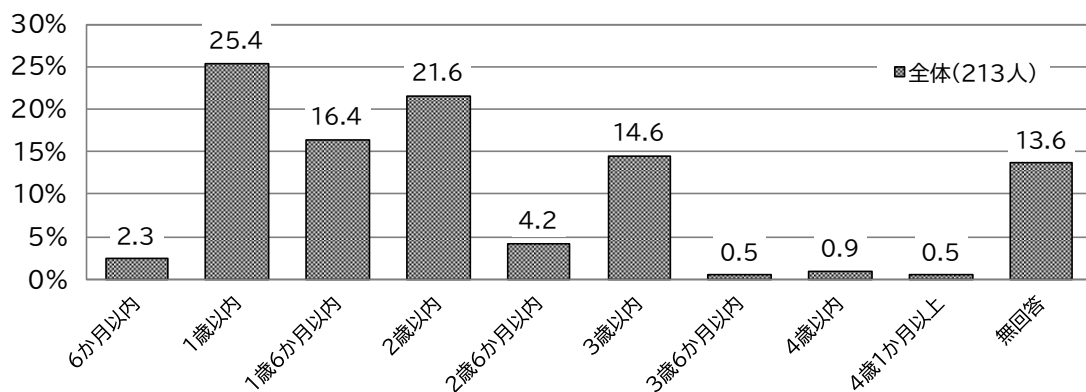
希望復帰時期でも「6か月以内」が45.6%で最も多く、次いで「1歳以内」が25.3%となっています。

① 母親

【実際年齢】

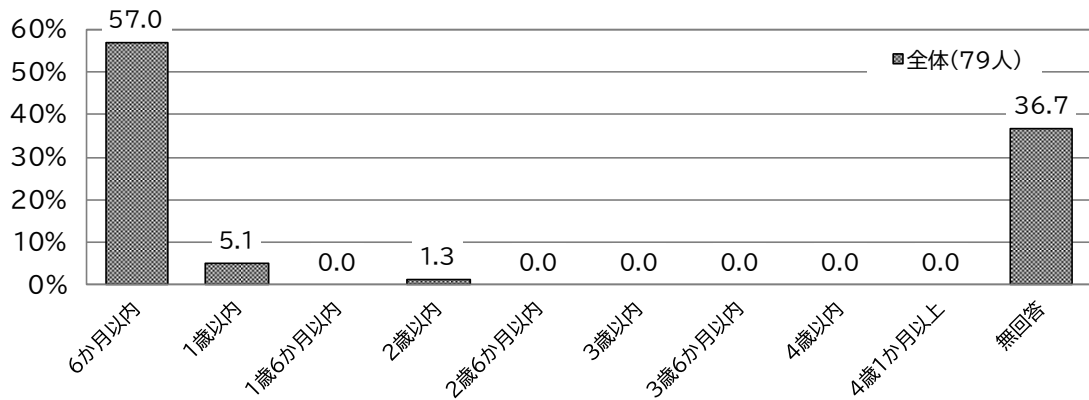


【希望年齢】

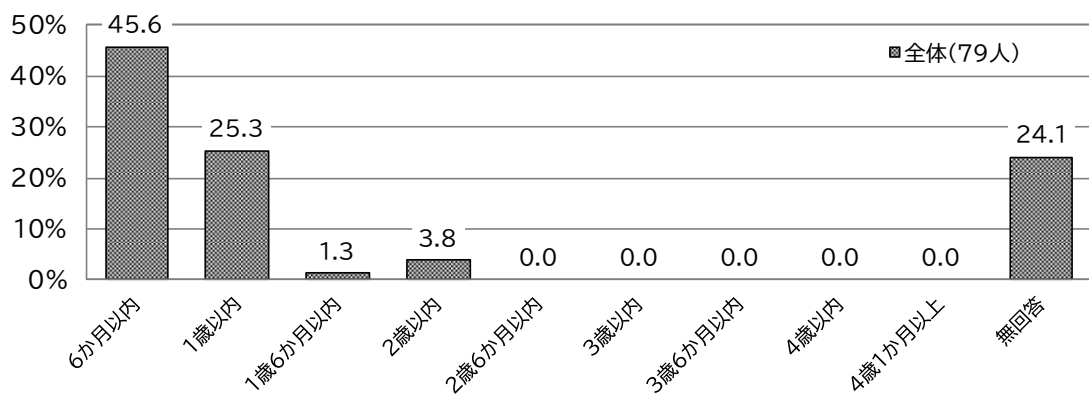


② 父親

【実際年齢】



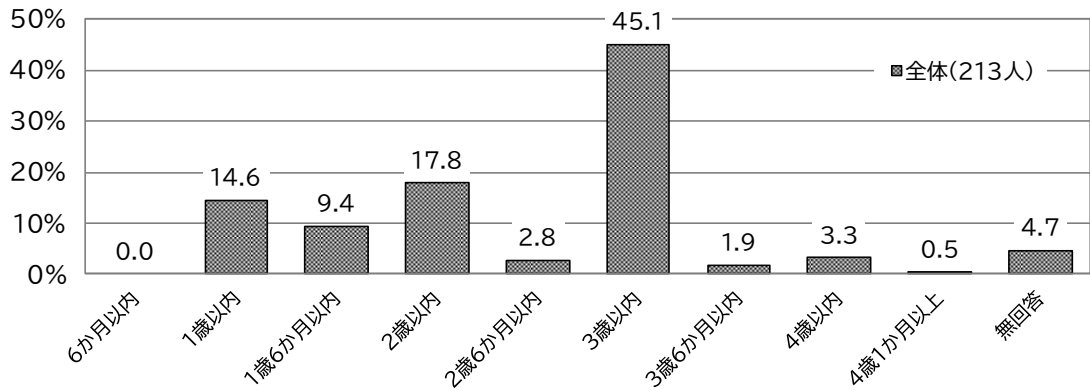
【希望年齢】



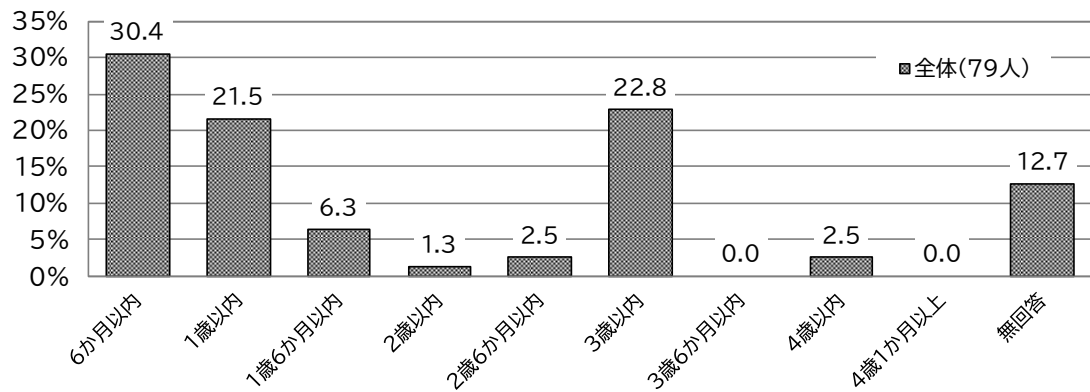
■3歳までの育児休業があった場合の子どもの希望年齢(問34-5)

3歳までの育児休業制度があった場合の子どもの希望年齢について、母親は「3歳以内」(45.1%)が最も多く、父親は「6か月以内」(30.4%)が最も多くなっています。

① 母親



② 父親



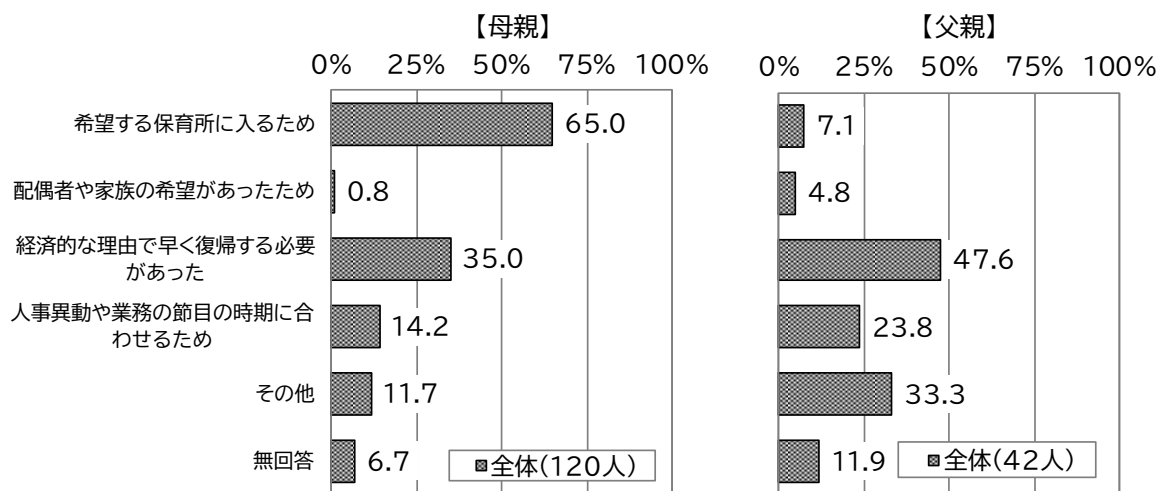
■育児休業から「希望」より早く・遅く職場復帰した理由(問34-6)

育児休業から「希望」より早く職場復帰した理由をみると、母親は「希望する保育所に入るため」(65.0%)、「経済的な理由で早く復帰する必要があるがあった」(35.0%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(14.2%)の順に多くなっています。

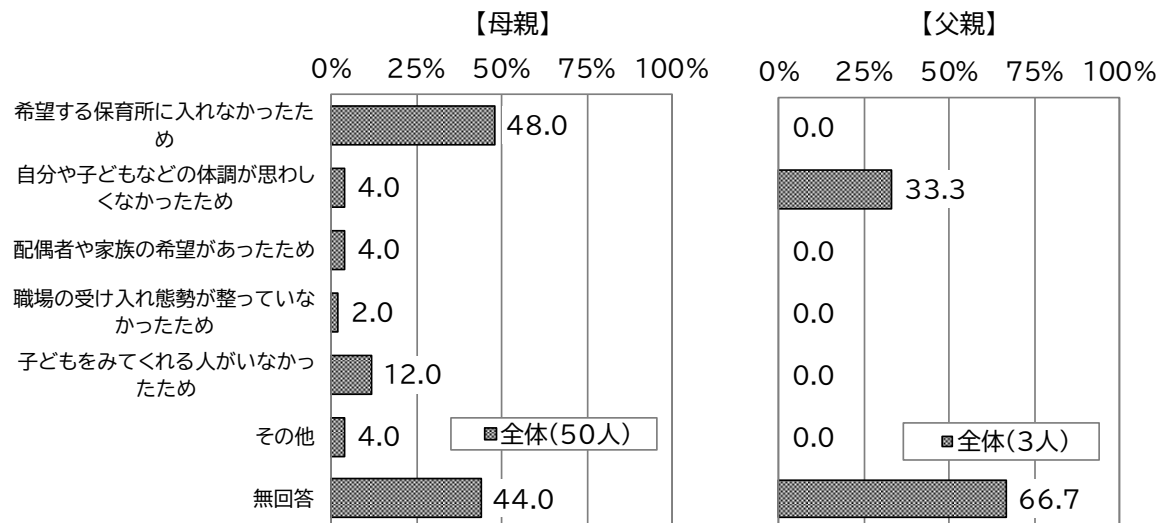
一方父親は「経済的な理由で早く復帰する必要があるがあった」(47.6%)が最も多くなっています。

育児休業から「希望」より遅く職場復帰した理由をみると、母親は「希望する保育所に入れなかったため」(48.0%)が最も多くなっています。

① 「希望」より早く復帰した理由



② 「希望」より遅く復帰した理由

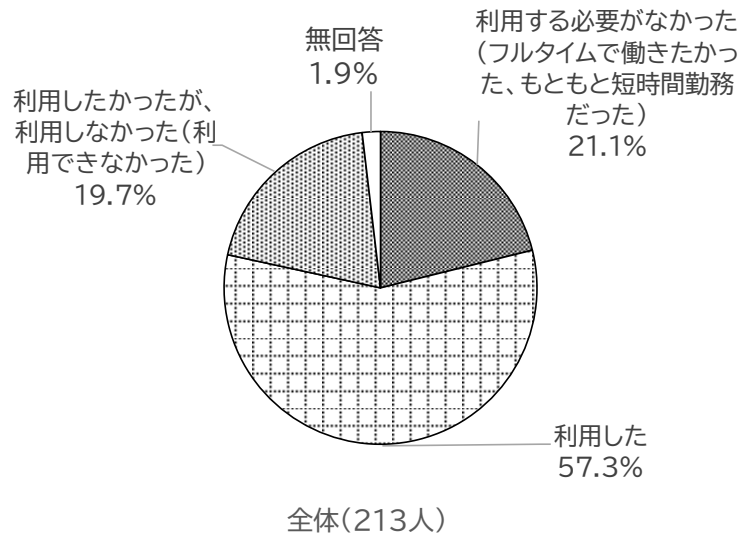


(4) 短時間勤務制度の利用 (問34-7)

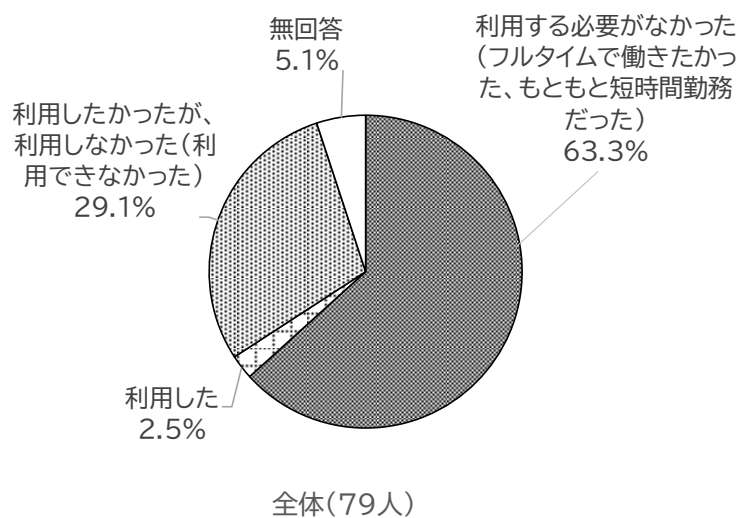
短時間勤務制度の利用については、母親では、「利用した」が57.3%で最も多く、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」は21.1%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が19.7%となっています。

父親では、「利用した」は2.5%で、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が63.3%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が29.1%となっています。

① 母親



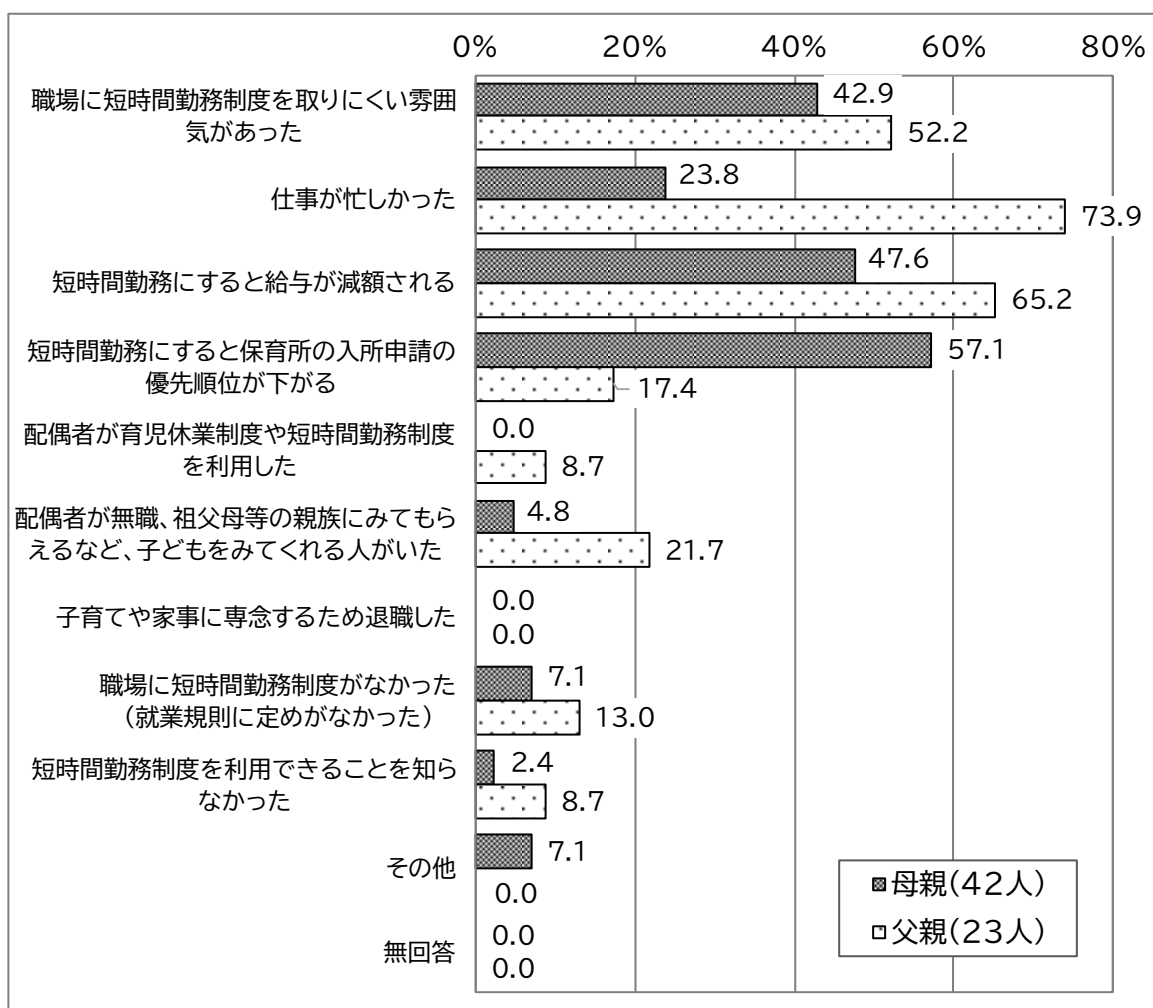
② 父親



■短時間勤務制度を利用しなかった理由(問34-8)

短時間勤務制度を利用しなかった理由としては、母親では、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が57.1%で最も多くなっています。次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」(47.6%)、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(42.9%)と続いています。

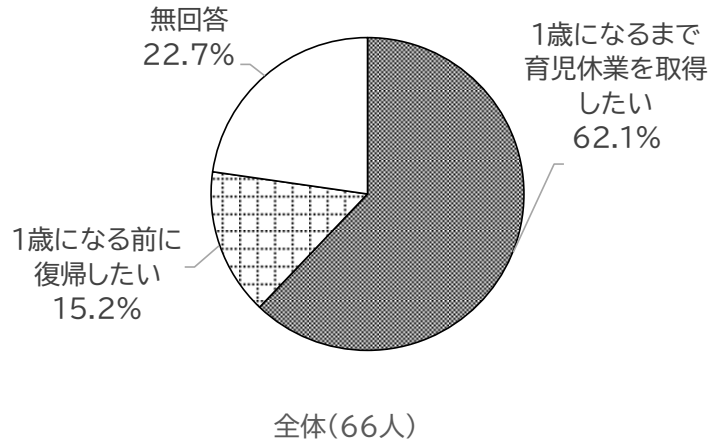
父親では、「仕事が忙しかった」が73.9%で最も多くなっています。次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」(65.2%)、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(52.2%)と続いています。



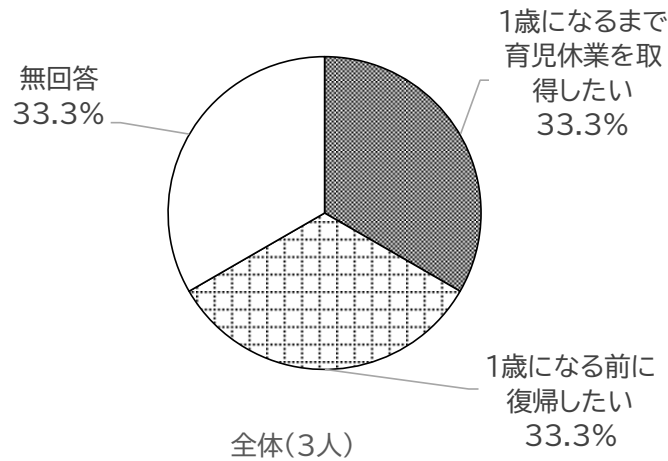
(5) 1歳になった時に預け先が保障される場合（問34-9）

1歳になった時に預け先が保障される場合の育児休業取得の希望をみると、母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が62.1%となっています。

① 母親



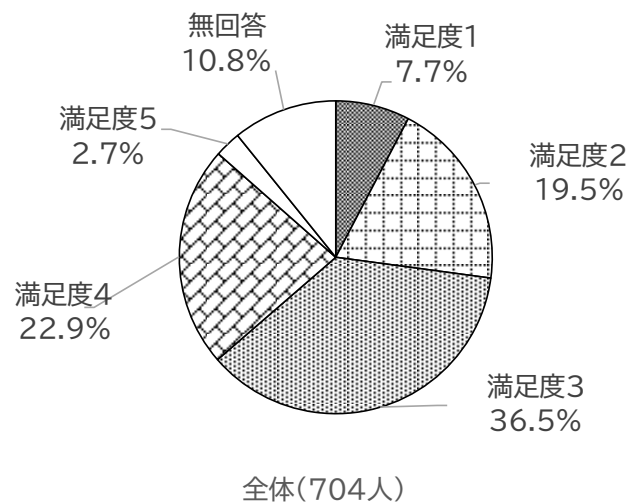
② 父親



2 その他

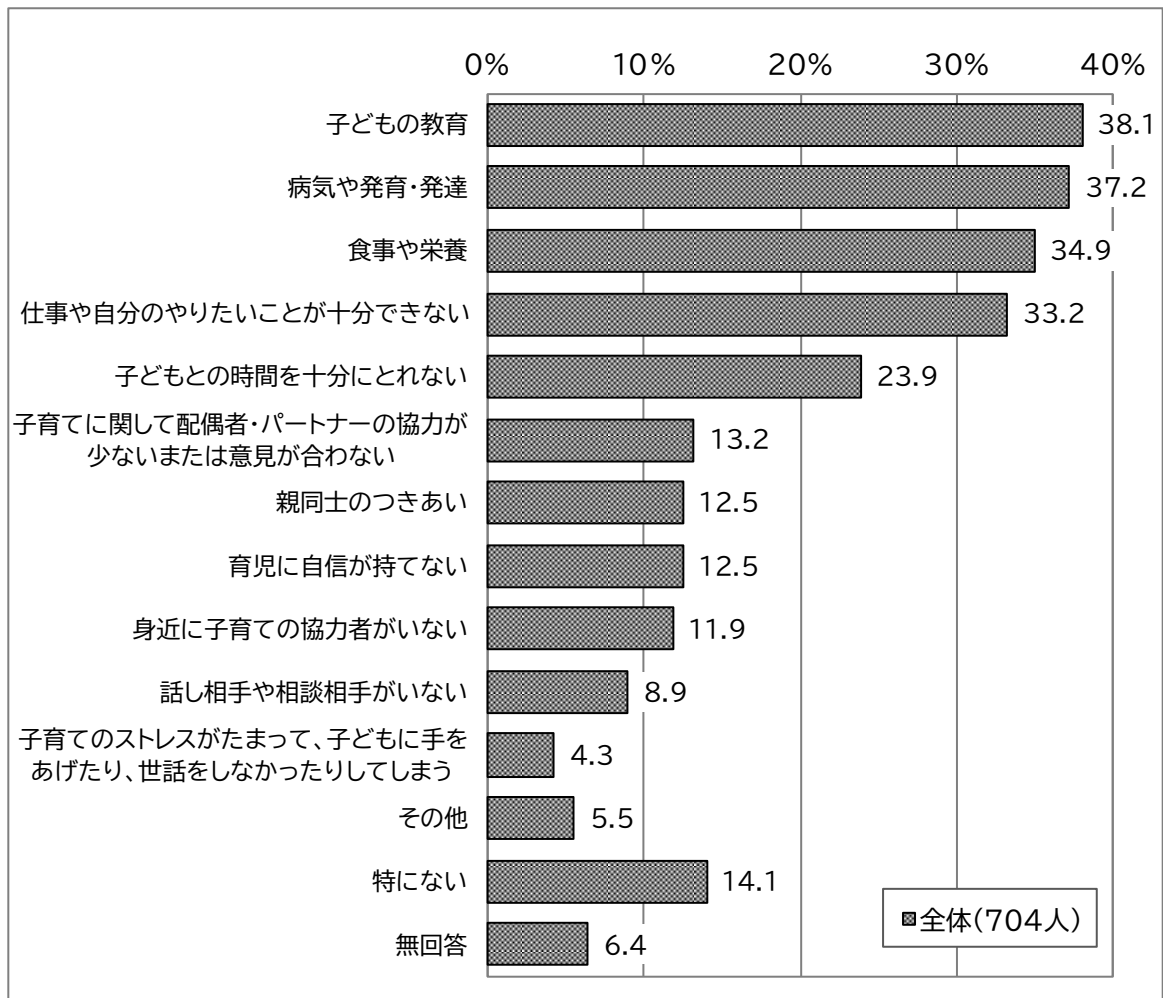
(1) 町の子育て環境や支援への満足度（問35）

町の子育て環境や支援について、満足度が低い「満足度1」から満足度が高い「満足度5」の5段階で聞いたところ、「満足度3」が 36.5%で最も多く、次いで「満足度4」が 22.9%、平均点は 2.93 となっています。



(2) 日頃の悩みについて (問36)

子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることについては、「子どもの教育」が38.1%で最も多く、次いで「病気や発育・発達」(37.2%)、「食事や栄養」(34.9%)、「仕事や自分のやりたいことが十分できない」(33.2%)となっています。



資料編 調査に使用したニーズ調査票

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査

～調査ご協力のお願い～

皆様には、日頃より町政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、本町では現在、「のびのび すすく 家族と地域の子育て環境づくり」を基本理念とした「第2期寒川町子ども・子育て支援事業計画」を推進しています。令和6年度に第2期事業計画の計画期間を終えることから、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする「第3期寒川町子ども・子育て支援事業計画」を、来年度策定する予定です。この調査は、幼稚園・保育園などの教育・保育施設や、子育て支援センターなどの子育て支援に関する事業のニーズを推計するため、町内の子育て家庭の皆様へ、施設やサービスの利用についての現状やご希望をお聞かせいただくために実施するものです。調査対象は、令和5年11月1日現在で、学年齢0歳から5歳までのお子さんがいる世帯とさせていただきます。調査結果は統計的に処理し、ニーズ推計や子育て支援施策の検討にのみ活用させていただきます。回答者が特定されたり、他の目的に利用したりすることはありません。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年11月
寒川町長 木村俊雄

【ご回答にあたってのお願い】

回答は、**郵送**または**《インターネットのWebサイト》**で行うことができます。また、別途設置する**《回収箱》**に投函いただいても結構です。回収箱の設置場所については、2/3ページをご覧ください。これらのいずれかの方法で、**令和5年12月5日（火）**までに返信してください。

- 調査には、おさんの保護者の方が回答してください。（無記名ですので、氏名・住所をご記入いただく必要はありません）
- 回答は選択肢に○をつけて選んでいただく場合と、数字などを記入いただく場合があります。設問によっては、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」を選んだ場合は、その後にある（ ）内に、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時間（時刻）を記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時→18時）で記入してください。
- 設問のご回答によって、次の設問に回答いただく必要がなくなる場合がありますので、ご回答の書き方や失印によって回答してください。特にご回答の書きの無い場合は次の設問にお進みください。
- Web（スマートフォン、PC）で回答される場合は、下記までアクセスいただき、5桁の番号を入力の上、ご回答ください。

5桁の番号 ⇒

- この番号は回答の重複を避けるためのもので、個人を特定するものではありません。
- Webと調査用紙の両方で回答があった場合は、調査用紙の回答を集計させていただきます。

- ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問合せは、下記までお願いします。

問合せ先：寒川町 子育て支援課 子ども家庭担当
電話：0467-74-1111 内線161

いただいた回答は寒川町の子育て支援の充実のために役立てます

寒川町では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画に給付・事業を実施しています（平成27年度から令和元年度までを第1期、令和2年度から令和6年度までを第2期として実施）。

（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育：問17までにおいては家庭教育を含めた広い意味、問18以降においては幼児期の学校教育（幼稚園等）の意味で用いています

※この調査で回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありませんので、施設や事業の利用の際に利用希望を要変更していただいても構いません。

1

1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|-------|-------|--------|
| 1. 田端 | 4. 大曲 | 7. 小谷 | 10. 倉見 |
| 2. 一之宮 | 5. 岡田 | 8. 小動 | |
| 3. 中瀬 | 6. 大蔵 | 9. 富山 | |

2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のおさんの生年月をご記入ください（口内に数字で記入ください。数字は一律に一字）。

西暦 年 月生まれ

問3 宛名のおさんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のおさんを含めた人数を口内に数字で記入ください。おさんが2人以上の場合は、末子の生年月を口内に数字で記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 西暦 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。宛名のおさんからみた関係をお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 宛名のおさんの子育て（教育を含む）を主にやっているのはどなたですか。おさんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（ ）

問7 宛名のおさんと生計を同一にしている家族構成は次のうち、どれにあたりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 子どもと両親のみの世帯
2. 母子世帯・父子世帯（子どもと祖父母の場合も含む）
3. 三世帯世帯（子ども・父母・祖父母の世帯）
4. その他（ ）

問8 世帯の年収は、次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。世帯とは、生計を同一にしている家族のことを指します。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 200万円未満 | 4. 600万円以上800万円未満 |
| 2. 200万円以上400万円未満 | 5. 800万円以上1,000万円未満 |
| 3. 400万円以上600万円未満 | 6. 1,000万円以上 |

問9 お住いの住居の状況は、次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） | 4. 県営、公社などの賃貸住宅 |
| 2. 持ち家（マンションなどの集合住宅） | 5. 社宅、官舎など |
| 3. 民間の賃貸住宅（アパート、借家など） | 6. その他（ ） |

3. 宛名のおさんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問10 宛名のおさんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなたか（施設を含む）ですか。おさんからみた関係であてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|--------|-----------|--------|
| 1. 母親 | 3. 祖父母 | 5. 保育所 | 7. その他 |
| 2. 父親 | 4. 幼稚園 | 6. 認定こども園 | （ ） |

問11 宛名のおさんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響を与えようと思う環境は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 3. 幼稚園 | 5. 認定こども園 |
| 2. 地域 | 4. 保育所 | 6. その他（ ） |

問12 日頃、宛名のおさんを見てもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみもらえる | ⇒ 問12-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみもらえる | |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる | ⇒ 問12-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問13へ |

問12で「1.」または「2.」に○をつけた方うかがいます。

問12-1 祖父母等の親族におさんを見てもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たちの立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとって心苦しい環境であるが、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

3

問12で「3.」または「4.」に○をつけた方の方がいます。

問12-2 友人・知人にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号並べて○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大き心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大き心配である
4. 自分たちの立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとっでふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他()

問13 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1~11に○をつけてください。

1. いる/ある ⇒ 問13-1へ 2. いない/ない ⇒ 問14へ

問13で「1. いる/ある」に○をつけた方の方がいます。

問13-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(ど)ですか。あてはまる番号並べて○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 祖父母等の親族 2. 友人や知人 3. 近所の人 4. 子育て支援センター・NPO 5. 保健所・保健センター 6. 保育士 | <ol style="list-style-type: none"> 7. 幼稚園教諭 8. 民生委員・児童委員 9. かかりつけの医師 10. 町の子育て支援担当窓口 11. その他(例) ベビーシッター |
|--|--|

問14 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

(2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方の方がいます。

(2)-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

1週当たり 日 1日当たり 時間

(2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方の方がいます。

(2)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

問15の(1)または(2)で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方の方がいます。該当しない方は、問17へお進みください。

問16 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1~2に○をつけてください。

- (1) 母親
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外をやめて子育てや家事に専念したい

- (2) 父親
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外をやめて子育てや家事に専念したい

4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問15 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。あてはまる番号1~2に○をつけてください。

- (1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育児・介護休業中ではない
 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育児・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)で就労しており、産休・育児・介護休業中ではない
 4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)で就労しているが、産休・育児・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまで就労したことがない
- ⇒ (1)-1へ
⇒ (2)へ

(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方の方がいます。

(1)-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

1週当たり 日 1日当たり 時間

(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方の方がいます。

(1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

(2) 父親 【父子家庭の場合は記入は不要です】

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育児・介護休業中ではない
 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育児・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)で就労しており、育児・介護休業中ではない
 4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)で就労しているが、育児・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまで就労したことがない
- ⇒ (2)-1へ
⇒ 問17へ

問15の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方の方がいます。該当しない方は、問18へお進みください。

問17 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号1~2に○をつけてください。「2.」に○をつけた場合は、口内に数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。また、「3.」に○をつけた場合は、希望する就労形態(①か②)に○をつけ、口内には数字をご記入ください。

- (1) 母親
1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったときに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
- ① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
② パートタイム、アルバイト等(①以外)
- 1週当たり 日 1日当たり 時間

- (2) 父親
1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったときに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
- ① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
② パートタイム、アルバイト等(①以外)
- 1週当たり 日 1日当たり 時間

5. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問18-1に示した事業が含まれます。

問18 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていませうか。あてはまる番号1~2に○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問18-1へ 2. 利用していない ⇒ 問18-5へ

問18-1～問18-4は、問18で「1. 利用している」に○をつけた方うかがいます。

問18-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	9. その他の認可外の保育施設
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人もの)	10. 居宅訪問型保育 (ハビビッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
	11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
	12. その他 ()

問18-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1. 週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、口内に数字で記入ください(数字は一桁に一字)。時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※18-1で複数選択をした方は、その合計を記載してください。

(1) 現在

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

(2) 希望

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

問18-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 町内 2. 他の市区町村

問18-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
7. その他 ()

問18で「2. 利用していない」に○をつけた方うかがいます。

問18-5 利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。また、「8.」に○をつけた場合は、年齢を口内に数字でご記入ください。

1. (子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため(<input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 ()

すべての方うかがいます。

問19 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	9. その他の認可外の保育施設
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人もの)	10. 居宅訪問型保育 (ハビビッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
	11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
	12. その他 ()

8

9

問19-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 町内 2. 他の市区町村

問19で「1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3.～12.」にも○をつけた方うかがいます。

問19-2 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. はい 2. いいえ

6. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問20 宛名のお子さんは、現在、子育て支援センター(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場)を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。

また、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

1. 子育て支援センター(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場)

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
もしくは 1年当たり 回程度

2. その他、町で実施している類似の事業(具体名:子育てひろば、子育てサロン等)

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
もしくは 1年当たり 回程度

3. 利用していない

問21 問20のような子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますが、あてはまる番号1に○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

1. 利用していないが、今後利用したい

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
もしくは 1年当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回程度
もしくは 1年当たり 更に 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問22 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。なお、事業によっては、町で実施されていないものもあります。

	A		B		C	
	知っている	いいえ	これまでに利用したことがある	いいえ	今後利用したい	いいえ
① 父親・母親教室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
② 保護者の情報・相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③ 子育てに関する講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④ 総合教育センター・教育相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤ 保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥ 子育て支援相談員	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦ さむかわ子育てガイド等の支援情報誌	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

7. 宛名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問23 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。あてはまる番号1に○をつけてください。

希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。また、町内には現時点で、教育・保育事業について日曜日・祝日に運営している施設はありません。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい } ⇨ 利用したい時間帯: 時から 時まで

3. 月に1～2回は利用したい

4. 現在、利用している(利用施設名:)

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい } ⇨ 利用したい時間帯: 時から 時まで

3. 月に1～2回は利用したい

4. 現在、利用している(利用施設名:)

問23の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方うかがいます。

問23-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	4. 患疾のため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	5. その他 ()
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	

10

11

「幼稚園」を利用されている方うかがいます。

問2-4 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	利用したい時間帯： ⇒ □□時から□□時まで
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	

問2-4で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方うかがいます。

問2-4-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	4. 愚痴のため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため	5. その他 ()
3. 親族の介護や手伝いが必要のため	

8. 宛名のお子さんの病気の対応についてうかがいます。(平日の定期的な教育・保育事業を利用する方のみ)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問1-8で「1. 利用している」に○をつけた方)にうかがいます。利用していない方は、問2-6にお進みください。

問2-5 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問25-1へ	2. なかった ⇒ 問26へ
-----------------	----------------

問2-5-1 その際、どのように対処しましたが、この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一律に一字)。

1年間の対処方法	日数	
1. 父親が休んだ	日	⇒ 問25-2へ
2. 母親が休んだ	日	
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	日	⇒ 問25-5へ
4. 父親・母親のうち就労していない方が子どもを看だ	日	
5. 病児・病後児の保育を利用した	日	
6. ベビーシッターを利用した	日	
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	日	
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日	
9. その他 ()	日	

12

9. 宛名のお子さんの不定期的な教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問2-6 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のための以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(およびその口内に数字でご記入ください)(数字は一律に一字)。

利用している事業・日数(年間)	日	
1. 一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	日	⇒ 問27へ
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	日	
3. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	日	
4. 夜間看護等事業：トワイライトスタイル(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	日	
5. ベビーシッター	日	
6. その他 ()	日	
7. 利用していない ⇒ 問26-1へ		

問2-6で「7. 利用していない」に○をつけた方うかがいます。

問2-6-1 現在利用していない理由は何か。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がわからない
2. 利用したい事業が地域にない	7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
3. 地域の事業の質に不安がある	8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	9. その他 ()
5. 利用料がかかる・高い	

問2-7 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、「1.」に○をつけた場合は、①～④のあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数を口内に数字でご記入ください(①～④の合計を計にご記入ください。数字は一律に一字)。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	日	
① 私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的		日	⇒ 問27-1へ
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等		日	
③ 不特定の就労		日	
④ その他 ()		日	
2. 利用する必要はない ⇒ 問28へ			

14

問2-5-1で「1.」「2.」のいずれかに回答した方うかがいます。

問2-5-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一律に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□日 ⇒ 問25-3へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問25-4へ

問2-5-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方うかがいます。

問2-5-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業	⇒ 問26へ
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)	
4. その他 ()	

問2-5-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方うかがいます。

問2-5-4 そう思われる理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	4. 利用料がかかる・高い
2. 地域の事業の質に不安がある	5. 利用料がわからない
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	6. 親が仕事を休んで対応する
	7. その他 ()

問2-5-1で「3.」から「9.」のいずれかに○をつけた方うかがいます。

問2-5-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看だたい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「3.」から「9.」の日数のうち仕事を休んで看だた日数についても数字でご記入ください(数字は一律に一字)。

1. できれば仕事を休んで看だたい ⇒ □□日 ⇒ 問26へ
2. 休んで看だすることは非常に難しい ⇒ 問25-6へ

問2-5-5で「2. 休んで看だすることは非常に難しい」に○をつけた方うかがいます。

問2-5-6 そう思われる理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	3. 休暇日数が足りないため休めない
2. 自営業なので休めない	4. その他 ()

13

問2-7で「1. 利用したい」に○をつけた方うかがいます。

問2-7-1 問2-7の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを預かる事業(例：幼稚園・保育所等)	⇒ 問27へ
2. 小規模施設で子どもを預かる事業(例：小規模保育事業等)	
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)	
4. その他 ()	

問2-8 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹を含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いませんか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、「1.」に○をつけた場合は、①～④のあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください(①～④の合計を計にご記入ください。数字は一律に一字)。

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	泊	
① 冠婚葬祭		泊	⇒ 問27-1へ
② 保護者や家族の育児疲れ・不安		泊	
③ 保護者や家族の病気		泊	
④ その他 ()		泊	
2. 利用する必要はない			

15

寒川町 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告書

発行日 令和6年（2024年）3月

発行元 寒川町学び育成部子育て支援課

住所 〒253-0196 神奈川県高座郡寒川町宮山165

連絡先 TEL 0467-74-1111 FAX 0467-74-5613

寒川町

**子ども・子育て支援事業(児童クラブ)に関するニーズ調査
報告書**

令和6年(2024年)3月

神奈川県 寒川町

目 次

第1章 調査実施の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査票の種類と調査対象者等	3
3 調査の実施方法と配付・回収状況	3
(1) 調査時期と調査方法	3
(2) 調査票の配付・回収状況	3
4 電算処理の注意点	3
5 調査対象者の属性	4
第2章 調査結果	7
1 保護者の就労状況	7
(1) 母親の就労状況	7
(2) 父親の就労状況	9
2 放課後の過ごし方の現状と学童保育所の利用希望	11
(1) 平日の放課後の過ごし方	11
(2) 平日の学童保育所利用希望	14
(3) 土曜日・休日の学童保育所利用希望	16
(4) 長期休暇中の学童保育所利用希望	18
3 寒川町の子育ての環境や支援への満足度	20
資料編	
「子ども・子育て支援事業（児童クラブ）に関するニーズ調査票」	22

第 1 章

調査実施の概要

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

子ども・子育て支援法に基づき、令和6年度（2024年度）に2025年度から2030年度までの5年間を計画期間とする「第3期寒川町子ども・子育て支援事業計画」を策定します。このような状況により、事業計画で確保を図るべき放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向等について把握・分析するために実施しました。

2 調査票の種類と調査対象者等

「子ども・子育て支援事業（児童クラブ）に関するニーズ調査」（就学児童用）	
調査対象者	就学児童の保護者（町内5小学校の各学年1学級を抽出）
調査件数	961件
調査内容	就労状況、放課後児童クラブ（学童保育）の利用等

3 調査の実施方法と配付・回収状況

（1）調査時期と調査方法

子ども・子育て支援事業（児童クラブ）に関するニーズ調査は令和5年11月から12月にかけて実施しました。

調査方法は各小学校経由で調査票を配付し、回収しました。

（2）調査票の配付・回収状況

調査対象者区分	就学児童の保護者		
	配付数	回収数	回収率
町全域	961件	496件	51.6%

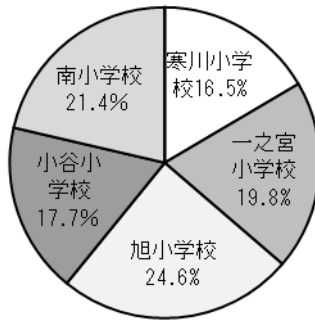
4 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

5 調査対象者の属性

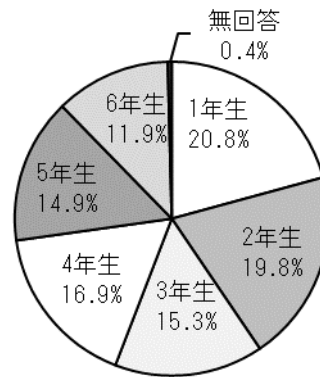
回答された就学児童の属性は以下のとおりとなっています。

問1 学校



n=496人

問2 学年



n=496人

第 2 章

調査結果

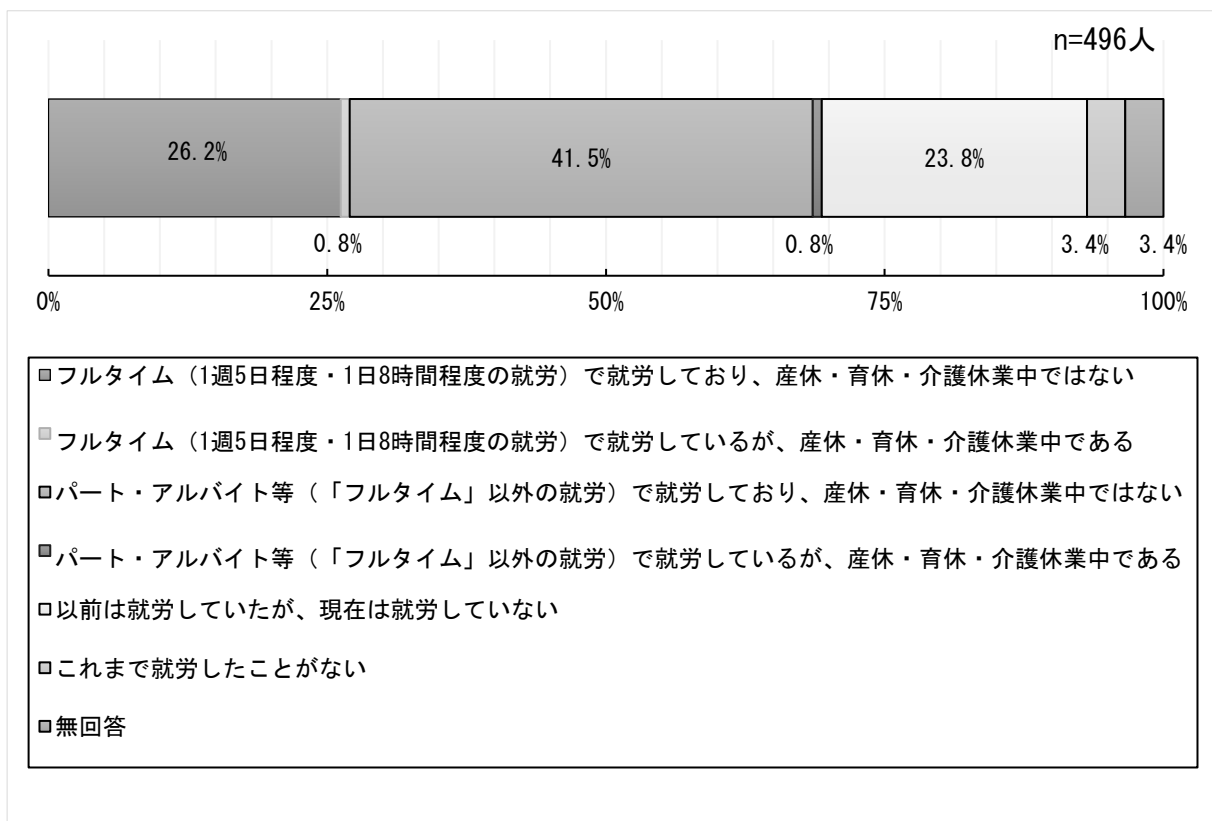
第2章 調査結果

1 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

母親の就労状況をみると「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(41.5%)が最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(26.2%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(23.8%)となっています。

問3(1) 母親の就労状況

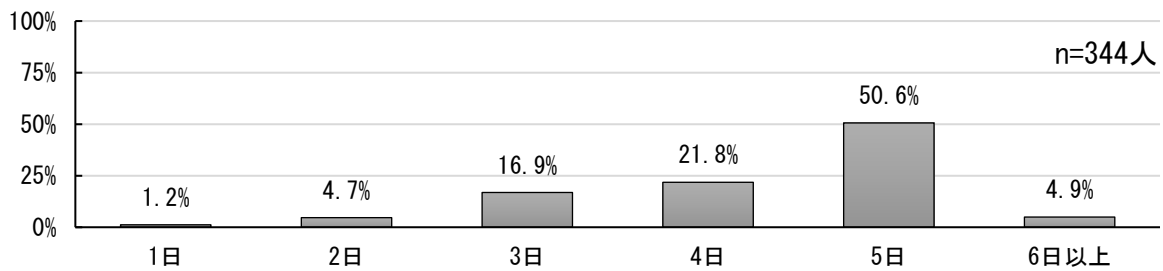


母親の就労日数・就労時間をみると「5日」(50.6%)、「4～5時間」(37.2%)が最も多くなっています。

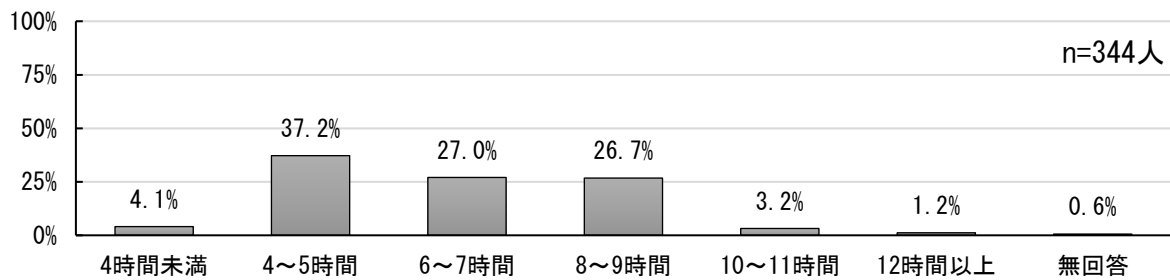
母親の出勤時間は「8時台」(59.9%)、「9時台」(13.7%)、「7時台」(13.1%)の順に多くなっています。

帰宅時間は「18～19時台」(31.1%)「12～15時台」(30.2%)、の順に多くなっています。

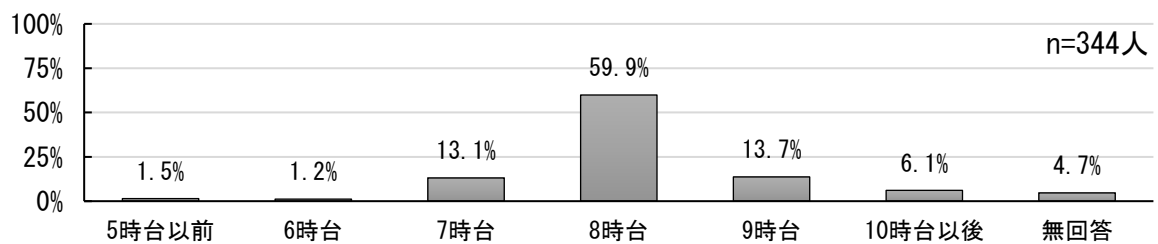
問 3(1)-1 母親の就労日数 (1週当たり)



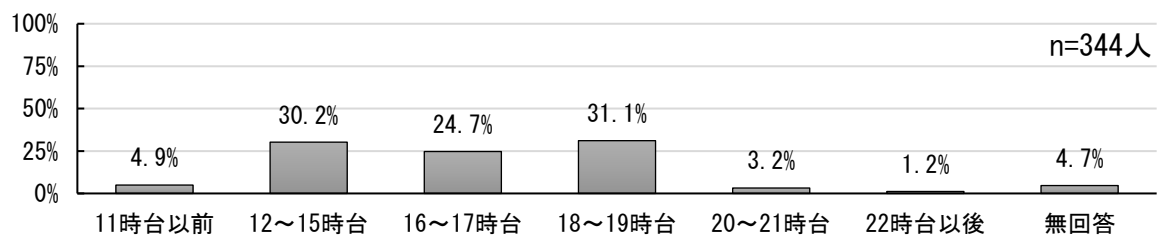
問 3(1)-1 母親の就労時間 (1日当たり)



問 3(1)-2 母親の出勤時間



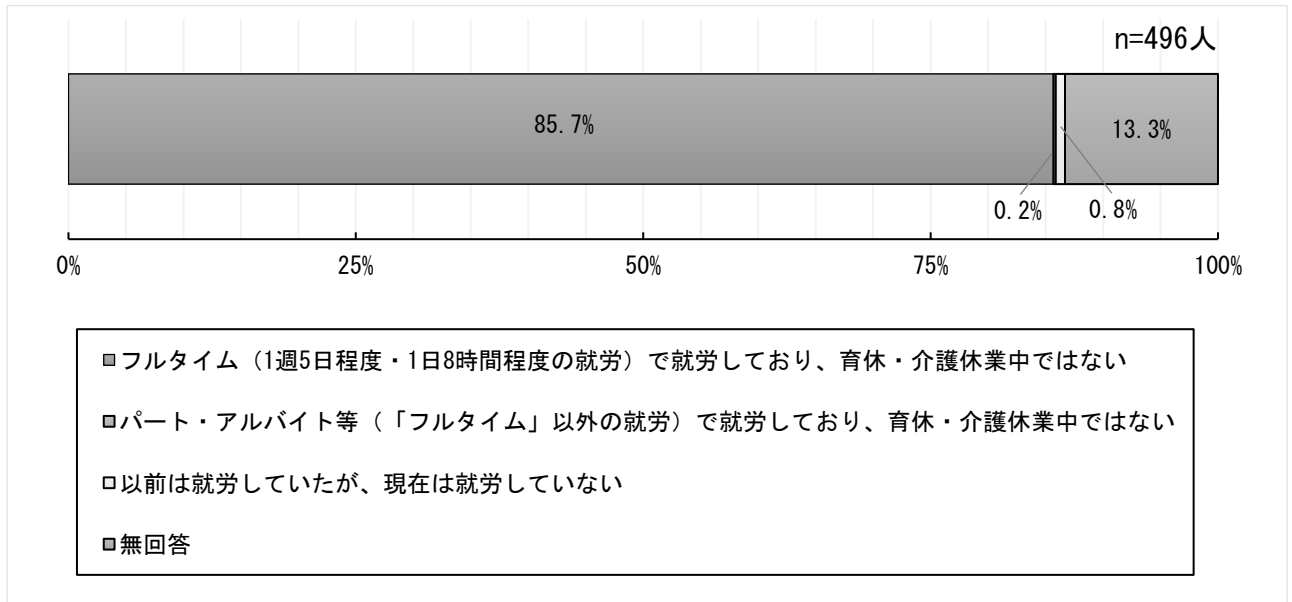
問 3(1)-2 母親の帰宅時間



(2) 父親の就労状況

父親の就労状況を見ると「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」(85.7%)が最も多くなっています。

問3(2) 父親の就労状況



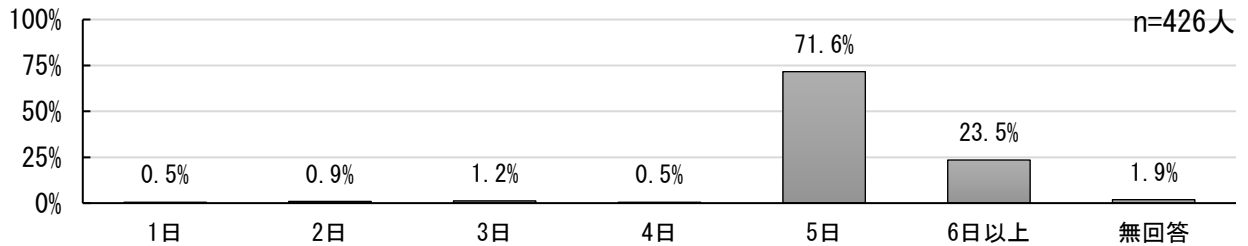
※「フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しているが、育休・介護休業中である」
 「パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労しているが、育休・介護休業中である」
 「これまで就労したことがない」は該当なし。

父親の就労日数・就労時間をみると「5日」(71.6%)、「8～9時間」(53.1%)が最も多くなっています。

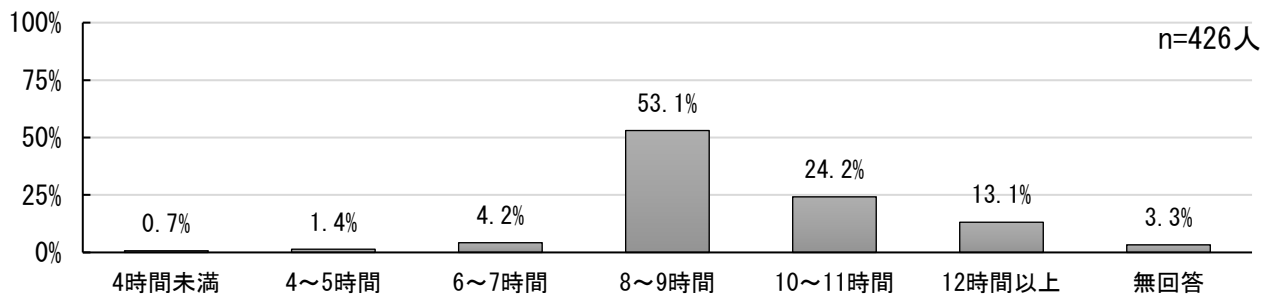
父親の出勤時間は「7時台」(40.6%)、「6時台」(22.1%)、「8時台」(20.2%)の順に多くなっています。

帰宅時間は「18～19時台」(40.4%)、「20～21時台」(31.5%)の順に多くなっています。

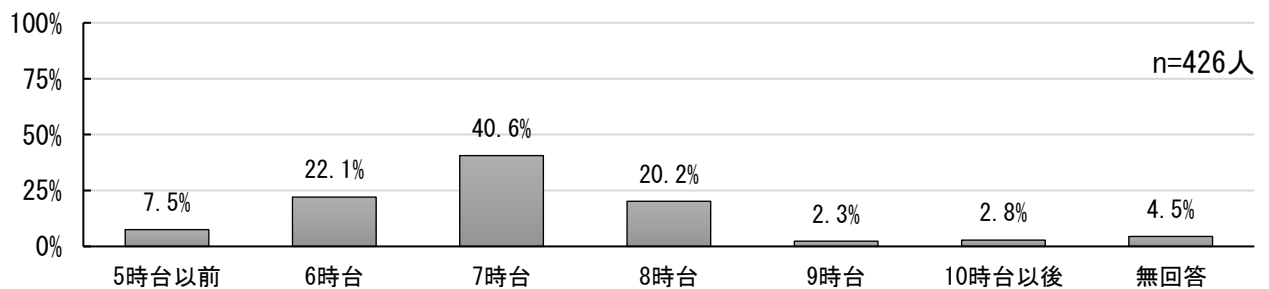
問3(2)-1 父親の就労日数 (1週当たり)



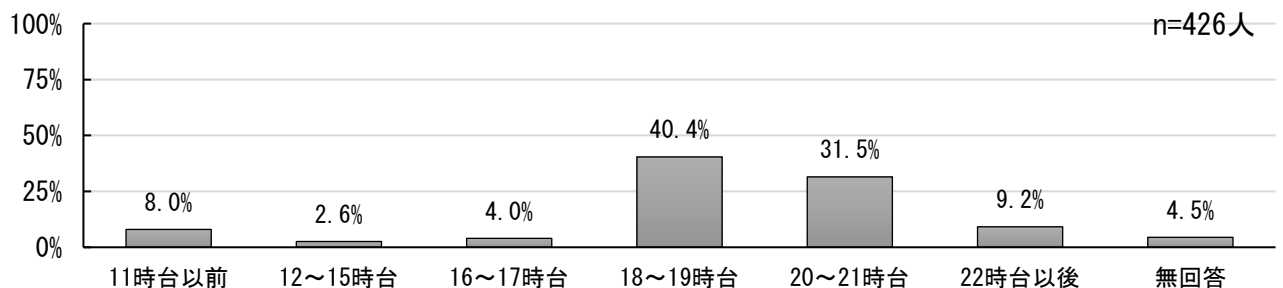
問3(2)-1 父親の就労時間 (1日当たり)



問3(2)-2 父親の出勤時間



問3(2)-2 父親の帰宅時間



2 放課後の過ごし方の現状と学童保育所の利用希望

(1) 平日の放課後の過ごし方

放課後の過ごし方をみると、「自宅」(80.4%)、「塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(54.0%)、「その他(公民館、公園など)」(36.9%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(14.9%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(13.7%)の順に多くなっています。

日数をみると、自宅では「5日」が最も多くなっています。

祖父母宅や友人・知人宅では「1日」(48.5%)が最も多くなっています。

塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)では「1~2日」という回答が多くを占めています。

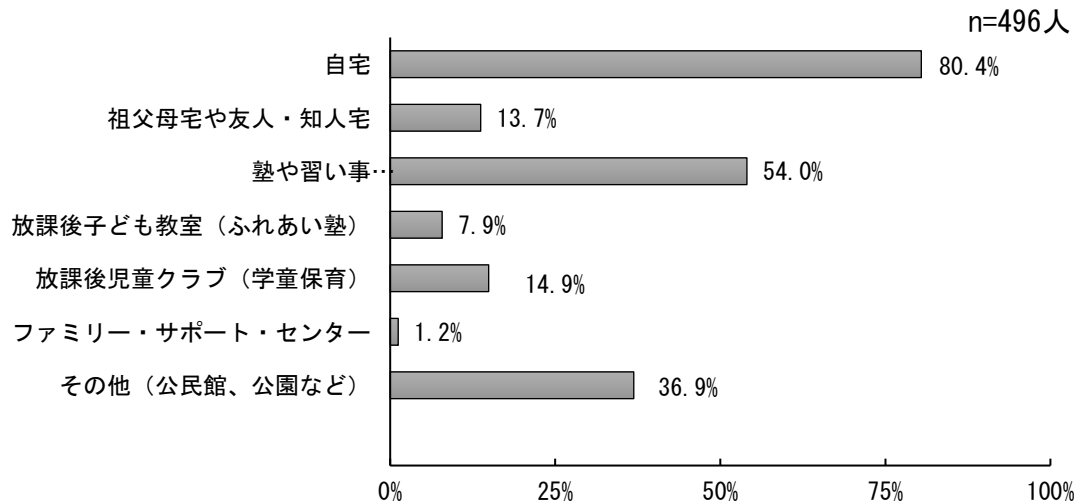
放課後子ども教室(ふれあい塾)では「1日」(74.4%)が多くを占めています。

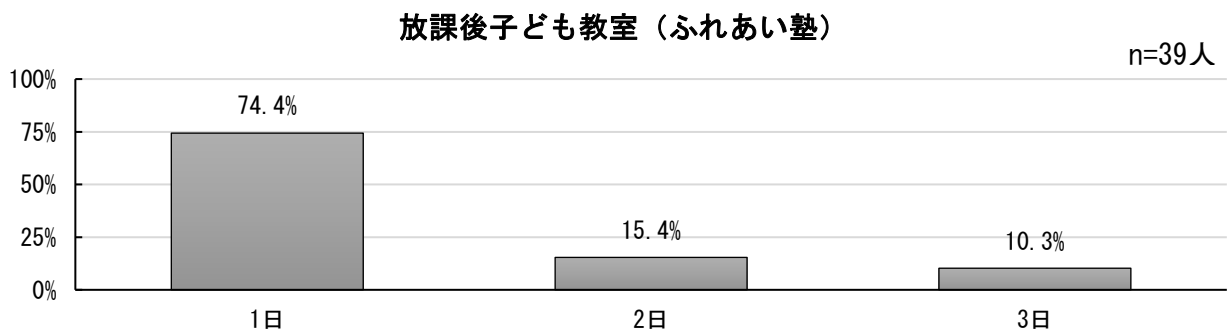
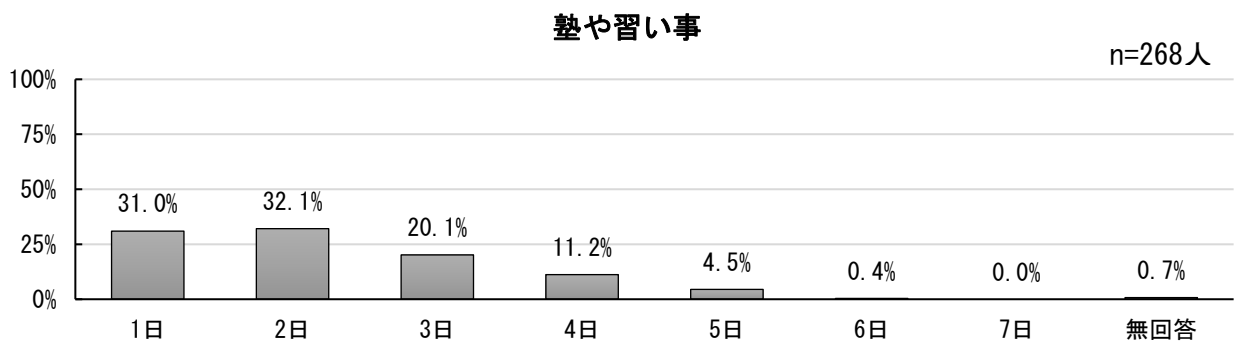
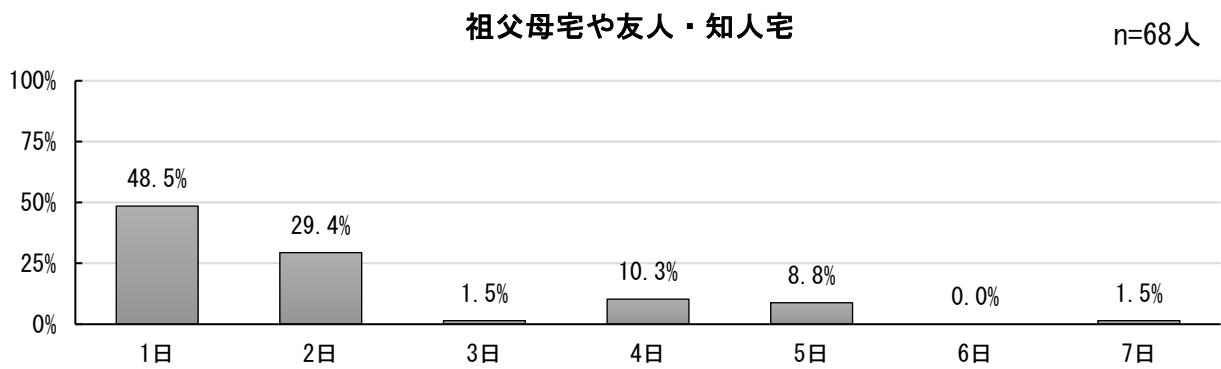
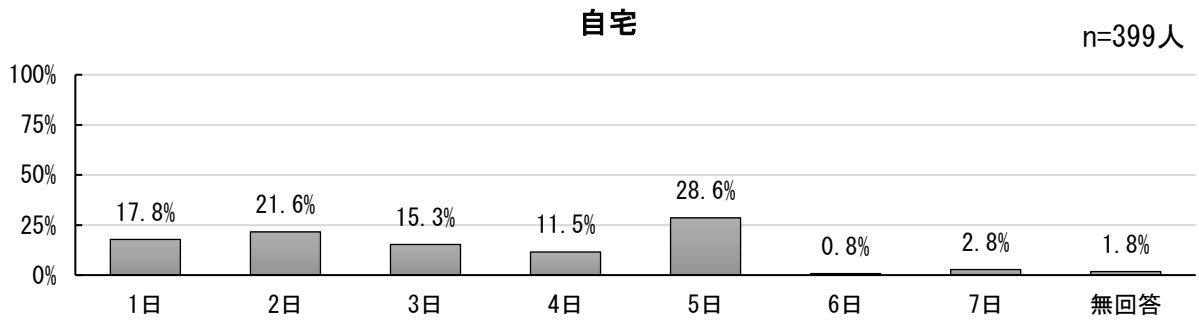
放課後児童クラブ(学童保育)では「5日」(64.9%)が最も多くなっています。

ファミリーサポート・センターでは、「1日」「3日」(33.3%)が最も多くなっています。

その他(公民館、公園など)では「1~2日」という回答が多くを占めています。

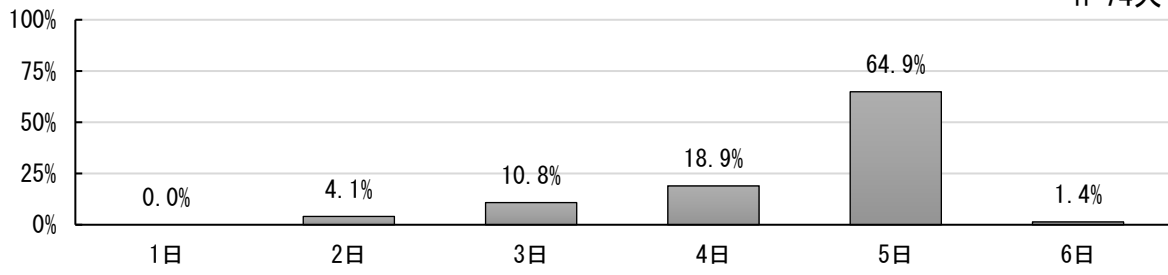
問4 放課後の過ごし方と日数(1週当たり)





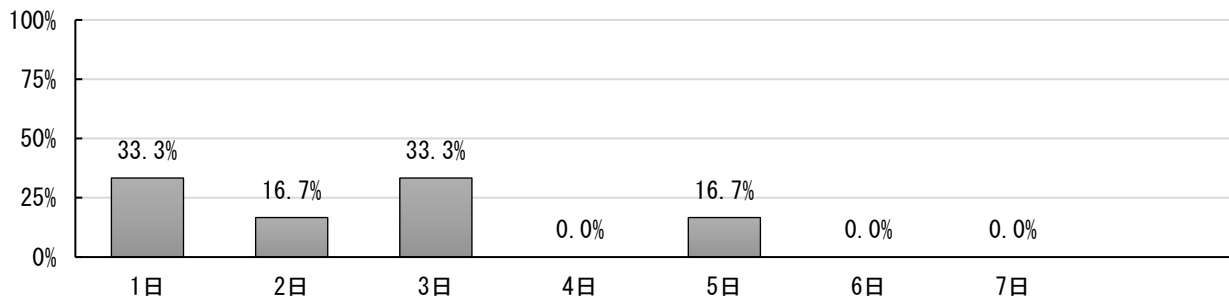
放課後児童クラブ（学童保育）

n=74人



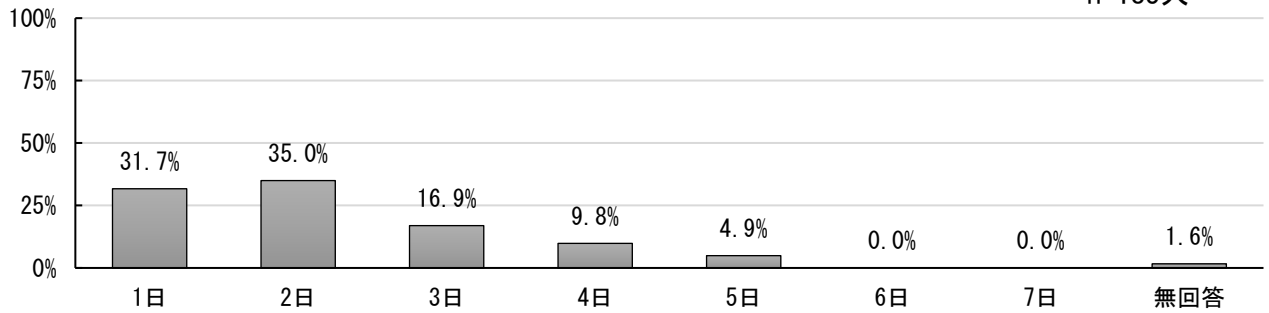
ファミリー・サポート・センター

n=6人



その他（公民館、公園など）

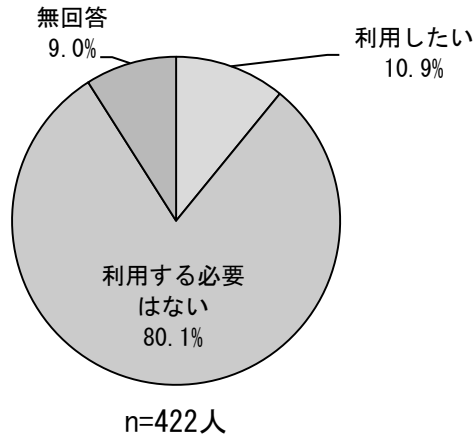
n=183人



(2) 平日の学童保育所利用希望

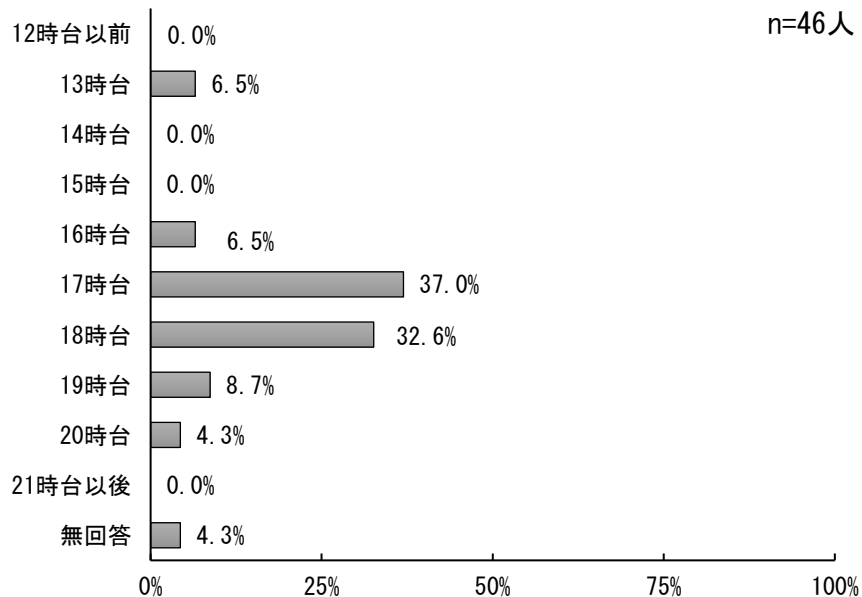
平日に放課後児童クラブを利用していない人の利用希望について、「利用したい」(10.9%)、「利用する必要はない」(80.1%)となっています。

問4-1 利用していない方の利用希望



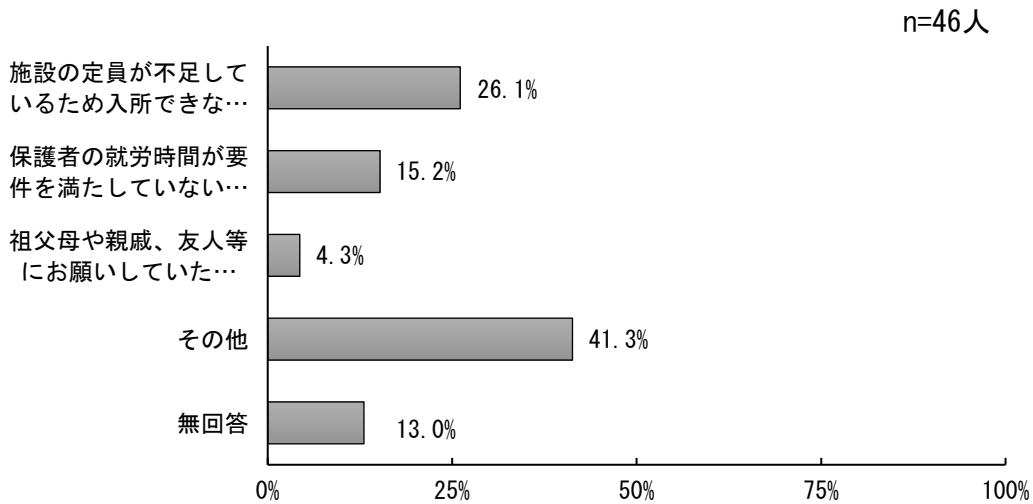
下校時から放課後児童クラブを何時まで利用したいかをみると、「17時台」(37.0%)、「18時台」(32.6%)、「19時台」(8.7%)の順に多くなっています。

問 4-1 利用していない人で利用希望のある人の下校時からの希望利用時間



平日に放課後児童クラブを利用していない人で利用希望のある人の理由は「施設の定員が不足しているため入所できなかったが、定員に余裕がほしい、入所したい」(26.1%)、「保護者の就労時間が要件を満たしていないため、新たに就労先等の変更を考えている」(15.2%)となっています。

問 4-2 利用していない人で利用希望のある人の理由

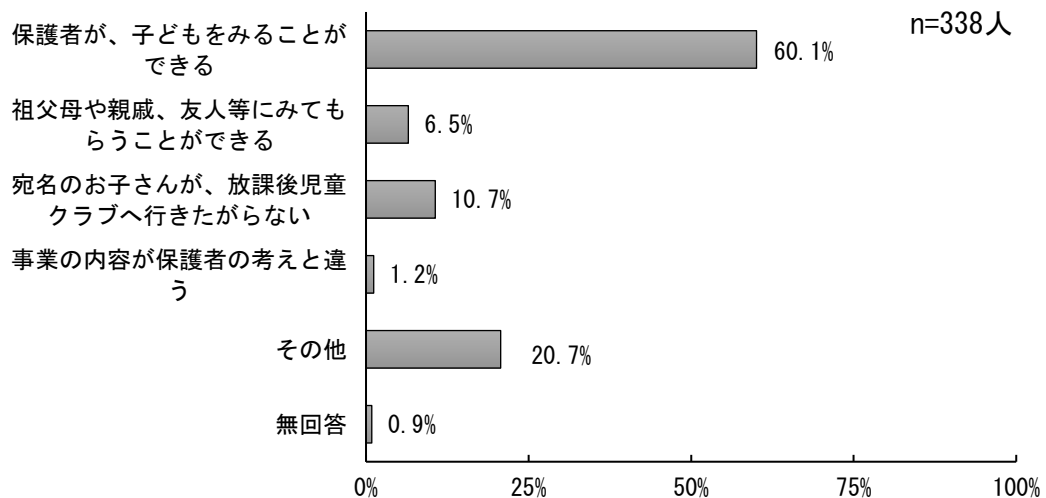


「その他」の主な理由

- ・ 今後就労した場合、みることができなくなるため

平日に放課後児童クラブを利用していない人で利用希望のない人の理由は「保護者が、子どもをみることができる」(60.1%)が最も多くなっています。

問 4-3 利用していない人で利用希望のない人の理由



「その他」の主な理由

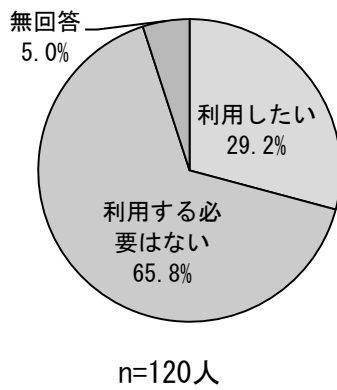
- ・ 一人で留守番ができるため

(3) 土曜日・休日の学童保育所利用希望

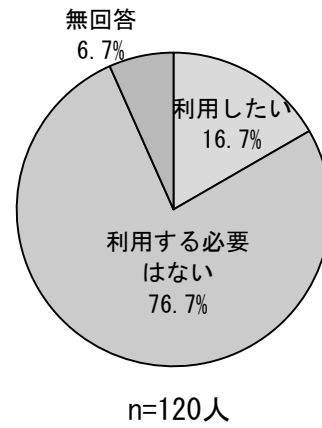
平日に放課後児童クラブを利用している人または利用希望のある人の土曜日の放課後児童クラブの利用希望をみると、「利用したい」(29.2%)、「利用する必要はない」(65.8%)となっています。

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望をみると、「利用したい」(16.7%)、「利用する必要はない」(76.7%)となっています。

問 5(1) 土曜日の利用希望



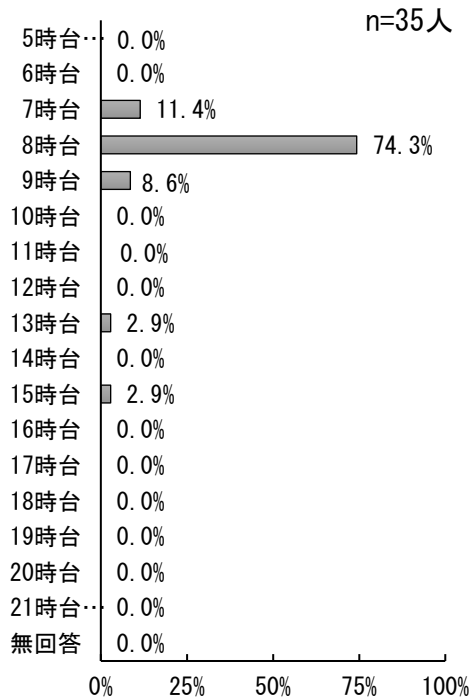
問 5(2) 日曜日・祝日の利用希望



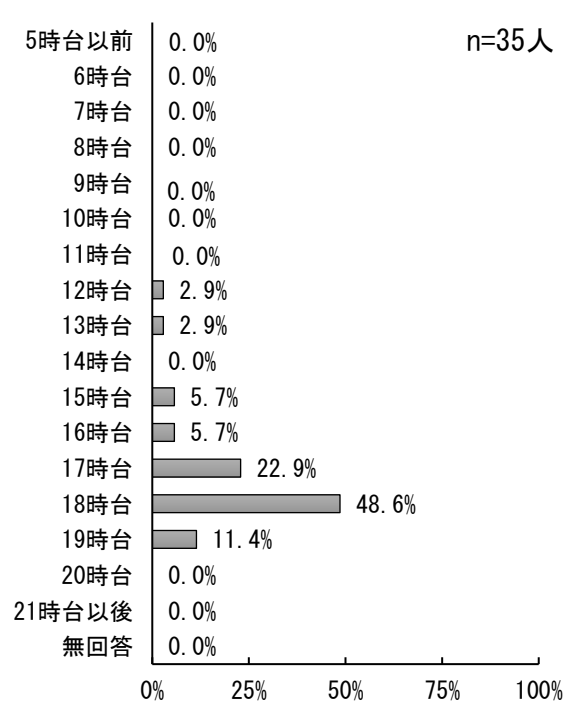
土曜日の希望利用開始時間は「8時台」(74.3%)が最も多く、希望利用終了時間では「18時台」(48.6%)が最も多くなっています。

日曜日・祝日の希望利用開始時間は「8時台」(65.0%)が最も多く、希望利用終了時間では「18時台」(50.0%)が最も多くなっています。

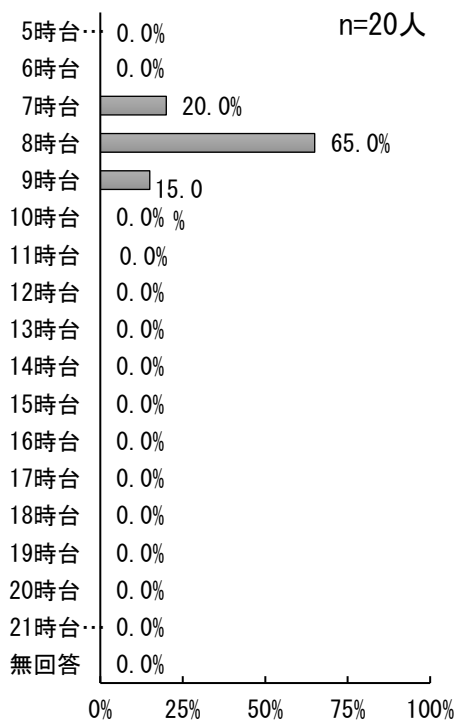
問 5 (1) 土曜日の希望利用開始時間



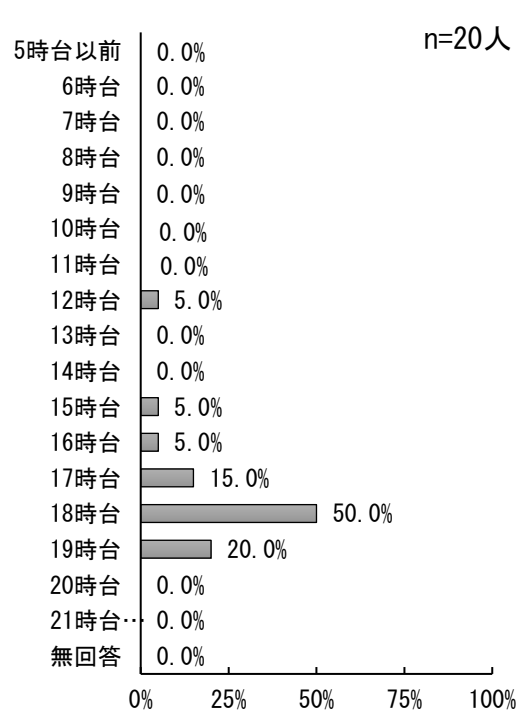
問 5 (1) 土曜日の希望利用終了時間



問 5 (2) 日曜日・祝日の希望利用開始時間



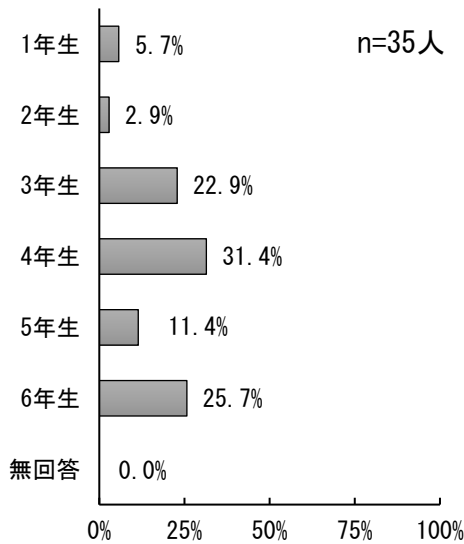
問 5 (2) 日曜日・祝日の希望利用終了時間



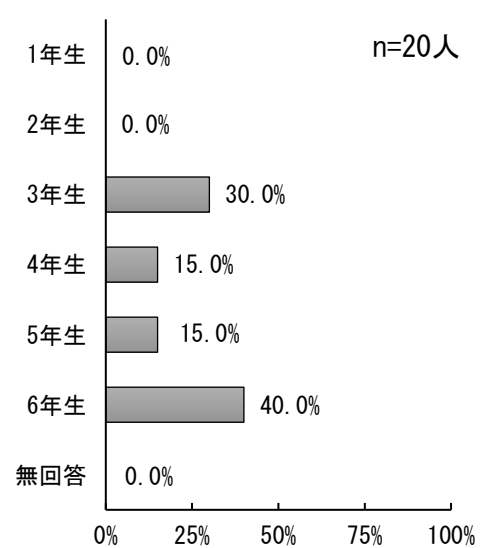
何年生まで利用したいか希望する学年をみると、土曜日は「4年生」(31.4%)、「6年生」(25.7%)「3年生」(22.9%)、の順に多くなっています。

日曜日・祝日では「6年生」(40.0%)、「3年生」(30.0%)、「4年生」「5年生」(15.0%)の順に多くなっています。

問 5(1) 土曜日の希望利用学年



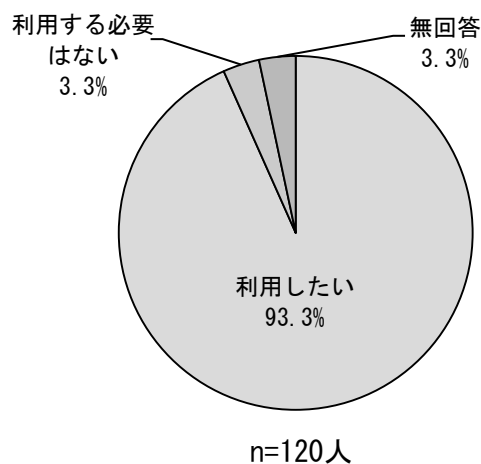
問 5(2) 日曜日・祝日の希望利用学年



(4) 長期休暇中の学童保育所利用希望

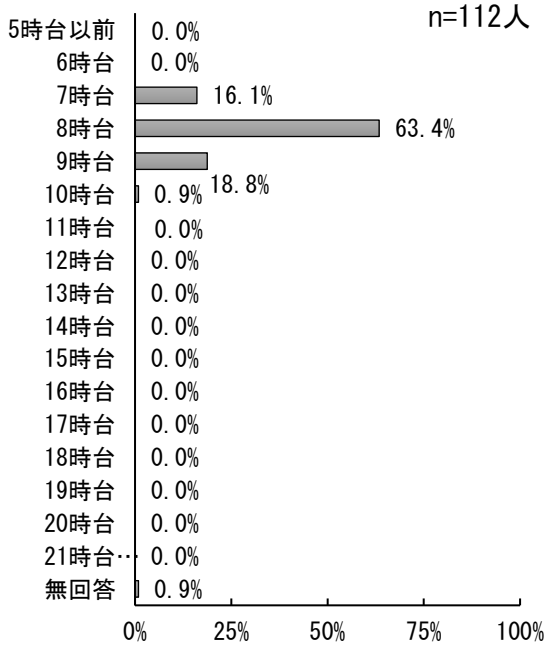
平日に放課後児童クラブを利用している人または利用希望のある人の長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望をみると、「利用したい」(93.3%)、「利用する必要はない」(3.3%)となっています。

問 6 長期休暇中の利用希望

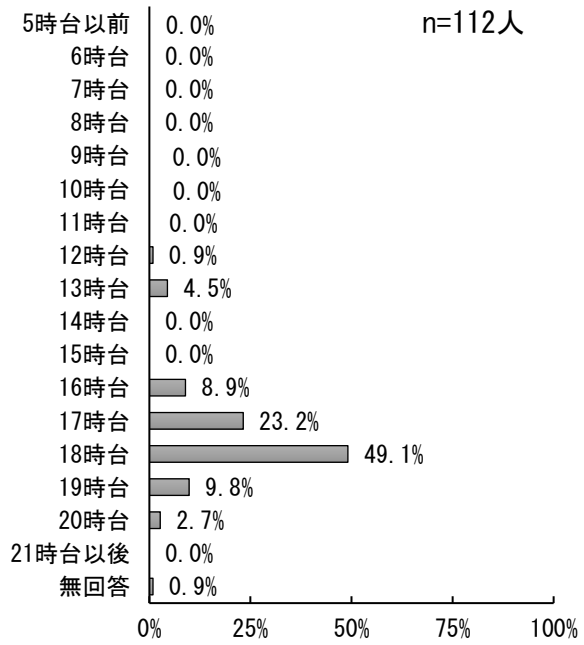


長期休暇中の希望利用開始時間は「8時台」(63.4%)が最も多く、希望利用終了時間では「18時台」(49.1%)が最も多くなっています。

問6 長期休暇中の希望利用開始時間

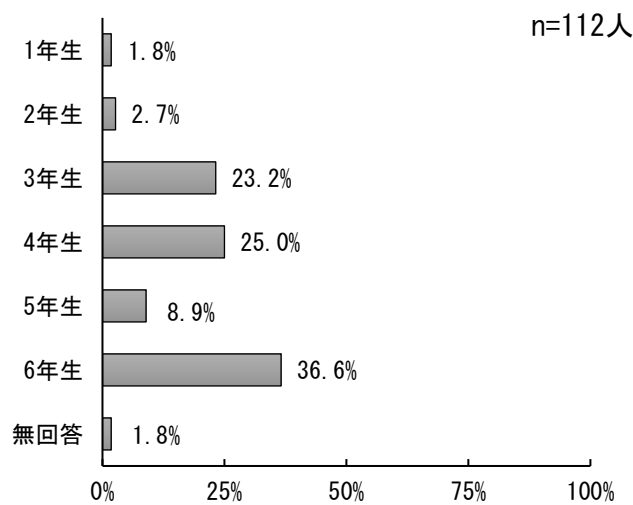


問6 長期休暇中の希望利用終了時間



何年生まで利用したいか希望する学年をみると、「6年生」(36.6%)、「4年生」(25.0%)、「3年生」(23.2%)の順に多くなっています。

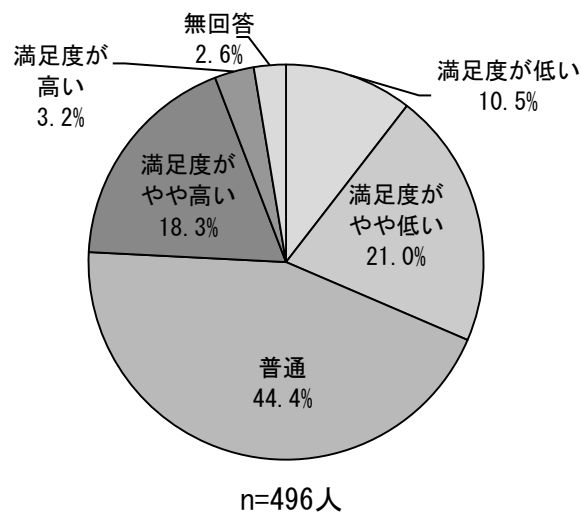
問6 長期休暇中の希望利用学年



3 寒川町の子育ての環境や支援への満足度

寒川町の子育ての環境や支援に対する満足度の状況について、「普通」と「無回答」を除くと「満足度が高い」と「満足度がやや高い」の合計が21.5%、「満足度が低い」と「満足度がやや低い」の合計が31.5%で後者が10ポイントと上回っています。

問7 寒川町の子育ての環境や支援への満足度の状況



資料編

調査に使用したニーズ調査票

子ども・子育て支援事業(児童クラブ)に関するニーズ調査

寒川町立小学校 児童保護者 各位

調査ご協力をお願い

皆様には、日頃より町政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本町では、子ども・子育て支援法に基づき、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする「第3期寒川町子ども・子育て支援事業計画」を、来年度策定する予定です。

この調査は、計画の策定にあたり、放課後児童クラブ(学童保育)の利用意向等について把握・分析するために実施するものです。小学校1年生から6年生までが学童保育の利用対象なので、町内の小学校に在学中のお子さんがある保護者の方の中から、抽出によりご協力をお願いをさせていただいております。調査結果は統計的に処理し、ニーズの推計や子育て支援施策の検討にのみ活用させていただきます。回答者個人が特定されたり、他の目的に利用したりすることは一切ありません。

また、回答いただいた内容は、将来の利用意向を確認・決定するものではありませんので、実際の募集時期には希望を変更していただいても構いません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年11月
寒川町長 木村俊雄

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 調査には、学校からこの調査票を配付されたお子さん(以後、この調査において「お子さん」と表します。)の保護者の方が記入してください。
(無記名ですので、氏名・住所をご記入いただく必要はありません)
- 2 回答は、選択肢に○をつけて選んでいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。

(選択肢に○をつけて選んでいただく場合の記入例)

○	1. 寒川小学校		2. 一之宮小学校		3. 旭小学校
	4. 小谷小学校		5. 南小学校		

- 3 設問によって、「あてはまるもの1つに○」「あてはまるものすべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。
- 4 数字で時間(時刻)を記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時→18時)で記入してください。
- 5 設問のご回答によって、次の設問に回答いただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- 6 ご記入が済みましたら、お手数ですが、**令和5年12月5日(火)**までに各学校(担任の先生)へ提出してください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

寒川町学び育成部学び推進課青少年育成担当 電話 0467-74-1111 内線 280

1. お子さんの通っている学校についてうかがいます。

問1 お子さんが通っている学校についてあてはまるものに1つ○をつけてください。

1. 寒川小学校	2. 一之宮小学校	3. 旭小学校
4. 小谷小学校	5. 南小学校	

2. お子さんの学年についてうかがいます。

問2 お子さんの学年について口内に数字でご記入ください。

小学校 年生

3. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問3 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。あてはまるものに1つ○をつけてください。

※保護者の方が母親、父親以外の方は、女性は、母親、男性は父親と読み替えて記入してください。

(1) 母親 ※父子家庭の場合は記入不要です

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	}	
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	}	⇒ (1)-1^
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	}	⇒ (2)^
6. これまで就労したことがない		

(1) で「1. ~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

(1) -1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を、口内に数字でご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日

1日当たり 時間

(1) で「1. ~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

(1) -2 家を出る時間と帰宅時間を、24時間制で口内に数字でご記入ください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時間 時

帰宅時間 時

(2) 父親 ※母子家庭の場合は記入不要です。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	}	
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である		
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	}	⇒ (2)-1へ
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	}	⇒ 問4へ
6. これまで就労したことがない		

(2) で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

(2) -1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を、□内に数字でご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり □日	1日当たり □時間
----------	-----------

(2) で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

(2) -2 家を出る時刻と帰宅時刻を、24時間制で□内に数字でご記入ください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時間 □時	帰宅時間 □時
-----------	---------

4. お子さんの放課後児童クラブ(学童保育)の利用についてうかがいます。

問4 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を□内に数字でご記入ください。

1. 自宅	週 □日くらい	
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 □日くらい	
3. 塾や習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 □日くらい	
4. 放課後子ども教室（ふれあい塾）	週 □日くらい	
5. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 □日くらい	⇒ 問5へ
6. ファミリー・サポート・センター	週 □日くらい	
7. その他（公民館、公園など）	週 □日くらい	

問4で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」以外に○をつけた方にうかがいます。「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方は、問5へお進みください。

問4-1 お子さんについて、放課後児童クラブの利用の希望はありますか。あてはまるものに1つ○をつけてください。また、利用したい時間を24時間制で□内に数字でご記入ください。

※放課後児童クラブは、保護者が仕事などで昼間、子どもの保育ができない家庭が対象です。
 ※放課後児童クラブの利用には、入会金その他、毎月一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	⇨ 利用したい時間帯	
	□時から □時まで	⇒ 問4-2へ
	利用したい学年 □年生まで	
2. 利用する必要はない		⇒ 問4-3へ

問4-1で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問4-2 お子さんについて、今後、放課後児童クラブを希望する理由は何ですか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

1. 施設の定員が不足しているため入所できなかったが、定員に余裕がほしい、入所したい
2. 保護者の就労時間が要件を満たしていないため、新たに就労先等の変更を考えている
3. 祖父母や親戚、友人等にお願いしていたが、みてもらうことができなくなった
4. その他（理由） _____



問5へお進みください。

問4-1で「2. 利用する必要はない」に○をつけた方にうかがいます。

問4-3 お子さんについて、放課後児童クラブを希望しない理由は何ですか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

1. 保護者が、子どもをみることができる
2. 祖父母や親戚、友人等にみてもらうことができる
3. お子さんが、放課後児童クラブへ行きたくない
4. 事業の内容が保護者の考えと違う
5. その他（理由） _____



問7へお進みください。

問4で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方、または、問4-1で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問5 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

(1) (2) それぞれについて、あてはまるものに1つ○をつけてください。また、利用したい時間帯（24時間制）及び学年を口内に数字でご記入ください。

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。また、現状では、日曜日・祝日については放課後児童クラブの運営はしていません。

(1) 土曜日

1. 利用したい	⇒	利用したい時間帯
		<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで 利用したい学年 <input type="text"/> 年生まで
2. 利用する必要はない		

(2) 日曜日・祝日

1. 利用したい	⇒	利用したい時間帯
		<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで 利用したい学年 <input type="text"/> 年生まで
2. 利用する必要はない		

問6 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。あてはまるものに1つ○をつけてください。また、利用したい時間帯（24時間制）及び学年を口内に数字でご記入ください。

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。また、現状では、長期の休暇期間中のみの利用申し込みは受け付けていません。

1. 利用したい	⇒	利用したい時間帯
		<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで 利用したい学年 <input type="text"/> 年生まで
2. 利用する必要はない		

問7 町の子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号を口内に数字でご記入ください。

満足度が低い	←—————→			満足度が高い
1	2	3	4	5

満足度

問8 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

寒川町子ども・子育て支援事業(児童クラブ)に関するニーズ調査報告書

発行日 令和6年(2024年)3月
発行元 寒川町学び育成部学び推進課
住 所 〒253-0196 神奈川県高座郡寒川町宮山 165
連絡先 TEL 0467-74-1111 FAX 0467-74-9141